

平成27年度
年次報告書

公益財団法人 ヤマト福祉財団

目 次

1. 平成27年度事業報告書	1
平成27年度中に実施した助成事業	
Ⅰ. 障がい者に対する奨学金の支給	
Ⅱ. ジャンプアップ助成金	
Ⅲ. ステップアップ助成金	
Ⅳ. 障がい者福祉助成金	
平成27年度 障がい者の働く場パワーアップフォーラム実施報告	
水稲自然栽培チャレンジ実施報告	
平成27年度「夢へのかけ橋 実践塾」実施報告	
第1期・第2期実践塾成果報告	
事業改革モデル化資金 助成先施設の報告	
経済的自立力達成事業所紹介サイト「夢へのかけ橋」報告	
『障がい者のクロネコ DM便配達事業』進捗状況	
『障がい者のクロネコ DM便配達事業』参入施設一覧	
2014年度「障がい者のクロネコ DM便配達実績」時系列集計表	
東日本大震災復興支援事業	
震災から5年彼らはいま	
2. 平成27年度収支決算報告書	89
貸借対照表	
正味財産増減計算書	
正味財産増減計算書内訳表	
財務諸表に対する注記	
財産目録	
附属明細書	
平成27年度事業報告 附属明細書	
収支決算書	
勘定明細表	
監査報告書	
3. 財団主催の諸会議.....	107
4. 寄付金寄贈者名簿.....	108
賛成会員数一覧	
5. 役員名簿.....	109
6. 平成28年度事業計画	113
同 収支予算書	115

平成27年度事業報告書

平成27年度事業報告書

(自・平成27年4月1日～至・平成28年3月31日)

1. 庶務事項

(1) 財団設立年月日 平成5年9月10日

(2) 基本財産 (平成28年3月31日現在)

投資有価証券

ヤマトホールディングス株式会社 (株式)

3,575,900株 8,035,047,300円

(3) 役員等 (平成27年3月31日現在)

①理事長 1名

②理事 7名

③監事 2名

④評議員 8名

⑤福祉助成金選考委員 5名

⑥ヤマト福祉財団小倉昌男賞選考委員 5名

(4) 賛助会員 (平成28年3月31日現在)

個人会員 64,823人

(5) 事務局

①常務理事 1名

②事務局長 1名

③職員 2名

2. 事業の概要

(1) はじめに

「経済的自立力を備えた新しい福祉」を掲げた「障がい者の働く場パワーアップフォーラム」は、講座や事例報告、シンポジウムを交えて開催し、東京、大阪の2か所で361名が受講しました。また、今期で3年目に入った「夢へのかけ橋」実践塾は、1期生が修了し、2期生を再募集したほか、新たに農福連携を掲げた塾を開講し、5塾30名が障がい者の経済的自立力向上のため実践を行っています。

本年度の新しい取り組みとして、栽培指導者を派遣して無農薬・無肥料の自然栽培の検証プロジェクトを行いました。4カ所の施設が水稻栽培に取り組みましたが、すべての水田で無事収穫でき、市場価格より高価で販売されました。障がい者施設の中の農業班に光が当たり、活力となって表れています。

福祉助成金は、給料増額支援助成金と、会議・研修・出版などの福祉助成金の2種類を設定して助成を完了しました。

また、ヤマト運輸(株)の協力を得て実施している「障がい者のクロネコDM便配達事業」は、全国313事業所で1,620名が従事し、社会福祉法人ヤマト自立センターは、平成28年3月までに事業開始累計133名の一般就労実績となっています。

(公1) 助成事業

①奨学金

平成27年3月1日から4月25日まで応募書類請求期間、同年5月7日から5月23日を申請期間とし51名の応募がありました。選考委員会で9名を選考追加して、40名の奨学生に奨学金を提供しています。本年の大きな成果としては、聴覚障がいがありながら医師を目指していた奨学生が見事国家試験に合格し、平成28年4月より医師となることです。同じ障がいのある人にとっては受診時の苦勞を忘れさせる朗報となりました。

(所属校別の一覧は、P.6を参照)

②助成金

今年度も、昨年に引き続き助成金事業を障がい者の給料増額を目的とする「障がい者給料増額助成金」と一般的な福祉助成金の2つに分け、「障がい者給料増額助成金」の中に、ジャンプアップ助成金（定額500万円）・ステップアップ助成金（上限200万円）の2種の助成金を設定しました。

平成26年12月1日から12月31日までを公募期間として、234件の応募があり、平成27年3月25日に選考委員会を実施、同年4月から5月にかけて各支部毎にヤマト運輸（株）の協力を得ながら贈呈式を行いました。

助 成 部 門	応募	決定	決定金額
①ジャンプアップ助成金（定額500万円）	30件	13件	65,000千円
②ステップアップ助成金（上限200万円）	73件	29件	50,910千円
小 計		42件	115,910千円
③福祉助成金（会議・出版・文化・スポーツ）	131件	11件	9,090千円
合 計		53件	125,000千円

（公2）研修・育成事業

①セミナー事業「障害者の働く場パワーアップフォーラム」

対象者を施設職員から障がい者の働く場に関心のある方とし、日帰り形式の研修を実施した。全国2箇所では361名が参加し、これまでのセミナー受講者と合わせ累計8,889名となりました。

受講者数

開催地	会場	開催日	参加人数
前年までの累計			8,528
大阪	大阪国際会議場	7月17日	139
東京	全社協・灘尾ホール	7月24日	222
合 計			361
本年累計			8,889

（講座・講師・実施報告は、P.18～19を参照）

②雇用・促進事業

「障がい者によるクロネコDM便配達事業」は、全国313事業所で1,620人の障がい者が配達を行っています。また、社会福祉法人ヤマト自立センターのスワン工舎新座・スワン工舎羽田クロノゲートの就労移行支援事業では、今期17名累計133名が一般就労しました。平成23年に立ち上げた就業・生活支援事業では今期は43名の登録者に対して就労支援・就労先での定着支援・金銭管理や一人暮らしなどの生活支援を行い、実習49名、就業者31名の実績をあげました。また、就労につながった方々との結びつきを図るため第8回スワン工舎卒業者の集いを開催しました。

③育成プロジェクト

小倉昌男賞受賞者によるプロジェクトとして平成22年より始まった「受賞者リーダープロジェクトは、「夢へのかけ橋実践塾」として武田 元氏（第3回受賞者）亀井 勝氏（第7回受賞者）新堂 薫氏（第8回受賞者）楠元洋子氏（第14回受賞者）熊田芳江氏（第15回受賞者）を塾長として3月末現在、30名が参加して半年に一度の間隔で実践塾を開催し、PDCAサイクルをかけています。また、塾生が申請して活用する事業改革モデル化資金については、塾長による書類審査を経て決裁し、事業改革モデルづく

りを行っています。また、佐伯康人氏（第16回受賞者）を指導者に迎え水稲自然栽培検証プロジェクトを実施して事業の可能性を見極めました。今後は、自然栽培を水稲から野菜・果物など幅広く対象を広げ、障がい者の働く場の拡大につなぐこととしています。（実践塾の成果・事業改革モデル化資金・水稲自然栽培 P.20 ページ参照）

（公3）表彰事業

障がい者の経済的な自立やノーマライゼーションに貢献した個人を表彰するため、本年もヤマト福祉財団小倉昌男賞の贈呈事業を行いました。7月1日から9月15日まで公募を行い、10月14日の選考委員会で、福井県あわら市の林 博文氏と東京都世田谷区の西谷久美子氏に受賞が決定しました。また、贈呈式は12月3日に一般社団法人日本工業倶楽部にて、各界の方々やヤマトグループ役員、ヤマトグループ企業労働組合連合会役員をお迎えし開催いたしました。

（公4）広報・啓発等事業

①広報事業

財団ニュースを第46号から第49号まで年4回発行し「コラボメール便」としてヤマトグループ健康保険組合と共同で社員自宅まで配布しました。また、一般購読希望者901名と福祉施設作業所4,285箇所に無料配布を行いました。助成先や奨学生のレポートに加えて、パワーアップフォーラム、ヤマト福祉財団小倉昌男賞など財団主催の行事、実践塾やクロネコ DM 便配達の報告を行っています。

②事業モデル別実践事例サイトの運用

小倉昌男賞や助成金の事例、実践塾の成果を資料化して福祉施設の経営者が施設の利用者増や工賃向上に役立つビジネスモデルを参照できる「経済的自立力達成事業所紹介サイト 夢へのかけ橋」をインターネット上に公開しています。このサイトでは、障害基礎年金と合わせて、年収112万円の貧困線^{※1}を超えることの出来る工賃3万円を超えた事業所を経済的自立力達成事業所として紹介しています。

③啓発事業

障がい者本人によるクロネコ DM 便特別報告会を熊本県上益城郡益城町・神奈川県横浜市港北区の2箇所にて地元でお世話になっている方々を招待し、ミニ報告会を開催しました。

（公5）復興・再生支援事業

「東日本大震災生活・産業基盤復興再生募金」は、平成24年に「東日本大震災 復興支援選考委員会」で選考された31の事業のうち、3月末現在、福島県楢葉町の「仮設校舎敷地造成工事仮設校舎設置事業」は、本年度末期限となっていた仮設校舎利用が一年延長となりました。よって「福島県立自然公園松川浦周辺の海岸防災林再生事業」と合わせて2事業が実施中です。5年目となった本年度3月に、「震災から5年、彼らはいま」として現状報告をホームページにて公開し、財団ニュース No.50（平成28年4月20日発行）に掲載しました。（P.73 ～ 87 参照）

3. 賛助会員の状況

当財団の母体であるヤマトホールディングス（株）とそのグループ会社で組織する賛助会員数は64,823人となっています。

※1 相対的貧困線について…OECDが決めた「相対貧困線」は、等価可処分所得（世帯の可処分所得を世帯人員の平方根で割ったもの）の中央値の半分の金額のラインです。先進国では、単に必要最低限の衣食住が満たされても、それは貧困未満であるとして娯楽や嗜好品も加算しています。日本国の等価可処分所得の中央値は、国税庁の2009年国民生活基礎調査によると224万円で、相対的貧困線は112万円となります。

平成27年度中に実施した助成事業

I 障がい者に対する奨学金の支給

◆障がい者大学生 40 名

	大学名	学年	氏 名		大学名	学年	氏 名
1	佐賀大学	6 年生	吉田 翔	21	長野大学	3 年生	細野 真衣
2	奈良県立医科大学	5 年生	塩谷早紀子	22	熊本学園大学	3 年生	中野 睦子
3	熊本保健科学大学	4 年生	原口彩央里	23	大坂府立大学	3 年生	木戸 奏江
4	神戸芸術工科大学	4 年生	長谷川沙英	24	立命館アジア太平洋	2 年生	川口 真実
5	はこだて未来	4 年生	水澤 吉博	25	久留米大学	2 年生	藤崎 大輝
6	筑波大学	4 年生	藤原 大輔	26	国際基督教大学	2 年生	糸野 海生
7	帝京科学大学	4 年生	唐家 華子	27	日本社会事業大学	2 年生	櫻井 未来
8	慶応義塾大学	4 年生	木下 昌	28	ルーテル学院大学	2 年生	中村ひとみ
9	富山大学	4 年生	高井 稟	29	花園大学	2 年生	宇津木三徳
10	下関市立大学	4 年生	宇都宮 諒	30	関西福祉大学	2 年生	藤原 一成
11	大阪大学	4 年生	米田 啓	31	大阪教育大学	2 年生	山森 一希
12	国立佐賀大学	4 年生	高橋 禎喜	32	専修大学	2 年生	吉田 伸吾
13	北海道大学	4 年生	福澤 寛之	33	大東文化大学	2 年生	阿部有里香
14	愛知県立大学	3 年生	平尾 梢	34	長崎大学	2 年生	鬼丸 禎史
15	東京国際大学	3 年生	南舘 和希	35	慶応義塾大学	1 年生	後藤 祐季
16	筑波技術大学	3 年生	杉 夏彦	36	筑波技術大学	1 年生	東丸 円香
17	広島大学	3 年生	谷岡 憲太	37	日本社会事業大学	1 年生	阿部 里南
18	鳥取大学	3 年生	西海 朱理	38	九州保健福祉大学	1 年生	古田 麗司
19	和光大学	3 年生	松本 葵	39	筑波技術大学	1 年生	青山 舜
20	鹿児島大学	3 年生	吉田 麻乃	40	東洋大学	1 年生	山崎 雄世

Ⅱ.ジャンプアップ助成金

助成先	01 宮城県 サンサン ファクトリー 	02 群馬県 障害福祉 サービス事業所 赤城の家 
助成対象事業の内容 および助成額	●餃子製造機の購入、餃子製作用業場の改修、餃子製造販売に必要な備品購入資金 ●助成金 5,000,000円 有機野菜の栽培を手がけてきた実績を活かして、全国で5県しか生産していない「行者菜」入り餃子の大量生産・販売を計画。平成28年度は16人の利用者さんに月額平均給料5万4386円を目指す	●トラクター一式購入、土壌改良機械購入資金 ●助成金 5,000,000円 地域との連携を深めながら耕作地を拡大し、現在8町歩ほどに。助成で購入したトラクターを活用して、平成28年度は17人の利用者さんに月額平均給料4万2353円を目指す
助成先	03 埼玉県 SELP すいーつばたけ 	04 千葉県 タオ 
助成対象事業の内容 および助成額	●カフェ改装・機器購入資金 ●助成金 5,000,000円 近隣住人から「休憩できるカフェを」との声もあり、増加する利用者さんの仕事の確保と給料増額に新規コミュニティカフェ開店を決意。平成28年度の目標は、63人の利用者さんに月額平均給料3万2593円	●パンの製造機器及び納豆・豆腐の製造機材購入 ●助成金 5,000,000円 パンの生産を増やすとともに、岩手県の被災作業所から希少な青大豆「秘伝」を仕入れ、納豆・豆腐も製造。平成28年度は20人の利用者さんに月額平均給料3万8470円を目指す
助成先	05 千葉県 就労継続支援 はあもにい 	06 東京都 どんぐりパン 
助成対象事業の内容 および助成額	●ユニバーサル農業PJ必要機材設備購入資金 ●助成金 5,000,000円 2197坪の農地を借用し、収穫物を自ら加工して「有機ドライベジタブル&フルーツ」をお菓子工房の新目玉商品に。平成28年度の目標は、13人の利用者さんに月額平均給料5万4000円	●店舗改装工事資金 ●助成金 5,000,000円 低価格の製造卸から脱却するため、全面ガラス張りで、だれもが入りやすく、作業効率の高い店舗へと改装。平成28年度の目標は、38人の利用者さんに月額平均給料2万8004円

助成先	07 大阪府 ユニオン 	08 和歌山県 いなほ作業所 
助成対象事業の内容 および助成額	●おしぼり包装機・梱包機購入 ●助成金 5,000,000円 おしぼりの回収・包装・梱包・配送に事業を特化。平成28年度の目標は、20人の利用者さんに月額平均給料4万2463円。導入した機器の扱いを習熟し、3年後には売上・給料の40%向上を目指す	●パン販売店舗新築工事資金 ●助成金 5,000,000円 増え続ける利用者さんに新たな職域開拓を考え、念願の販売店をオープン。街道沿いで近隣には学校もある住宅街と好立地で、平成28年度は、35人の利用者さんに月額平均給料3万2500円を目指す
助成先	09 鳥取県 お菓子屋 くれぱす 	10 岡山県 倉敷夢工房 
助成対象事業の内容 および助成額	●新店舗(上道店)開設のための厨房関係備品購入資金 ●助成金 5,000,000円 国産小麦など材料にこだわった「体にやさしい商品」を製造。市内でも賑やかな立地に新規出店し、月間売上100万円を目標に、平成28年度は23人の利用者さんに月額平均給料2万6879円を目指す	●テイクアウトの店舗開設のための改修工事資金 ●助成金 5,000,000円 食の事業にこだわり県下随一の給料を達成。さらに空き室となった作業所を、丼ものを中心としたテイクアウト店舗に改装し、平成28年度は32人の利用者さんに月額平均給料4万2500円を目指す
助成先	11 広島県 ワークス さつき 	12 広島県 ジョイ・ジョイ・ワーク かりん 
助成対象事業の内容 および助成額	●マットレス洗浄・脱水・乾燥機購入資金 ●助成金 5,000,000円 福祉用具の清拭、消毒作業を行っている。大型受注獲得のため課題であるマットレスの完全脱臭を機器導入で解決し、平成28年度は30人の利用者さんに月額平均給料4万2899円を目指す	●ベーカリーショップ増設に伴う店舗改装及び備品購入資金 ●助成金 5,000,000円 道の駅や移動販売より、店舗での売上の伸びが顕著で利益率も高いことから、市内の中心部にベーカリーショップ増設を計画。平成28年度の目標は20人の利用者さんに月額平均給料2万5000円
助成先	13 宮崎県 障がい者通所 福祉施設 あや作業所 	
助成対象事業の内容 および助成額	●大量調理機器の購入資金 ●助成金 5,000,000円 2001年の開所時に植樹した果樹から収穫する多様な果物でジャムを製造。大量調理設備の導入により生産量・売上を拡大し、平成28年度は20人の利用者さんに月額平均給料2万3000円を目指す	

Ⅲ ステップアップ助成金

助 成 先

助成対象事業の内容及び助成額

01

北 海 道

社会福祉法人柏の里めむろ
オークル

→半自動分割丸目機セミスター購入

助成金 1,720,000円



02

北 海 道

社会福祉法人草の実会
草の実工房もく

→レーザー加工機購入

助成金 1,900,000円



03

北 海 道

社会福祉法人新冠ほくと園
ミルト

→高鮮度維持凍結機購入

助成金 2,000,000円



04

青 森 県

NPO 法人三本の木
フレンド

→農業用ビニールハウス購入

助成金 2,000,000円



05

岩 手 県

社会福祉法人ひまわり会
すてっぷ

→課題解決に必要な餡練機と
金属検出器購入

助成金 2,000,000円



助 成 先

助成対象事業の内容及び助成額

宮 城 県

社会福祉法人太陽の丘福祉会
仙台ローズガーデン

→仙台ローズガーデン内部改装・外構工事

助成金 2,000,000円



福 島 県

NPO 法人ボネール
福祉ハウスボネール

→厨房機器購入

助成金 2,000,000円



神 奈 川 県

NPO 法人横浜市精神障がい者就労支援事業会
さら

→菓子、瓶詰製造工場立ち上げのための回収及び備品購入

助成金 2,000,000円



神 奈 川 県

NPO 法人新
どーなつ

→ドウコンディショナー購入

助成金 1,000,000円



新 潟 県

社会福祉法人亀田郷芦沼会
ほがらか福祉園

→菓子製造室の改修工事

助成金 2,000,000円



助 成 先

助成対象事業の内容及び助成額

石 川 県

社会福祉法人南陽園
夢ファクトリーえん

→半乾燥品移動コンベア購入

助成金 2,000,000円



石 川 県

社会福祉法人佛子園
ワークセンター星が岡

→配食車両購入

助成金 2,000,000円



長 野 県

NPO 法人わっこ自立福
祉会
障がい者就労継続支援セ
ンターわっこ倉升

→型締力 60t のプラスチッ
ク射出成形機・温調機購入

助成金 2,000,000円



愛 知 県

社会福祉法人AJU自立の
家
ピア名古屋

→ワイン事業用、ラベルプリ
ンター、複合機、フォーク
リフト購入

助成金 2,000,000円



滋 賀 県

社会福祉法人きぬがさ福
祉会
社会的事業所ゆう

→スチームコンベクション
オープン、配達用車両購入

助成金 2,000,000円



助 成 先

助成対象事業の内容及び助成額

京 都 府

社会福祉法人ふくちやま
福祉会
第2ふくちやま作業所

→手作りコロッケ製造のための
機材購入

助成金 2,000,000円



和 歌 山 県

社会福祉法人有田つくし
福祉会
早月農園

→選果機・モノレールの設置、
ラベルプリンタ購入

助成金 2,000,000円



鳥 取 県

社会福祉法養和会
F & Y 境港

→ビニールハウス購入

助成金 1,580,000円



岡 山 県

社会福祉法人健康の森学
園
岡山県健康の森学園就労
継続支援事業所

→粉砕機の購入

助成金 1,000,000円



岡 山 県

社会福祉法人浜っ子
浜っ子作業所

→売店ハウス購入

助成金 192,000円



助 成 先

助成対象事業の内容及び助成額

21

岡山県

NPO 法人もっこクラブ
ウィッシュランド

→豆乳製造施設の建設工事

助成金 2,000,000円



22

徳島県

NPO 法人アスカ
阿波就労支援センターアスカ

→新規喫茶事業備品購入

助成金 1,500,000円



23

高知県

社会福祉法人きてみいや
きてみいや

→ニンニク、玉ネギ等の乾燥
場整備工事

助成金 1,000,000円



24

高知県

社会福祉法人土佐七郷会
就労支援事業所ジョブなしろ

→ゼリー商品製造機器購入

助成金 2,000,000円



25

高知県

社会福祉法人愛成会
ワークセンター白ゆり

→クリーニング工場シミ抜き
機購入

助成金 600,000円



助 成 先

助成対象事業の内容及び助成額

福 岡 県

NPO 法人ゆづるは
パン工房こすも

→色彩選別機（コンプレッサ
含む）購入

助成金 2,000,000円



福 岡 県

社会福祉法人キリスト者
奉仕会
大牟田恵愛園

→白衣アイロン機器購入

助成金 1,570,000円



佐 賀 県

NPO 法人ふれあい
ふれあい作業所

→2トントラック購入

助成金 1,000,000円



Ⅳ 障がい者福祉助成金

助 成 先

助成対象事業の内容及び助成額

01

北 海 道

NPO 法人さっされん

→新技術（AR）活用した斬新な元気ブック（カタログ）の作成及び元気ショップオンラインサイトの構築

助成金 1,000,000円



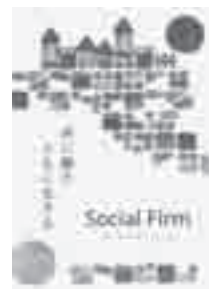
02

北 海 道

特定非営利活動法人コミュニティシンクタンクあうるず

→新たな障がい者・社会的弱者の就労の場「ソーシャルファームー共に働き、ともに生きる」出版

助成金 1,000,000円



03

東 京 都

認定NPO法人ぱれっとぱれっとインターナショナル・ジャパン

→障がいのある人たちのエンパワメントと啓発を目的とした「アジア知的障害会議 in Sri Lanka」参加サポート事業

助成金 999,000円



04

東 京 都

NPO 法人全国言友会連絡協議会

→吃音がある人の就職・就労に関する合理的配慮の具体的方策のための生活実態調査

助成金 587,000円



05

東 京 都

特定非営利活動法人日本バリアフリー協会

→「GC グランドフェスティバル 2015」障がい者就労紹介チラシの作成

助成金 640,000円



助 成 先

助成対象事業の内容及び助成額

06

東京都

公益財団法人スペシャル
オリンピックス日本

→共生社会に向けた青少年
リーダーの育成：ユースア
クティベーション

助成金 700,000円



07

愛知県

NPO法人ハートフルプ
ロジェクト
ハートフルブック

→第2回興正寺古本供養市

助成金 1,000,000円



08

大阪府

社会福祉法人素王会
アトリエインカーブ

→知的障がいのあるアーティ
ストの作品による海外の
アートフェア出展事業

助成金 1,000,000円



09

広島県

NPO法人高次脳機能障
害サポートネットひろし
ま

→高次脳機能障の地域包括ケ
アのための講演会

助成金 1,000,000円



10

広島県

中国地域ブラインドテニ
ス協会

→「第19回西日本ブライ
ンドテニス大会 in 広島」開
催

助成金 150,000円



助 成 先

沖 縄 県

障がいのある人もない人
もいのち輝く条例づくり
の会

助成対象事業の内容及び助成額

➡「沖縄県インクルーシブ社
会条例」解説書出版

助成金 1,000,000円



平成 27 年度 障がい者の働く場 パワーアップフォーラム実施報告

1. 実施体制

パワーアップフォーラムは、福祉施設が経済的自立力を備えるための学びの場です。平成 27 年度のパワーアップフォーラムでは、働く場に欠くことのできない「障がいのある方のディーセントワーク」の時流講座、小倉昌男賞受賞者講演、夢へのかけ橋実践塾塾長講演、助成金活用事例の紹介などでプログラムを構成しました。シンポジウムの終了後には、「夢へのかけ橋 実践塾・第 2 期生」のエントリーシートを配布し、具体的な実践を促しました。

2. プログラム内容

講 座	内 容
時流講座	「障がいのある人のディーセントワーク」 講師：藤井克徳氏（きょうされん 専務理事）
小倉昌男賞 受賞者講演	「～実践現場でわかったこと～酪農・農業に経済的な自立を求めつけてきた受賞者の講演」 ・大阪会場：宮嶋 望氏（農事組合法人共働学舎新得農場 代表） ・東京会場：佐伯康人氏（株式会社パーソナルアシスタント青空 代表取締役）
ジャンプアップ 助成金活用事例報告	「新しいしくみで仕事を活性化」 ～顧客のニーズにベストマッチ～ ・大阪会場：「レストラン ララロカレ」 河原 美和子氏（NPO かたつむりの会 代表 和歌山県田辺市） ・東京会場：「ワークセンター日和山」 吉川大幹氏（社福 新潟市中央福祉会 支援員 新潟県新潟市）
夢へのかけ橋 実践塾塾長報告	・大阪会場：「販売力をみがく」 武田塾塾長 武田 元氏（社福 はらから福祉会 理事長） 「作業現場の生産性を高める」 新堂塾塾長 新堂 薫氏（社福 武蔵野千川福祉会 常務理事） ・東京会場：「新商品を企画する」 亀井塾塾長 亀井 勝氏（社福 ひびき福祉会 理事長） 「お弁当を究極のリピートビジネスへ」 楠元塾塾長 楠元洋子氏（社福 キャンパスの会 理事長）
新規開講 夢へのかけ橋 実践塾塾長講演	～農業と福祉の連携から生まれる障がいのある人の新しい働く場を創る～ 新規開講する「熊田塾」で取り組む農業と福祉の連携について ・大阪・東京会場：「こころん」の農業を通じた地域連携の取り組み 熊田塾塾長 熊田芳江氏（社福 こころん 常務理事・施設長）
ビデオ	「夢へのかけ橋」Ⅲ 上映
シンポジウム	「経済的な自立力を備えた経営」 シンポジスト ・大阪会場：宮嶋 望氏・武田 元氏・新堂 薫氏・熊田芳江氏 ・東京会場：佐伯康人氏・亀井 勝氏・楠元洋子氏・熊田芳江氏 コーディネータ ・東京・大阪会場：藤井克徳氏（きょうされん 専務理事）

3. 実施日・場所・人数

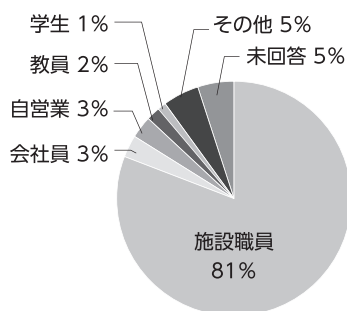
開催日	開催地	会 場	参加人数
7月17日	大阪	大阪国際会議場	139名*
7月24日	東京	全社協 灘尾ホール	222名
合 計			361名

※大阪会場では、台風のため参加できなかった方が多数あり、7月27日に実践塾説明会を追加開催しました。

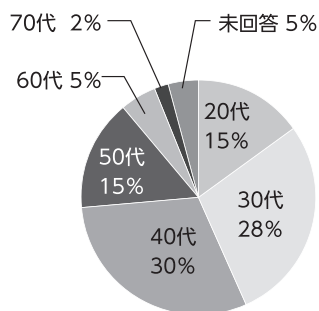
4. 平成27年度 障がい者の働く場パワーアップフォーラム 参加者の傾向

※アンケート回答者182名

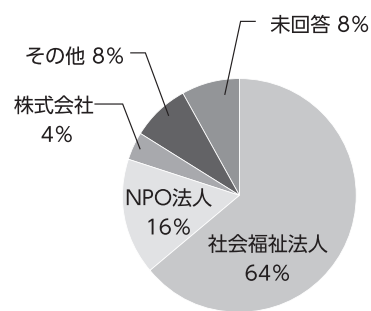
職業



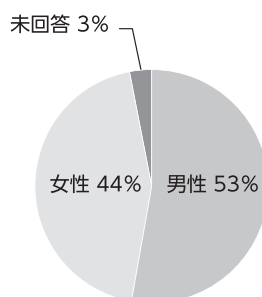
年齢



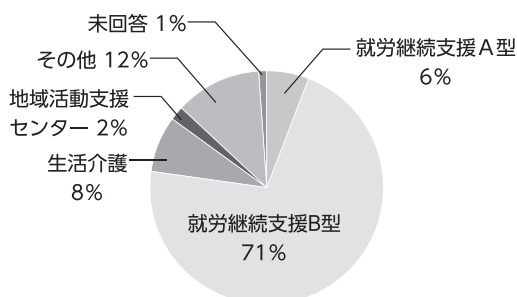
所属



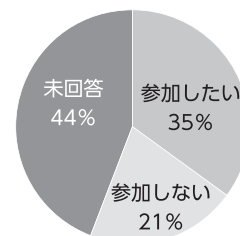
性別



事業区分

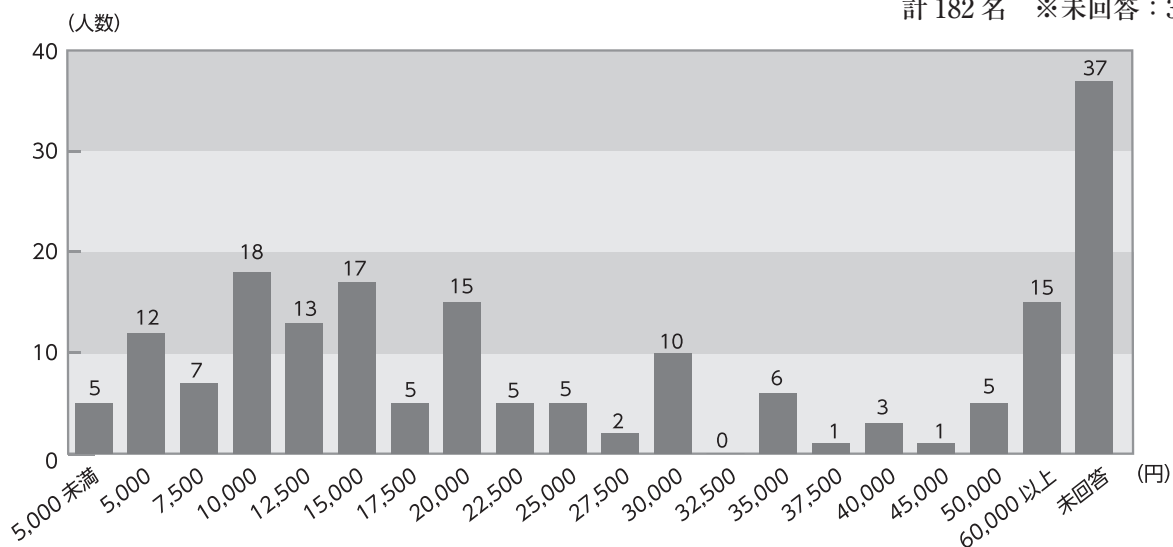


実践塾への参加意思



参加施設の平均給料の分布

計182名 ※未回答：37名



水稲自然栽培チャレンジ実施報告

1. 水稲自然栽培チャレンジとは

水稲自然栽培チャレンジとは「休耕田・耕作放棄地で水稲自然栽培による高付加価値のお米を育て販売し、施設で働く障がいのある方の高収入につなぐモデル」を実証するプロジェクトです。

自然栽培で実績を持つ第15回ヤマト福祉財団 小倉昌男賞を受賞した(株) パーソナルアシスタント青空の佐伯康人代表取締役がプロジェクトリーダーとなり、参加施設に水稲自然栽培のノウハウなどを指導。ヤマト福祉財団は、2年間で600万円の予算を用意し、参加施設に耕運機・田植え機・コンバインなどの購入・レンタル費用を、またプロジェクトリーダーが参加施設に出向き、直接指導を行う派遣費用を支援します。



2. 水稲自然栽培チャレンジのスケジュール

平成27年3月9日、水稲自然栽培チャレンジ検討会議を開き、実施内容、助成の詳細などを決定しました。4月9・10日には参加を希望した五つの施設が初回研修会を実施。水稲自然栽培とはどのような栽培方法なのか、注意点、今後の活動スケジュールなどを説明しました。この日から参加施設は、プロジェクトリーダー・佐伯氏の指導のもと、土壌づくり、種もみ・育苗、代かき、田植えなどに取りかかっていきました。

● 水稲自然栽培チャレンジ検討会議 (平成27年3月9日)

- 初回研修会 (平成27年4月9・10日)
- おもや田植え (平成27年6月9・10日)
- 無門稲刈り (平成27年10月9日)
- おもや稲刈り (平成27年11月3日)

・プロジェクトリーダー
佐伯氏の現地指導
・ヤマト福祉財団の
現地視察

● 水稲自然栽培チャレンジ検証報告会 (平成27年11月9日)

- 厚生労働省・農林水産省共催「農福連携マルシェ」に参加 (平成27年11月10日)

水稲自然栽培の主な流れ

- 田んぼの耕起・種もみ・育苗 (11月～5月)
- 代かき・田植え (6月)
- 稲の育成・水管理・除草など (7月～9月)
- 稲刈り・乾燥 (10月～11月)

● 水稲自然栽培チャレンジ参加5施設

東北ブロック	(株) アップルファーム 福祉事業所六丁目農園 (宮城県仙台市)
中部ブロック	(社福) 無門福祉会 (愛知県豊田市)
関西ブロック	(NPO) 縁活 作業所おもや (滋賀県栗東市)
中国ブロック	(社福) 「ゼノ」少年牧場 ゆめサポート・バク (広島県福山市)
九州ブロック	(社福) 清樹会 通所授産施設・ブライトハウス住吉 (宮崎県宮崎市)



無門福祉会



作業所おもや

「自然栽培を全国の施設へ、地域の農業を利用者さんの手で再生」

プロジェクトリーダー：(株) パーソナルアシスタント青空
代表取締役 佐伯康人氏

私たちは、農薬、除草剤、肥料を使用しない「自然栽培」で野菜やお米をつくっています。いま食の安全、安心が問われていますが、JAのお米が1俵60kg 8000円のところ、うちのお米は1俵60kg 3万6000円。ネットでも即完売し、商品が足りない状態です。

私たちも最初は、農業の経験はまったくなく、耕す土地すらない状態でした。ですから、農業をはじめたいが踏み出す勇気がないという方の気持ちもよくわかります。迷っている方には、私の師匠である木村さんから言われた「あれこれ文句や理屈を言う前に、やった方がいいと思ったのなら、すぐに行動すべきだ」という言葉を贈りたいと思います。

いまではうちの土地も使ってほしいと声がかかるようになり、うちの利用者さんたちが地域の農業を再生することで地域コミュニティを支え、みんなに感謝される存在になっています。

現在私は、ヤマト福祉財団が推進する「水稻自然栽培チャレンジ」のプロジェクトリーダーを担当させていただいています。また、他にも全国に「自然栽培パーティ」というネットワークでつながった仲間もいます。ここには、自然栽培のプロ、流通や販売のプロ、食のプロデュースのプロなどもあります。もしも「うちも自然栽培で農業をはじめたい」という施設があれば、私はどこにでも出かけていくつもりです。 ※平成27年度パワーアップフォーラム講演より



○ 略歴

平成12年、脳性まひのある三つ子が誕生。障がい児を持つ親の苦悩を感じ、自ら居宅介護、訪問介護事業を開始した。平成17年にパーソナルアシスタント青空を設立。子供たちの将来を考え、社会的自立につながる働く場を増やしていきたいという活動の中で出会った、奇跡のリングで有名な木村秋則氏に弟子入り。平成22年より無農薬自然農法を開始した。平成26年には多機能事業所を開所。第15回ヤマト福祉財団 小倉昌男賞受賞。

水稻自然栽培チャレンジ検証報告会

日時：平成27年11月9日
場所：ヤマト福祉財団（東京都中央区）

はじめての水稻自然栽培への挑戦ということもあり、2年間の検証期間を予定していましたが、参加施設は順調に成果を上げることに成功。予定を繰り上げ11月9日に検証報告会を開催し、参加4施設（5施設のうち1施設は果樹栽培に専念し、水稻栽培は行いませんでした）が、水稻自然栽培に取り組む利用者さんの働く様子、収穫量とその売上による給料の予想支給額などを発表しました。これにより、水稻自然栽培チャレンジによる利用者さんの仕事の拡大や給料増額に手応えを得ることができました。報告会では、後続で参加した3施設も出席し、近況を報告しています。

翌日には、農林水産省と厚生労働省が共催する「農福連携マルシェ」にも参加し、収穫したお米や野菜の直売を行いました。

■ 水稻自然栽培チャレンジ検証報告会の内容

日程	プログラム
11月9日	■ 検証報告 ・全7施設が活動内容を報告 ■ 今後の展開について ・自然栽培パーティの活動 ・自然栽培フォーラムの開催 ・農福連携マルシェ連絡事項 ■ 懇親会

水稻自然栽培チャレンジの検証報告会・定量集計結果

参加施設	栽培面	収量	予定価格 (キロ単価)	収入見込み	作業人数	増額予想の給料 (1人当たり月額)
(社福) 無門福祉会	45a	1,350kg	600円	810,000円	3人	16,781円
(株) アップルファーム 福祉事業所六丁目農園	35a	900kg	800円	720,000円	3人	20,000円
(社福)「ゼノ」少年牧場 ゆめサポート・バク	18.5a	450kg	500円	225,000円	6人	3,125円
(NPO) 緑活 作業所おもや	40a	1,080kg	600円	648,000円	18人	3,000円
合 計	138.5a	3,780kg	635円	2,403,000円	30人	6,675円

水稲自然栽培チャレンジの今後

水稲自然栽培チャレンジには、その後も参加施設が増え、平成 28 年 3 月時点で協力事業所を含め全 21 ヶ所となっています。

ヤマト福祉財団は、プロジェクトリーダーである佐伯氏が主催する自然栽培パーティと連携し、参加施設への支援を継続して行うことを決定しました。

現在、自然栽培パーティでは、一般社団法人化の準備を進めており、ヤマト福祉財団は、自然栽培パーティがブランドを全国展開する支援も同時に進める計画です。

●自然栽培パーティ 加盟事業所一覧

(平成 28 年 3 月)

ブロック	事業所名
北海道ブロック	(NPO) 手と手 (北海道札幌市)
東北ブロック	(株) アップルファーム 福祉事業所六丁目農園 (宮城県仙台市)
東北ブロック	(社福) はらから福祉会 (宮城県柴田郡)
東北ブロック	ワーカーズコープ 登米地域福祉事業所きねづかの里 (宮城県登米市)
東北ブロック	(社福) ブラナの森 (福島県須賀川市)
東北ブロック	(社福) 恵泉会 鶴岡市立愛光園 (山形県鶴岡市)
関東ブロック	ワーカーズコープ 報徳ワーカーズ事業所 (神奈川県足柄上郡)
中部ブロック	(社福) 無門福祉会 無門学園 (愛知県豊田市)
中部ブロック	(NPO) 楽歩 (らふ) (愛知県長久手市)
中部ブロック	(NPO) びすた〜り (愛知県知多市)
中部ブロック	(社福) いぶき福祉会 (岐阜県岐阜市)
関西ブロック	(NPO) 縁活 作業所おもや (滋賀県栗東市)
関西ブロック	(社福) 京都聴覚言語障害者福祉協会 さんさん山城 (京都府京田辺市)
中国ブロック	(社福) 「ゼノ」少年牧場 ゆめサポート・バク (広島県福山市)
四国ブロック	(株) パーソナルアシスタント青空 (愛媛県松山市)
四国ブロック	まるく (株) (愛媛県松山市)
四国ブロック	百姓百品 (株) (愛媛県西予市)
九州ブロック	障がい者福祉施設さんすまいる伊都&いとキッズ (福岡県糸島市)
九州ブロック	ワーカーズコープ 国分地域福祉事業所ほのぼの (鹿児島県霧島市)
九州ブロック	(社福) 清樹会 通所授産施設ブライトハウス住吉 (宮崎県宮崎市)
沖縄ブロック	(合同) ソルファコミュニティ (沖縄県中頭郡)



日当り・風通しがよくなるように苗と苗の間隔は20cm以上空けて疎植えし、強い健康的な稲へ育てる

水稲自然栽培 チャレンジ

自然栽培の米づくりで 利用者の給料アップへ 五つの事業所が動き出しました

GWに田植えを終えている周りの田圃では、成長した苗が初夏の風に緑の波を打ちはじめ
ていた6月4日、滋賀県栗東市にあるNPO法人縁活の『作業所おもや』は、今年初めて
の田植えを行いました。
ヤマト福祉財団では、『水稲自然栽培チャレンジ』を今年4月からスタート。作業所おもや
をはじめ五つの施設が参加しています。

付加価値の高い農産物で給料増額 『水稲自然栽培チャレンジ』

利用者により多くの給料を支払える経済的な自
立力を備えた施設となるために、どのような事業に
取り組むべきか。ヤマト福祉財団では、課題解決の
一案として農業に注目し『水稲自然栽培チャレン
ジ』を実施しています。これは「休耕田・耕作放棄地
で水稲自然栽培を行うことで売上・就業人数・就労
時間を改善でき、利用者に高い給料を払うことがで
きるのか」を検証するプロジェクトです。

自然栽培で実績を上げている第15回ヤマト福祉
財団小倉昌男賞受賞者の株式会社パーソナルアシ
スタント青空・代表取締役 佐伯康人さんが、プロ
ジェクトリーダーとなり参加施設をサポート。ヤマ
ト福祉財団は、2年間で600万円の予算を用意し、
参加施設に耕運機・田植え機・コンバインなどの購
入・レンタル費用をはじめ、プロジェクトリーダー
が参加施設に出向き、直接指導を行う派遣費用を支
援しています。

疎植えすることで1本1本に 栄養を行き渡らせ大きく育てる

6月頭に田植えを終え、除草の

時期に入った作業所おもやの田圃
周りの田圃と比べると、苗と苗の
間隔が広く、田圃全体に苗が少な
く見えます。

●『水稲自然栽培チャレンジ』参加5施設

- ▷東北ブロック… (株) アップルファーム 福祉事業所 六丁目農園 (宮城県
仙台市)
- ▷中部ブロック… (社福) 無門福祉会 無門学園 (愛知県豊田市)
- ▷関西ブロック… (NPO) 縁活 作業所おもや (滋賀県栗東市)
- ▷中国ブロック… (社福) 「ゼノ」少年牧場 ゆめサポート・バク (広島県福
山市)
- ▷九州ブロック… (社福) ブライトハウス住吉 (宮崎県宮崎市)

水稲自然栽培の主な流れ

●田圃の準備と耕起

フナなどを散じ、土壌を豊かにします。
春になり、土が十分に乾燥している時
に10cmくらいの塊に耕起（田植えの1
カ月前が目安。乾土状態。土の力を引
き出し、雑草を生えにくくします。

●種もみ選別

農業を問わずに育苗土をつくります。
温湯消毒を終えた種をまき、30〜45日
かけ大苗に育てます。

田圃・苗の準備 11月〜5月



▶作業所おも
やでは、収穫し
たもみ殻を炭（燐
炭）をつくる



◀60℃を保っ
たお湯で丁寧
に消毒を終え
た種をまく

●代かき

田植えの約3日前に水を張り、十分に
土に水をしみ込ませ代かきをします。

農業の喜びを知り、利用者さんの働く意欲も向上

「育苗日数を長くした丈夫な大苗は、倒れても自然に起き上がります。雑草は、倒した勢いで抜けるが水没してしまい、チェーンで水が攪拌され濁るため、光合成ができなくなり成長が止まります。除草作業で利用者さんは、浮き上がった雑草を拾い上げたり、セリなどの根の強い雑草を手で抜く作業を担当します。いまトラクターの運転は職員が担当していますが、免許を取得しようと勉強中の方もいます」。



収穫・出荷作業は朝7時から。「このトマトは僕が収穫したので美味しいはず」と利用者さん



おもやの看板商品は、熟れて甘い匂いのするイチジク

現在、18名の利用者が、土とふれあいながら、野菜やお米づくりにそれぞれ携わっています。

「みんな農業が大好きになっていきますね。うちから卒業した何人かは、農業関係に就労していきました」。

杉田さんは、この作業所が福祉分野から農業分野へのかけ橋になれたらと考えています。

「私が農業を作業所の仕事にしようと考えたのは、仲間とともに自然と向き合い、汗を流し作物を育てていく農業の喜びを利用者さんに伝えたかったからです。いま滋賀県では農業の若い働き手、担



作業所の2階に集合して朝礼。仕事の割り振りをここで行う



地元のこだわりの野菜をおいしい料理で提供する今年3月に開店したばかりの「オモヤ・キッチン」

い手が不足しています。将来、自分の田畑を持ちたいと考える方には、自然栽培のプロとして成功できる実力を身につけてあげることが、また、ここで農業を続けたいという方には、自立して生活できるだけの高い給料を支払うことが、私たちの仕事だと思っています」

「つくり手のプロに専念」強い覚悟で臨み、腕を磨く

現在、作業所おもやでは、施設の近くにある畑でタマネギやジャガイモ、ナス、ピーマンなど30種類ほどの野菜を自然栽培で育てています。中でもイチジクは人気があり、



チェーン除草機を装着したトラクターが通ったあとに苗は起き上がり、水が濁っている。

作業所おもやの看板商品となっています。



チェーン除草で浮き上がった雑草を熊手で拾い集める

「田圃1枚が1反、計3反の田圃は、作業所から離れた山の中にありますので、人や道具を運搬する車を助成で購入しようと考えています。移動が楽になれば、もっと田圃が増えても対応が楽になります。

農業は、土、草、水、そして人と上手につきあつていくことが大切だと経験から学びました。失敗も多いですが、それを今後どう活かすかが大事だと思っています。すべての野菜を自然栽培に切り替えた時も、大きく育てることができず出荷できない状態になってしまいました。それでも「なんとかしなければ」とみんなで営業に走り回り、新しい取引先も獲得し、前年

「今後、販売は専門家に任せ、私たちはつくり手のプロとして腕を磨いていくことに決めました。たくさんある自然栽培のノウハウ一つひとつを学び、自分たちの環境や田圃の規模、労働力などを踏まえ、より最適な方法を取り入れるようにしていきます」。

水稲自然栽培で必ず成果を上げてみせると笑顔で話す杉田さん。秋の収穫がいまから楽しみです。



疎植えした田圃はまだ緑も乏しいが、秋には立派な稲穂が実る姿が楽しみ



お伺いした日はちょうど給料日。汗して稼いだ給料を受け取る利用者さんはみんな笑顔



参加した子供たちをコンバインに乗せて一緒に稲刈り



左が無門福祉会で育てた稲。分けつを繰り返し根が太く長くなっている



稲を刈る手応えも十分に太く立派に育った



視察に訪れた瀬戸理事長と磯部さん(左)



まさに頭を垂れるほど豊かに育った稲穂



プロジェクトリーダー
佐伯康人さん

耕作放棄地を福祉施設が自然栽培で再生する、これが成功すれば日本の農業も福祉も変わっていく、とプロジェクトリーダーの佐伯さん

※水稲自然栽培チャレンジとは… 休耕田・耕作放棄地で水稲自然栽培による高付加価値のお米を育成・販売し、施設で働く障がい者の収入につなぐモデルを実証するプロジェクトです。参加施設には、第15回小倉昌男賞を受賞した(株)パーソナルアシスタント青空 代表取締役の佐伯康人さんがプロジェクトリーダーとなり水稲自然栽培のノウハウを指導。ヤマト福祉財団は、参加施設が耕運機・田植機・コンバインなどを購入・レンタルするための費用、またプロジェクトリーダーの派遣費用などを支援しています。



刈り取った後を見ると太く育った株からいくつにも枝分かれしていることがわかる



稲刈りした一部は、品質よく保存できるよう天日で乾燥させる「はざ掛け」に



これを自分たちが育てたと自信満々に稲穂を掲げる利用者



近隣農家や地元の仲間、家族も参加



正面から朝日が上がり、命の営みを見せてくれるおもやの田んぼに訪れた実りの秋

(社福)無門福祉会

水稲自然栽培での初収穫へ戸惑いながらも一歩ずつ前進

10月10日、愛知県豊田市にある無門福祉会が稲刈りを行いました。あいにくの曇り空でしたが、秋風にそよぐ黄金色の稲穂を見ると、自然に笑顔がこぼれてきます。応援に駆けつけてくれた周辺農家、家族で参加されたボランティアなど、大勢の方が一緒に作業を開始しました。

「私たちは30年近く農業を行っていますが、水稲自然栽培は初めての試みです。じつは農業の収益がまったく上がらず、売上も年間でわずかに5万円。もう止めてしまつてはという意見も出ていました。そんな時、佐伯さんのお話を聞き、水稲自然栽培なら給料増額に結びつくのではと考えたのです。肥料を与えない、疎植にするなど、これで大丈夫だろうかと不安になることもありましたが、それでも、豊かに実った穂は重く垂れ下がり、次に強風が来たら倒れてしまうのではと心配するほど立派に育ってくれました」と磯部竜太事務局長は話します。

周りの農家が驚くほど太く立派な株の稲穂に成長

その稲穂は、いろいろな田んぼを見てきた佐伯さんも「200点満点の満ちた実だね」と評価するほど。近隣の農家の方は「肥料を与えていないのに1本の株がこんなにも太く大きく育つなんて」と驚いています。

「肥料を与えないことで、根が養分を求めて深く強く張り、大きく育つ

ていくのです。土の硬い部分が深い田んぼと浅い田んぼで、根の張り具合も変わってくることを知りました。今年は2度台風が来ましたが、強い根のおかげでうちの稲は負けませんでした」。

与えられるだけでなく

利用者が自ら考え作業を開始

無門福祉会が水稲自然栽培を行った田んぼは約4反。今年の収穫量は約1350kgで、利用者一人当たり約1万6800円の給料アップができる計算になりました。

「水稲自然栽培では、草むしりや害虫対策、水の管理など、日々こまめに対応すべき作業がたくさんあります。利用者さんは、それぞれ自分にできる仕事を担当していただきました。凄いなと感じたのは、苗が育っていく過程で利用者さんが作物を育てる面白さを肌で感じ取り、こちらが指示する仕事だけでなく、自ら草をむしる、休日に田んぼをバトロールするなど、自分たちでできることを考え、自発的に動きはじめたことです」。

そんな姿を見た周りの農家の方は「頑張っているね」と気軽に声をかけてくれるようになりました。

しかし、すべてがうまくいったわけではありません。アオミドロが発生したり、カメムシやイナゴの被害も受けました。

「まだまだ勉強しなければならぬことは山ほどあります。来年は、法人全体で水稲自然栽培に取り組み、倍の面積に田んぼを広げ、より成果を上げたいと思います」。

障がいのある方が農業再生の原動力に

無農薬・無肥料・無除草剤の水稲栽培で、利用者の仕事の拡大と給料アップを目指す、それが『水稲自然栽培チャレンジ』です。昨年4月、このプロジェクトに参加した四つの施設は、田んぼづくりや育苗など、自然栽培独自の方法を学び挑戦を続けてきました。そして昨秋、自然の恵みと利用者の愛情をたくさん吸収し、すくすくと成長した稲穂は、無事に収穫の時を迎えました。



自然栽培の田んぼでは多くの命が共生している

11月3日に行われた作業所おもやの稲刈りは、これまで協力いただいた方への感謝を込め、収穫祭というイベントになりました。前日の雨で田んぼに多少のぬかるみはありますが、収穫を祝うように、午後からは気持ちよく晴れてきました。お昼ご飯には、オモヤキッチンが、利用者が自然栽培で育てた野菜を豚汁にして振る舞い、あちこちで笑い声、歓声があがるにぎやかな稲刈りになりました。

「しっかりと実がつまった立派な稲穂に育ちました。昨年、育苗に失敗したこともあり、不安と期待が入り交じりながらの作業でしたが、みんなよくがんばってきたなど、いまは胸がいっぱいです」と話すのは杉田健一施設長。耕作放棄地を借り受け、小山がでるほどの雑草を刈ることからスタート。佐伯さんのアドバイスで育苗も無事に成功し、田植えも順調に終わりました。

「田植えの後は、毎日が雑草との戦いでした。朝5時、1人で田んぼに出て草取りをしていると、日の出とともに何千匹のトンボが一斉に飛び立つのです。トンボは卵を産み、ヤゴが生まれ、それが羽化していく。ああ、この田んぼでは稲だけではなく、いろいろな命の営みがある、それだけ豊かな土地なんだと実感しました」。

だれもが主役になれるそれだけたくさん仕事がある

土、水、草、虫などに関わる自然相

(NPO)縁活

作業所おもや

手の仕事ですから、なにもかもマニュアル通りとはいきません。

「水温が低く水の管理がうまくいかない、気がついたらゾウムシが大量に発生していたなどの問題も発生しました。でもそこから新しい仕事も広がったのです。たとえば、田んぼに出ることでできない利用者さんは、芽が出たばかりの苗を食べにくるスズメを追いかける仕事を担当しました。たくさんある仕事の中から、自分の得意な仕事を、自分が主役になれる仕事を見つけていることができる、これも自然栽培のよいところですね」。

みんなで共働すればどんな困難も乗り越えられる

今回の収穫量は、はぎ掛けしてある分も含めて約1080kg、売上を計算すると月約30000円の給料増額が見込めそうです。

「この収穫量では、利用者が満足できる給料には到達できません。もっと効果的に成育できる工夫をして、収穫量を上げていきたい。佐伯さんから、田んぼに傾きが有り、低い部分に水が溜まりやすいので水のコントロールが大切だと教えられましたので、稲刈りの後、田んぼをよく乾燥させて来年の準備を進めています。来年は新しい田んぼを5反借りて約2倍に増やす計画です。今回、私たちは職員も利用者も関係なく、みんなで力を合わせていろいろな困難を乗り越えてきました。共働する強さを知った私たちなら、きっと目標を達成できると信じています」。



利用者、職員、そして近隣の方もみんなで力を合わせて稲刈りを完了



こんなに大きく育つのかと、稲刈りを手伝った近隣農家の方も驚くほど

『水稻自然栽培チャレンジ』 検証報告会



利用者の成長した姿と収穫の手伝いを
報告する水稻自然栽培チャレンジの参
加施設



検証報告会の翌日は厚生労働省で開催
した「農福連携マルシェ」に参加

はじめての挑戦ということもあり、2年間の検証期間を予定していましたが、参加施設は順調に成果を上げることに成功。予定を繰り上げ11月9日に検証報告会を開催しました。

ゆめサポート・バクは「利用者6名と2反弱の田んぼで挑戦。自然栽培は、最初だけ手をかければ後は勝手に成長してくれるイメージでしたが、想像以上に大変でした。でも、利用者の楽しそうに働く姿と、すくすくと成長する稲穂を見ると、苦労もすべて吹き飛びます」と報告。

レストランを運営する六丁目農園は「水が冷たい土地で水管理が難しく、またいもち病の心配もありましたが、収穫までこぎ着け、その品質を周りの農家にも認めていただきました。地元の方からは、レストランと自然栽培で地域復興に手を貸してほしいと声をかけられ、早速、動き出しています」と次の計画についても報告しました。

各施設の頑張りを見守り、アドバイスを続けてきた佐伯さんは「お米はもちろん、その土地に合った野菜や果物を自然栽培でつくり、みんなでネットワークを構築して全国販売できれば成果はより拡大していくと思います。日本の農業の再生を、障がいのある方の手で実現していきたいと思います」と呼びかけました。

翌日は、農林水産省と厚生労働省が共催する「農福連携マルシェ」にも参加。収穫したお米や野菜の直売を行い、大きな手応えを得ることができました。

今後、ヤマト福祉財団では、水稻自然栽培チャレンジにより多くの施設が参加できるように体制を整え、また佐伯さんが推進する「自然栽培パーティ」のブランドを全国展開していく支援を同時に進めていく計画です。

●定量集計結果

	栽培面積	収量	予定価格 (キロ単価)	収入見込み	作業人数	増額予想の給料 (1人当たり月額)
(社福) 無門福祉会(愛知県豊田市)	45a	1,350kg	600円	810,000円	3	16,781円
(株) アップルファーム福祉事業所六丁目農園(宮城県蔵王町)	35a	900kg	800円	720,000円	3	20,000円
(社福) 「ゼノ」少年牧場ゆめサポート・バク(広島県福山市)	18.5a	450kg	500円	225,000円	6	3,125円
(NPO) 緑活作業所おもや(滋賀県栗東市)	40a	1,080kg	600円	648,000円	18	3,000円
合 計	138.5a	3,780kg	635円	2,403,000円	30	6,675円

※(同) ソルファコミュニティ(沖縄県北中城村)、障がい者福祉施設さんすまいる伊都(福岡県糸島市)、(社福)「ゼノ」少年牧場 JOB プラスはんど(広島県福山市)の3施設が新たに参加することになり、検証報告会に出席しました。



来年はもっと田んぼを広げるぞ、収穫の喜びはさらなる挑戦意欲につながっていく



応援に駆けつけた仲間と、豚汁・ごはんで昼休みのひととき

平成27年度「夢へのかけ橋 実践塾」実施報告

1. 夢へのかけ橋 実践塾とは

「夢へのかけ橋 実践塾」は、夢へのかけ橋プロジェクトのテーマ“経済的自立力を備えた新しい福祉”に向かって行動を起こす施設を塾生とし、給料増額の目的を達成するための研修会です。塾生は「1年後3万円、2年後5万円」の給料増額を目指し、事業改革に取り組んでいます。

実践塾・第1期として、平成25年のパワーアップフォーラムで募集した「武田塾・新堂塾・亀井塾」計42の塾生は、平成25年9月～平成27年9月の2年間活動。同じく第1期として平成26年のパワーアップフォーラムで募集した「楠元塾」の9塾生は、平成26年9月～平成28年9月の2年間活動します。

実践塾・第2期では、平成27年7月のパワーアップフォーラムと大阪で追加開催した説明会により募集した「5万円必達塾」に5施設、亀井塾長と熊田塾長による「新塾」に15施設が入塾し、平成27年9月～平成29年9月の2年間活動します。

塾生には、クラウドサービスによる「収支管理システム」を提供しています。塾生はこのシステムを活用することで、毎日・月ごとの売上を把握。新たな目標の設定や改善策の検討・実行などに役立てています。また、塾生が起こす事業をモデル化して水平展開するための資金（「夢へのかけ橋」事業改革モデル化資金）を用意。本助成は、塾生が立てた事業プランから、効果が高いと認められるものに対し、新規事業を起こすため、また事業改革を進めるために必要な道具や働く環境整備を支援します。

※平成27年度は、楠元塾の塾生・夢さぼーとに弁当事業部を開所するための厨房改装資金など300万円を助成しました。

2. 研修内容

各塾は独自に研修会、見学会、勉強会、塾長による塾生施設の視察などを開催し、塾生一人ひとりの抱える問題を具体的に解決できるように取り組みました。また複数の塾が一つの会場で合同研修会を開くことにより、互いに情報交換を行う機会も提供し、給料増額の目標達成につながる効果を狙いました。

- ・販路拡大や商品開発など営業に関する新規事業や改善について事業プランを作成。
- ・2年間を通じて合同研修をはじめ、各塾ごとに研修会や勉強会を開催し、自分の目標の進捗や他参加者の進捗などを確認。
- ・先行している施設より現場の課題などを説明。
- ・グループディスカッション・合同パネルディスカッションなども取り入れる。
- ・2年間、PDCA サイクル手法を実行して成果を出す。

3. 夢へのかけ橋 実践塾 全体のスケジュール

夢へのかけ橋実践塾・第1期

武田塾	新堂塾	亀井塾	楠元塾
	塾生施設の見学・勉強会 盛岡杉生園 (平成27年6月1日)	- 塾長の塾生施設視察 くすの木作業所、 ほっとステーションおひより、 ワークハウス・わくわく!、 ワークくわの木 (平成27年5月14・15日) - 塾長の塾生施設視察 富浦作業所 (平成27年6月26日)	- 事業改革モデル化資金 助成施設「夢・さぼーと」 プレオープン (平成27年8月4日) - 塾生施設の見学・勉強会 ふぁみりお (平成27年8月19・20日)
3 塾合同修了式 (平成27年9月4・5日)			
・武田塾分科会	・新堂塾分科会	・亀井塾分科会	

夢へのかけ橋実践塾・第2期 塾生募集

- ・パワーアップフォーラム (大阪会場7月17日・東京会場7月24日)
- ・実践塾説明会 (大阪会場7月27日)

5万円必達塾	新 塾		
夢へのかけ橋実践塾・第2期合同開講式 (平成27年10月2・3日)			
・5万円必達塾 第1回研修会	・新塾第1回研修会	・第4回楠元塾	
	●第2回研修会 (平成28年2月4～6日) ・おもや見学・勉強会 (平成28年2月4日) ・亀井塾長施設見学会 (平成28年2月5日) ・収支管理システム勉強会 (平成28年2月5日) ・塾生報告会 (平成28年2月6日)	・ステップ アップセミナー (平成28年2月6日)	・塾生施設の見学・勉強会 さくらんぼのお家 (平成27年11月5・6日) ・第5回楠元塾 (平成28年2月18・19日)

※新堂塾修了者に向けて：フォローアップ研修 (平成28年2月10・11日)

武田塾

塾長の（社福）はらから福祉会理事長は“事業経営と福祉支援を別物と考えずに、給料アップを支援力のバロメーターとして捉えていく”ことを塾生に説いています。塾生は、給料増額のために経営者として当たり前のことをきちんと実行できるようになるため、会計・賃金の計算、PDCAの徹底などを押し進めながら、事業改革に取り組んでいます。

塾長：（社福）はらから福祉会 理事長 武田 元氏

○ 略歴

1966年より宮城県公立学校教員として31年間勤務。1979年に「はらから会」を立ち上げる。2004～2010年度まできょうされん宮城支部長。2010年9月～2013年3月『障がい者の暮らし変革塾』塾長。第3回ヤマト福祉財団賞受賞。



武田塾塾生：14施設（平成27年9月現在）

【法人名】	【事業所名】	【事業所形態】	【事業内容（要旨）】	【現在、取り組んでいる事業（要旨）】
（社福）旭川旭親会	きたのまちジョブリハセンター	地域活動支援センター	ラーメン、就労訓練	乾麺の開発および販路拡大、経費の削減、利用者の労働意欲の向上
（社福）つくしの里福祉会	第2つくしの里	就労継続B型・生活介護	豆腐等製造販売	注文販売を伸ばすためチラシを作成、新商品開発、仕入れ商品の販売も開始
（NPO）あさがお	いっぽいっぽあさがお	地域活動支援センター	豆腐製造販売など	豆腐製造ができる利用者の育成、販売ルートや顧客拡大に合わせた製造・販売体制の強化
（NPO）吉野コスモス会	ういる工房	就労継続B型	いなり、寿司の製造販売	事業改革モデル化資金で導入した冷凍特殊技術を活かした冷凍野菜・寿司の販路を拡大
（社福）わくわく	ふれあいワーク	就労継続B型	自主製品、清掃、リサイクル、下請	新たに仕入れ販売を開始、土曜市の毎月実施、ホスティング作業などで売上を拡大
（社福）結い	ワークハウス・わくわく！	就労継続B型	洗濯・宅配弁当事業	新たに病院内にショップを開き、利用者のみで店頭業務・発注業務を行う
（社福）清樹会	ブライトハウス住吉	就労継続B型	配食サービス	季節の行事に伴って物品販売を企画、高齢者配食サービスの契約者を増やし配食サービスの売上を拡大
（NPO）コンパスの会	コンパス	就労継続B型	パン、内職、農業	事業改革モデル化資金でパン、仕入れ商品の直売所をオープン、また定期的に開く『市』で認知度を上げ、売上を拡大
（社福）亀岡福祉会	第三かめおか作業所	就労継続B型	菓子の製造販売、施設外就労（清掃）	事業改革モデル化資金でオープンを購入、新商品開発、OEM商品の取引を拡大
（社福）ゆずりは会	ゆずりは	就労継続B型	野菜の栽培・販売	事業改革モデル化資金で導入した枝豆定量袋詰機、播種機を使い生産性を上げて出荷量を増大
（NPO）障害者の地域生活を支援する会	サポートスクエアばおばお	就労継続B型	豆腐製造販売、農作物生産卸売	事業改革モデル化資金で鶏舎を拡大、自然卵養鶏を事業の柱に転換
（社福）キャンパスの会	給食センターキャンパス	就労継続B型	受託作業、エコ事業	仕入れ商品の販売、麺（ラーメン、焼きそば）の製造販売を開始し、販路拡大を推進
（NPO）糧の実作業所	就労支援事業所かしのみ	就労継続B型	ドライフルーツ、クロネコDM便・封入	事業改革モデル化資金でドライフルーツの製造設備を整え、商品を増やし新規取引先を開拓
（NPO）バイタルフレンド	多機能型マザーワート	就労継続B型	パン・菓子・洋食レストラン	イベントや外販を拡大、テイクアウトの商品を開発、店舗の集約などで経費を削減

新堂塾

新堂塾は、生産効率を高めるライン化の実現で給料増額を目指しています。塾長である（社福）武蔵野千川福祉会新堂常務理事は“ライン化とは、いままで一人で行っていた仕事を、いくつかの工程に分け、複数人で分担作業することで生産性を上げ、売り上げを伸ばすこと”と伝え、塾生は、働く環境の改善、ビジネスマナー、業者へのアプローチなど総合的な改善に取り組んでいます。

塾長：（社福）武蔵野千川福祉会 常務理事 新堂 薫氏

○ 略歴

1985年、千川作業所に指導員として就職。1987年のチャレンジャー設立とともに異動し、1999年に同施設長に就任。社会福祉士。2010年9月～2013年3月『障がい者の働くちから革新塾』塾長。第9回ヤマト福祉財団 小倉昌男賞受賞。



新堂塾塾生：14施設（平成27年9月現在）

【法人名】	【事業所名】	【事業所形態】	【事業内容（要旨）】	【現在、取り組んでいる事業（要旨）】
（社福）かるべの郷福祉会	かるべの郷ドリームワークス	就労継続B型	清掃、農業、自主製品	農作業の効率化を図るとともに、プロの農作物も仕入れ販売、直売所の開設を計画
（社福）自立更生会	盛岡杉生園	就労継続B型	受託事業（下請け）、自主事業	働く環境の整理整頓、収益の高い事業に集約、クリーニング工場の準備を進行
（社福）キリスト者奉仕会	障害福祉サービス事業恵愛ワークセンター	就労継続B型	パン製造販売、タオル縫製、軽作業	5S委員会を立ち上げる、清掃チェック表を作成、施設の環境づくり・ルールを徹底
（社福）池田町社会福祉協議会	池田町障害福祉サービス事業所ふれ愛の家	就労継続B型、生活介護	下請け、クリーニング	作業環境の整理整頓と効率化を図る、新規農業で収穫したジャガイモを保育園、高齢者施設、ファーマーズへ販売
（社福）あかね	ワークアイ・船橋	就労継続B型	録音、翻訳、テープ作製等	一つの作業台で2種類の作業を行えるスペースを確保、単価の高い仕事の受注を目指す
（社福）武蔵野千川福祉会	ワークイン中町	就労継続B型、生活介護	DM簡易封入作業	5Sを徹底、事業所全体で同時に二つの案件を進められるように生産ラインを2本化
（社福）武蔵野千川福祉会	武蔵境ワーキングセンター	就労継続B型・就労移行	DM加工業務（封入等）	利用者の技術を高め、事業改革モデル化資金で導入したエア給紙丁合機で生産性を向上
（社福）武蔵野千川福祉会	八幡作業所	就労継続B型・就労移行	DM封緘封入作業	自動丁合機の導入に伴い生産ラインを改善、職員は利用者の能力を高めることを目的に個別指導を進める
（社福）同朋福祉会	あそかの園	就労継続B型	ビルメンテナンス、農作業など	田圃を拡大するとともに利用者の仕事をライン化、ビニールハウスや倉庫の整理整頓を徹底
（社福）京都聴覚言語障害者福祉協会	いこいの村・栗の木寮	生活介護	パン・ピザの製造販売・喫茶営業	委託販売先、移動販売先を拡大、ライン化により袋詰めと仕込み作業の生産効率を改善
（社福）キリスト者奉仕会	障害者就労・自立支援センターたんぼぼ	就労継続A型・就労継続B型・就労移行	弁当製造販売・レストラン事業	ベルトコンベアでの弁当詰めのライン配置を改善、配達エリアを拡大
（NPO）工房はづき	工房はづき	就労継続B型	DM封入封緘、その他委託事業	収益の高い事業を拡大し新たに機器も導入、全職員で5Sの徹底と営業力を強化
（社福）新潟市中央福祉会	ワークセンター日和山	就労継続B型、生活介護	クリーニング、縫製、ウエスなど	ジャンプアップ助成により私物専用乾燥機ムーンサルトを購入し、私物クリーニングを強化
（社福）しあわせ会	障害福祉サービス事業所第二むつみ園	就労移行・就労継続B型・自立訓練	老人ホーム・病院・個人のクリーニング	検品時の確認レーン、洗濯物のたたみ機を増やすなど作業環境を改善、ジャンプアップ助成で配送車両を導入、仕事の効率化、生産増を図る

亀井塾

“賃金規定に則り、決められた金額の給料を支払える施設へ”。そのためには原価から、収入・支出、利益計算までをきちんと行い、数値目標を決定すべきであると、塾長である（社福）ひびき福祉会 理事長 亀井 勝氏に話しています。塾生は、マーケティングをベースに接客・集客活動と連動した販路拡大や顧客開拓、商品開発の具体的な計画・実践を目指しています。

塾 長：（社福）ひびき福祉会 理事長 亀井 勝氏

○ 略歴

1977年ひびき共同作業所を開設。1984年に社会福祉法人の認可を得て常任理事、施設長へ。大阪府社会福祉協議会セルプ部会会長、ハイ・ワークひびき施設長、全国社会福祉協議会全国社会就労センター事業推進委員長などを務め、定年退職後は全役職を辞任し（社福）ひびき福祉会理事長に。第7回ヤマト福祉財団 小倉昌男賞受賞。



亀井塾塾生：13施設（平成27年9月現在）

【法人名】	【事業所名】	【事業所形態】	【事業内容（要旨）】	【現在、取り組んでいる事業（要旨）】
（社福）いわみ福祉会	ワークくわの木江津事業所	就労継続B型	レストラン、農業、加工販売	事業改革モデル化資金で野菜乾燥機2台、水分活性測定器を導入し、干しいも「いわみ蜜衛門」のブランド化を目指す
（NPO）MAMMA	夢中club	就労継続B型・その他	和菓子・農作業	弁当、和菓子、お惣菜の製造販売に加え仕入れ販売も開始、今後はごぼう茶の内部加工、外注加工にも注力
（NPO）あさがお	きぼうのあさがお	就労継続B型	菓子・弁当・青ばた味噌製造など	青ばた豆のパウダーを使用したパウンドケーキなど菓子の製造
（NPO）ほっとスペース ひだまり	ふくふく亭	就労継続B型	弁当製造販売・レストランなど	採算の悪い中華レストランを閉鎖し宅配弁当事業に専念
（社福）結い	ワークハウス・わくわく！	就労継続B型・就労移行	宅配弁当サービス（1日100食）	病院内に売店をオープン、宅配弁当事業と連携し高齢者を対象とした日用品の配達を計画
（NPO）NPOデフNet. かごしま	ぶどうの木	就労継続B型	自主製品、内職	事業改革モデル化資金で薩摩ワッフル専門店を新規オープン
（NPO）花の花	ほっとステーション おひより	就労継続B型	米・野菜作りとその販売	新商品「いきなり団子」で売上を増加、宅配弁当や野菜の加工品の製造販売にも着手
（NPO）生活自立研究会	就労継続支援B型 富浦作業所	就労継続B型	びわ茶製造、パン、さおり織	パン・クッキーの製造販売促進のため、製造技術者を育成し製造機器も導入
（NPO）サポートセンター 木立	軽食・喫茶の木立	地域活動支援センター	軽食、喫茶、弁当	事業改革モデル化資金で店舗を改装し、クッキー製造部門を新設
（社福）北日野こもれび会	びーぶるファン	就労移行・就労継続B型・生活介護	ビニール加工、縫製など	菓子製造部を本格的な事業へ、越前市のお菓子としての定着を目指す
（社福）荻田町社会福祉協議会	くすのき作業所	就労継続B型・生活介護	下請け作業・手芸品・印刷	事業改革モデル化資金でレストランを開店、弁当製造販売も開始し事業を拡大
（社福）あおぞら福祉会	工房シテイ	就労継続B型・生活介護	食品加工・ウエス・リサイクル	クッキー、シフォンケーキの新商品開発、各商品をセットにしてカフェやショップで販売
（社福）あゆみ福祉会	あゆみ作業所	就労継続B型	ふざん入れ・下請け・生チーズケーキ	事業改革モデル化資金でトークオープンを購入、酒粕チーズケーキを軸とした地域ブランドを構築

3 塾合同修了式

日 時：平成27年 9 月 4 ・ 5 日

場 所：晴海グランドホテル（東京都中央区）

「利用者の給料を3万円、5万円に」を目標に2年間取り組んできた武田塾・新堂塾・亀井塾の1期生たち。その成果報告を含め、9月4日・5日に3塾合同修了式を晴海グランドホテルで開催しました。

初日、事業改革モデル化資金の助成を受けた塾生を皮切りに、全41の塾生が2年間の成果を発表。5万円という目標を達成できた事業所、いま一步届かずに歯がゆい思いをした事業所など、結果はそれぞれです。

「PDCA、ライン化、ものづくりのノウハウなど、塾長に教えていただいたことを今後も実践し続け、さらに給料増額に励みたい」「かたくなだった職員の考え方も徐々に変わってきた」「なによりも利用者さんが事業所を“仕事場”として捉えるようになったことが大きな成果」などさまざまな報告がありました。そしてだれもが「2年間頑張りが続けたことは、これからの大きな自信になりました」と口を揃えて報告しています。

塾生たちの成長を見届けに来られたきょうされんの藤井克徳専務理事は「これからは自分の事業所だけではなく、各地域での牽引者としての意識も持ってください」と講評しました。

ヤマト福祉財団の瀬戸理事長は「2年間で5万円という目標はちょっとハードルが高かったかもしれませんが、みなさんの努力の成果はしっかりと数字に現れています。みなさんの挑戦はこれで終わりではありません。今後上を向いて、利用者さんのしあわせを実現するために走り続けてください。私たちは応援します」と呼びかけました。

報告会の後は、懇親会を開催。1期生の中で特に目立った成果を上げた塾生、厳しい状況の中で健闘が光った塾生など、6施設を表彰しました。

翌日は、各塾ごとに最後の分科会を開催。塾生からは「これからもいろいろ苦労はあると思いますが、“利用者さんのために”と同じ思いで頑張る仲間が全国にいる。それだけで心の支えになり、どんな壁も乗り越えることができると思います」など、前向きな感想が多く出ました。そんな塾生たちに各塾長は、今後も利用者さんのために給料増額に励み、他の施設のモデルとなっていきたいとエールを送りました。

修了式を終えても名残惜しくなかなか会場を後にできない塾生たち。それでもそれぞれの決意を胸に、新たな目標に向かい実践塾から巣立っていきました。



■ 3 塾合同修了式の内容

日 程	プログラム
9月4日	■ 3 塾成果報告会 ・ 事業改革モデル化資金受領者 ・ 月額平均給料5万円以上達成者 ・ 月額平均給料5万円未満達成者 ■ 理事長 講評 ■ 藤井専務理事 講評 ■ 懇親会（表彰式含む）
9月5日	■ 3 塾長 講評 ■ 分科会 ・ 武田塾 ・ 新堂塾 ・ 亀井塾 ■ 解散

武田塾分科会

日時：平成27年9月5日
場所：晴海グランドホテル（東京都中央区）

武田塾は、当初 20 の塾生でスタートしましたが、修了時には 14 事業所に。「せっかく改善計画を立てても同僚からなかなか同意を得ることができず、逆に孤立してしまったこともあったが、あきらめず説得し続けて良かった」。「うまくいかない時は、その理由を憶測ではなく、データから考えることができるようになった」などの感想が出ました。

武田塾長は「利用者さんの給料をなぜ上げなければならないのか、その意味だけは決して忘れてはいけません。そして事業所の中で繰り返し唱え続けてください。日々の忙しさに流されず、つねにしっかりとした基準を持ち、今後も頑張ってください」とメッセージを送りました。



新堂塾分科会

日時：平成27年9月5日
場所：晴海グランドホテル（東京都中央区）

塾生たちは、改めてこの2年間を振り返り、本音で意見交換を行いました。中には思うようにできなかった悔しさから言葉に詰まる方も。「これから先、大変なことがあっても、相談できる仲間ができたことは大きな財産」と塾で築いたつながりを今後も活かし、次の目標達成に向かっていくことを互いに確認しました。

新堂塾長は「正直、私にとってもこの2年間はプレッシャーでした。塾長として売上を落とすわけにはいきませんから（笑）。みなさんそれぞれに課題を抱えています。それを解決できるように頑張ってください。壁にぶつかり悩んだ時には、いつでも相談に乗ります」と話しました。



● 見学・勉強会

日時：平成27年6月1日
場所：(社福)自立更生会 盛岡杉生園(岩手県盛岡市)

平成 27 年 6 月 1 日、岩手県盛岡市で農業、リサイクル事業などを行い、50 名の利用者さんに給料を支給する盛岡杉生園において最後の見学・勉強会を開催しました。

新堂塾長は「朝 8 時半の朝礼から始まり、夕方 5 時まできちんと働く流れをつくっているのは素晴らしい。今後は、利用者さんの能力を把握し、より適した仕事を割り当てるとともに、能力を高めて新たな仕事にもチャレンジできるようにサポートしてください」と話しました。アドバイザーである東京学芸大の菅野 敦教授は「農作業という自然を相手にした場合、1 日の成果が見え難いと思いますが、今日はここまで苗を植えたなど、利用者さんが働きがいを感じる工夫が大事です」とアドバイスしました。



■ 見学・勉強会の内容

日 程	プログラム
6月1日	■ 盛岡杉生園見学 ■ 盛岡杉生園の職員を含めた勉強会 ■ 塾長講評・質疑応答



「売れる理由、売れない理由は、ものづくりの現場にある」と亀井塾長は各塾生の施設を訪ね、現場の問題点の改善を指導してきました。塾生たちは、塾長のアドバイスを取り入れ、2年間どのような取り組みを進めてきたかを報告。「お客様が気軽に入ることができる明るく清潔なお店づくりへ」「環境が変わると利用者さんも職員もやる気が変わってきた」中には「お客様の声を反映して商品を見つめ直し、こんな商品もつくりはじめました」と新商品のお菓子を持参してきた塾生も。塾生はそれぞれに新たな試みを行い、着実に売上、利用者さんの給料増額を進めてきました。

亀井塾長は「私たちは、事業所の顔となる商品づくりを目指してきました。その顔が別嬪か男前かはお客様が決めます。お客様も、時代の流れも、つねに変化していきます。それをしっかり見つめて、これからもPDCAを実践しながら利用者のために改善を続けてください」と最後のメッセージを伝えました。



● 塾生施設の視察

日 時：平成27年5月14・15日、6月26日
視察先：亀井塾塾生5施設

亀井塾長は、平成27年5月14・15日に（社福）荻田町社会福祉協議会「くすのき作業所」、（NPO）花の花「ほっとステーションおひより」、（社福）結い「ワークハウス・わくわく!」、（社福）いわみ福祉会「ワークくわの木」へ。6月26日には（NPO）生活自立研究会「富浦作業所」を視察しました。きちんとPDCAサイクルを行っているか、自己満足でなくお客様に喜ばれる商品になっているか、さらに利用者さんの作業状況、設備などを細かくチェックし、改善点をアドバイスしました。



くすのき作業所

■ 塾生施設の視察の内容

日 程	プログラム
5月14日	■（社福）荻田町社会福祉協議会「くすのき作業所」（福岡県京都郡） ■（NPO）花の花「ほっとステーションおひより」（福岡県福岡市）
5月15日	■（社福）結い「ワークハウス・わくわく!」（岡山県岡山市） ■（社福）いわみ福祉会「ワークくわの木」（島根県浜田市）
6月26日	■（NPO）生活自立研究会「富浦作業所」（千葉県南房総市）



ほっとステーションおひより



富浦作業所



ワークくわの木



ワークハウス・わくわく!

●2年間の振り返り

毎月のPDCAサイクルにより、目標数値達成への職員意識は確実に高まってきた。今後は、さらに結果チェックをもとに立てた改善案を即アクションできる組織づくりを進めていきたい。

●今後の目標

時給500円が目標。そのためには月額180万円以上の売上が必要だが、配食サービスだけでは達成できない。物品販売に力を入れて売上拡大は図るが、それとともに塾生の間に実現できなかったB型分離を実行し、時給500円を目指す。

★塾長賞を受賞

「2年間で惜しくも3万円には届かなかったが、50名以上の利用者さんが働ける仕事を創出し、より多くの給料支給を進めた努力を評価したい」と武田塾長。

【給料増額の推移】

●平成25年7月
平均給料：1万8754円
(利用者さん69名)



●平成27年7月
平均給料：2万6121円
(利用者さん63名)



●平成29年3月目標
平均給料：3万6000円
(利用者さん50名)

●2年間の振り返り

私物クリーニングを中心に仕事量が増えたが、現場が混乱しミスも発生。その都度、全職員で検討し、塾で学んだ5Sやライン方式により新しい改善の仕組みをつくることができた。PDCAサイクルを習慣化できたことも大きい。

●今後の目標

収支管理と報告期日の厳守を全職員に徹底したい。1人ひとりがコストを意識して取り組み、利用者さんの人数が増えても給料増額につなげるはず。また目標数字をグラフで示し、営業を計画的に行ってさらなる事業拡大を目指したい。

★最優秀賞を受賞

「塾で学んだことに自ら工夫を加え、着実に現場に取り入れて実践。30人もの利用者さんに5万円の給料を達成できたことが素晴らしい」と新堂塾長。

【給料増額の推移】

●平成25年7月
平均給料：2万8571円
(利用者さん28名)



●平成27年7月
平均給料：5万円
(利用者さん30名)



●平成30年7月目標
平均給料：5万1000円
(利用者さん35名)

●2年間の振り返り

パン・クッキー製造販売を柱に売上・給料増額を進めてきた。事業所の独自性を出すために立地条件や地域での商圏範囲などを調べ、スタッフが創意工夫。月1回のPDCAサイクルを繰り返しながら改善を進める習慣がついた。

●今後の目標

1万円にも満たなかった給料を1.33倍にはできたが、夢の3万円にはとても到達できなかった。今後は、収支管理システムを活用し、売れる商品を見極めて改善を進め、利用者さんが経済的に自立するための給料実現に頑張りたい。

★特別賞を受賞

「1期生の中で最年長でありながら、毎日よく職員を引っ張り改善を進めてきたと思います。今後の期待も込めての特別賞です」と亀井塾長。

【給料増額の推移】

●平成25年7月
平均給料：9697円
(利用者さん18名)



●平成27年7月
平均給料：1万2874円
(利用者さん23名)

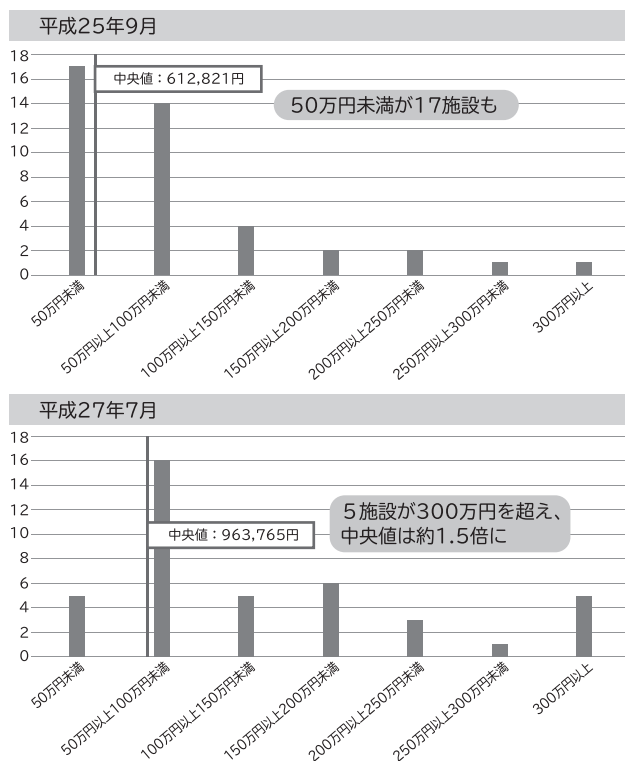


●平成29年7月目標
平均給料：1万6000円
(利用者さん23名)

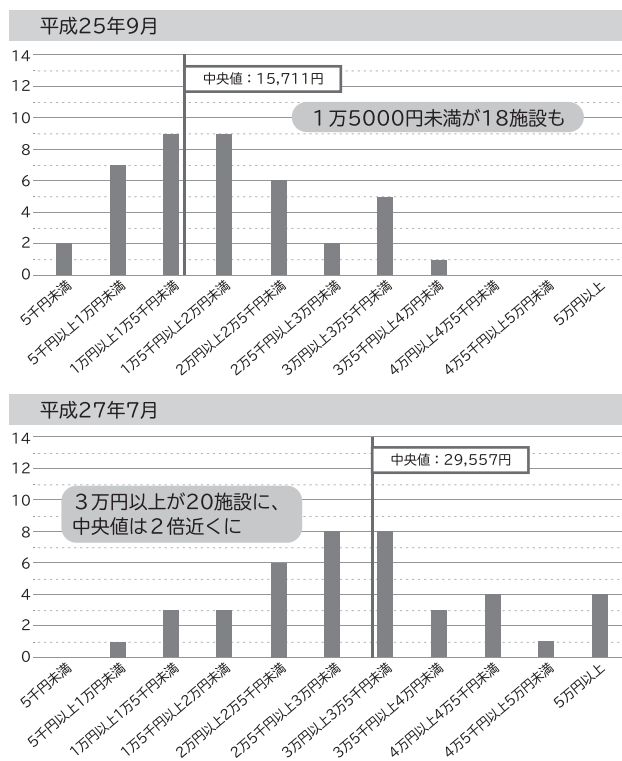
2年間の売上と平均月額給料の推移

平成25年9月と平成27年7月の41施設の売上・平均給料の分布を示しました。
中央値を見ると全体の動向がわかります。 ※月額給料3万円が貧困線突破の目安です。

●売上の推移



●平均月額給料の推移



成果を上げた塾生を表彰



最優秀賞 ワークセンター日和山
吉川大幹さん（新堂塾）
私物クリーニングで30人が5万円の給料に到達したことにより受賞



塾長賞 第二むつみ園
坂元孝行さん（新堂塾）



塾長賞 ブライトハウス住吉
岩下博子さん（武田塾）



塾長賞 きぼうのあさがお
森 桂子さん（亀井塾）



特別賞 ふれあいワーク
里崎俊哉さん（武田塾）



特別賞 富浦作業所
遠藤マツエさん（亀井塾）

第 1 期実践塾修了者

— PDCA サイクルによる 2 年間の成果 —

(平成 25 年 7 月～平成 27 年 7 月)

武田塾 (14 施設)

		平成25年7月	平成25年9月	平成25年12月	平成26年3月	平成26年7月	平成26年9月	平成26年12月	平成27年3月	平成27年7月
きたのまち ジョブリハセンター	売上金額	1,165,748	378,118	365,702	498,678	602,803	577,761	430,947	572,136	719,100
	給料支払総額	300,042	235,080	257,327	358,297	324,910	336,336	258,190	275,270	468,984
	支払人数	18	15	13	14	10	11	10	10	12
	平均給料(一人当たり)	16,669	15,672	19,794	25,592	32,491	30,576	25,819	27,527	39,082
第2つくしの里	売上金額	879,192	907,241	811,498	871,930	997,510	922,820	800,440	963,330	854,206
	給料支払総額	306,950	330,750	289,160	398,660	302,050	281,000	294,740	564,630	355,040
	支払人数	35	35	33	35	34	34	35	36	37
	平均給料(一人当たり)	8,770	9,450	8,762	11,390	8,884	8,265	8,421	15,684	9,596
いっぽいっぽ あさがお	売上金額	154,176	153,646	291,500	390,220	312,430	292,990	331,770	262,020	328,010
	給料支払総額	65,100	64,000	220,890	259,000	187,000	150,000	153,000	215,346	240,000
	支払人数	7	7	8	7	6	6	6	6	6
	平均給料(一人当たり)	9,300	9,143	27,611	37,000	31,167	25,000	25,500	35,891	40,000
ういる工房	売上金額	951,322	697,529	1,517,238	1,188,243	1,430,724	1,273,167	6,043,862	1,258,217	1,526,736
	給料支払総額	156,762	110,680	304,600	412,575	533,769	502,080	622,836	438,307	571,642
	支払人数	18	16	21	21	29	28	27	17	23
	平均給料(一人当たり)	8,709	6,917	14,504	19,646	18,406	17,931	23,068	25,783	24,854
ふれあいワーク	売上金額	903,748	791,068	994,444	746,975	1,344,869	1,036,501	1,411,328	1,322,635	1,613,481
	給料支払総額	782,684	274,039	1,312,788	1,538,761	797,446	295,133	1,093,419	2,865,940	1,196,770
	支払人数	28	28	29	28	26	29	27	28	33
	平均給料(一人当たり)	27,953	9,449	46,303	56,992	30,671	10,177	40,497	102,355	35,200
ワークハウス・ わくわく！	売上金額	830,012	659,740	674,242	876,804	1,244,893	1,311,094	1,330,824	1,368,219	1,641,112
	給料支払総額	89,465	77,925	71,480	88,805	105,300	91,350	229,350	117,495	128,175
	支払人数	5	5	6	7	7	6	10	7	9
	平均給料(一人当たり)	17,893	15,585	11,913	9,813	15,043	15,225	22,935	16,785	14,242
ブライトハウス住吉	売上金額	2,181,557	2,961,017	2,528,910	2,199,130	2,351,096	2,874,289	2,216,730	2,466,921	3,431,902
	給料支払総額	1,294,026	1,189,566	959,362	1,045,030	1,249,700	1,230,802	1,251,613	1,338,410	1,645,617
	支払人数	69	63	58	59	63	61	60	58	63
	平均給料(一人当たり)	18,754	18,882	16,541	17,712	19,837	20,177	20,860	23,076	26,121
コンパス	売上金額	269,440	242,411	201,480	441,250	645,350	559,920	612,255	842,365	963,675
	給料支払総額	120,000	120,000	117,000	230,000	273,000	299,000	238,000	392,000	465,000
	支払人数	10	10	9	10	13	13	14	14	15
	平均給料(一人当たり)	12,000	12,000	13,000	23,000	21,000	23,000	17,000	28,000	31,000
第三かめおか作業所	売上金額	687,494	506,598	816,815	842,196	1,112,289	809,906	1,301,762	968,263	1,108,859
	給料支払総額	270,000	267,750	267,300	300,000	381,225	487,305	595,000	425,000	540,000
	支払人数	15	17	15	15	17	17	17	17	18
	平均給料(一人当たり)	18,000	15,750	17,820	20,000	22,425	28,665	35,000	25,000	30,000
ゆずりは	売上金額	1,627,232	651,288	2,117,260	1,715,131	3,291,746	1,098,461	2,239,969	1,214,251	4,946,837
	給料支払総額	722,400	722,431	699,315	669,900	1,016,962	1,003,557	991,524	961,981	1,079,997
	支払人数	24	24	23	22	28	27	26	26	27
	平均給料(一人当たり)	30,100	30,100	30,405	30,450	36,320	37,169	38,136	36,999	40,000
サポートスクエア ばおばお	売上金額			686,020	567,320	801,415	667,400	612,027	634,632	878,396
	給料支払総額			262,145	121,365	260,280	245,725	232,690	255,790	270,815
	支払人数			13	12	17	17	17	17	17
	平均給料(一人当たり)			20,165	14,746	15,311	14,454	13,688	15,046	24,620
給食センター キャンパス	売上金額	399,296	514,019	578,715	601,546	412,604	656,725	513,989	548,697	542,724
	給料支払総額	247,856	257,916	301,700	321,756	325,226	375,348	371,040	452,170	473,230
	支払人数	16	15	15	15	17	16	13	16	16
	平均給料(一人当たり)	15,491	17,194	16,529	16,088	19,131	23,459	28,542	28,261	29,577
かしのみ	売上金額	31,572	123,451	160,990	160,640	352,760	442,944	587,380	608,639	681,910
	給料支払総額	52,920	123,450	130,350	160,066	155,256	148,041	292,816	341,158	442,490
	支払人数	5	5	7	8	7	7	11	10	13
	平均給料(一人当たり)	10,584	24,690	16,293	20,008	22,179	21,149	26,620	34,116	34,038
マザーワート	売上金額	1,055,479	1,032,042	1,546,168	1,171,814	1,193,059	1,228,325	1,687,468	1,995,688	1,300,380
	給料支払総額	126,372	126,996	154,320	98,274	238,488	222,822	507,265	274,962	338,700
	支払人数	11	12	11	11	12	14	14	14	13
	平均給料(一人当たり)	11,488	10,583	14,029	8,934	19,874	15,916	36,233	19,640	26,054

新堂塾（14 施設）

		平成25年7月	平成25年9月	平成25年12月	平成26年3月	平成26年7月	平成26年9月	平成26年12月	平成27年3月	平成27年7月
かるべの郷 ドリーム ワークス	売上金額	93,313	23,380	248,030	114,370	347,595	263,400	388,367	316,420	352,615
	給料支払総額	91,843	49,817	131,296	61,979	115,381	121,023	130,046	103,220	132,363
	支払人数	7	5	7	5	7	7	7	5	7
	平均給料(一人当たり)	13,120	9,963	18,757	12,396	16,483	17,289	18,578	20,644	18,909
盛岡杉生園	売上金額	1,480,245	2,031,326	1,108,538	1,150,237	1,668,652	2,181,367	1,137,376	1,046,256	1,860,782
	給料支払総額	475,043	616,550	1,234,050	862,600	1,159,740	922,480	1,381,580	853,670	1,512,760
	支払人数	50	50	50	50	50	50	50	50	50
	平均給料(一人当たり)	9,501	12,331	24,681	17,252	23,194	18,450	27,631	17,073	30,255
恵愛ワークセンター	売上金額	1,433,464	1,496,165	1,753,736	1,747,383	1,288,987	979,310	1,731,125	1,162,237	1,285,306
	給料支払総額	79,592	69,705	67,506	228,510	89,696	75,853	84,285	239,885	162,160
	支払人数	5	5	5	5	4	4	4	4	3
	平均給料(一人当たり)	15,918	13,941	13,501	45,702	22,424	18,963	21,071	59,971	54,053
ふれ愛の家	売上金額	391,220	846,502	504,840	530,336	679,940	1,276,481	692,338	301,760	582,371
	給料支払総額	193,788	177,029	152,291	164,977	281,897	267,449	240,850	274,859	303,506
	支払人数	14	14	13	13	13	13	13	13	13
	平均給料(一人当たり)	13,842	12,645	11,715	12,691	21,684	20,573	18,527	21,143	23,347
ワークアイ・船橋	売上金額	1,249,269	990,593	1,349,135	1,699,478	4,602,275	1,027,444	969,799	1,874,719	1,505,962
	給料支払総額	1,037,511	1,007,897	1,016,541	946,734	1,114,207	1,047,205	1,067,484	1,028,894	798,876
	支払人数	39	38	40	37	43	41	45	38	41
	平均給料(一人当たり)	26,603	26,524	25,414	25,587	25,912	25,542	23,722	27,076	19,485
ワークイン中町	売上金額	589,749	415,916	544,808	591,460	469,909	543,253	602,750	584,140	651,314
	給料支払総額	484,250	364,100	415,725	461,450	484,825	464,550	441,400	497,050	490,650
	支払人数	24	24	24	24	26	26	26	26	26
	平均給料(一人当たり)	20,177	15,170	17,321	17,748	17,965	17,206	16,348	18,409	18,871
武蔵境ワーキング センター	売上金額	1,199,121	929,434	1,182,747	1,369,767	1,176,778	1,453,012	1,583,053	1,479,637	1,407,718
	給料支払総額	1,055,700	814,275	916,000	999,650	1,151,425	1,084,300	1,002,650	2,290,275	1,245,425
	支払人数	23	23	23	23	23	23	23	23	23
	平均給料(一人当たり)	45,900	35,403	39,826	43,463	50,061	47,143	43,593	99,577	54,148
八幡作業所	売上金額	631,889	574,355	608,810	628,371	870,558	562,658	800,000	1,000,000	959,000
	給料支払総額	487,900	419,175	408,300	444,875	560,325	428,225	464,975	1,103,100	738,025
	支払人数	18	18	18	18	20	20	20	21	22
	平均給料(一人当たり)	27,900	23,287	24,017	24,715	29,490	22,538	24,472	58,057	33,547
あそかの園	売上金額	372,607	355,314	377,740	2,760,097	670,915	416,500	346,480	357,411	479,139
	給料支払総額	160,943	126,456	139,196	191,447	200,578	213,158	214,348	228,513	269,932
	支払人数	10	10	10	11	12	12	12	12	12
	平均給料(一人当たり)	16,094	12,646	13,920	17,404	16,707	17,763	17,862	19,043	22,494
いこいの村・ 栗の木寮	売上金額	929,880	827,266	921,640	1,067,460	1,027,280	952,590	975,917	1,160,110	1,170,640
	給料支払総額	65,100	45,150	67,650	89,550	129,350	119,350	129,450	217,700	270,800
	支払人数	4	4	4	5	5	5	5	6	6
	平均給料(一人当たり)	16,275	11,287	16,912	17,910	25,870	23,870	25,890	36,283	45,133
自立支援センター たんぽぽ	売上金額	4,784,080	3,794,900	4,337,490	4,308,865	4,753,155	3,900,005	3,680,810	3,976,040	5,176,315
	給料支払総額	735,288	546,087	549,706	544,637	667,867	660,791	556,424	608,129	674,309
	支払人数	23	19	19	17	18	18	16	15	17
	平均給料(一人当たり)	31,959	28,741	28,931	32,037	37,103	36,710	34,776	40,541	39,665
工房はづき	売上金額	752,142	155,761	1,294,715	904,841	442,843	560,302	1,322,937	1,196,557	649,604
	給料支払総額	366,084	422,082	463,390	425,139	398,968	509,615	610,093	453,503	536,614
	支払人数	18	18	18	18	20	20	18	17	17
	平均給料(一人当たり)	20,338	23,449	25,744	23,619	19,948	25,480	33,894	26,676	31,565
ワークセンター 日和山	売上金額	2,280,776	2,045,558	2,189,854	2,206,633	3,137,003	2,797,349	2,936,750	2,958,426	3,146,416
	給料支払総額	800,000	850,000	850,000	1,000,000	1,300,000	1,110,000	1,200,000	1,300,000	1,500,000
	支払人数	28	28	26	27	27	27	28	26	30
	平均給料(一人当たり)	28,571	30,357	32,692	37,037	48,148	41,111	42,857	50,000	50,000
第二むつみ園	売上金額	1,301,359	1,520,000	1,549,765	1,727,302	1,912,728	1,786,888	1,801,334	2,114,726	2,283,930
	給料支払総額	450,430	397,600	433,990	463,360	668,600	611,810	613,010	1,065,058	813,950
	支払人数	12	12	13	13	19	19	19	19	20
	平均給料(一人当たり)	37,535	33,133	33,383	35,643	35,189	32,200	32,263	56,055	40,697

亀井塾（13 施設）

		平成25年7月	平成25年9月	平成25年12月	平成26年3月	平成26年7月	平成26年9月	平成26年12月	平成27年3月	平成27年7月
ワークくわの木 江津作業所	売上金額	234,998	210,101	1,265,294	227,027	137,420	478,571	1,470,805	3,820,179	724,543
	給料支払総額	85,400	67,980	143,560	156,580	103,850	108,150	122,210	127,950	170,947
	支払人数	5	5	5	5	5	5	5	5	7
	平均給料(一人当たり)	17,080	13,596	28,712	31,316	20,770	21,630	24,442	25,590	24,421
夢中Club	売上金額	0	0	341,120	397,453	352,234	245,836	391,220	312,690	333,720
	給料支払総額	0	0	62,250	184,950	184,550	168,625	162,775	174,974	174,325
	支払人数	0	0	3	7	7	7	7	7	7
	平均給料(一人当たり)	0	0	20,750	26,421	26,364	24,089	23,254	24,996	24,904
きぼうのあさがお	売上金額	1,430,881	1,361,408	1,483,868	1,525,311	1,687,117	1,472,853	2,397,857	2,102,291	2,749,704
	給料支払総額	807,010	772,880	969,480	99,870	955,600	978,300	1,045,800	1,256,200	1,550,840
	支払人数	36	36	37	36	34	33	34	35	37
	平均給料(一人当たり)	22,417	21,468	26,202	27,741	28,105	29,645	30,758	35,891	41,914
ふくふく亭	売上金額	447,430	465,190	484,770	353,662	488,512	598,110	956,800	457,650	889,470
	給料支払総額	134,229	139,557	145,431	169,666	173,845	149,012	175,433	177,686	291,764
	支払人数	7	6	6	7	7	6	5	5	11
	平均給料(一人当たり)	19,175	23,259	24,238	24,238	24,835	24,835	35,087	35,537	26,524
ワークハウス・ わくわく！	売上金額	1,858,828	1,602,918	1,964,543	2,037,115	2,267,965	1,735,022	2,008,710	2,009,570	2,099,156
	給料支払総額	499,014	440,432	416,360	286,735	340,339	315,843	523,865	835,053	480,192
	支払人数	23	22	21	16	21	18	20	22	19
	平均給料(一人当たり)	21,696	20,020	19,826	17,920	16,207	17,547	26,193	37,957	25,273
ぶどうの木	売上金額	124,515	179,493	105,612	426,330	1,079,821	732,937	580,675	1,413,213	766,415
	給料支払総額	249,500	233,500	147,375	205,939	256,284	22,770	244,590	298,623	398,887
	支払人数	14	14	12	10	11	11	12	12	14
	平均給料(一人当たり)	17,821	16,678	12,281	20,593	23,298	24,797	20,383	24,885	28,492
ほっとステーション おひより	売上金額	667,301	846,276	1,153,609	960,468	874,063	745,537	1,222,037	896,465	1,670,489
	給料支払総額	693,591	605,740	549,034	499,985	473,300	480,168	498,989	451,711	643,086
	支払人数	22	19	20	22	17	18	19	18	22
	平均給料(一人当たり)	31,526	31,881	27,451	22,726	27,841	26,676	26,262	25,095	29,231
富浦作業所	売上金額	509,105	560,036	478,416	707,333	763,949	717,437	800,667	1,000,324	739,910
	給料支払総額	110,448	182,188	168,004	173,047	267,660	282,407	288,580	388,128	296,102
	支払人数	18	19	19	23	26	20	20	22	23
	平均給料(一人当たり)	9,697	9,589	8,843	7,524	10,295	14,121	14,430	17,643	12,874
軽食・喫茶の木立	売上金額	1,034,133	1,000,625	1,001,255	1,029,735	875,990	894,955	914,425	970,938	769,768
	給料支払総額	301,645	315,817	375,625	343,819	213,215	362,123	426,608	323,802	331,999
	支払人数	20	20	20	20	20	20	20	20	10
	平均給料(一人当たり)	15,082	15,790	18,781	17,190	10,660	18,106	21,330	16,190	29,564
びーぶるファン	売上金額	49,483	0	321,360	36,310	87,060	219,260	149,680	233,230	150,640
	給料支払総額	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	90,000	64,000
	支払人数	2	2	2	2	2	2	2	3	2
	平均給料(一人当たり)	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	32,000
くすの木作業所	売上金額	254,745	198,630	447,221	107,167	2,060,770	1,908,310	1,888,740	2,201,550	2,249,090
	給料支払総額	238,300	178,200	143,000	90,000	82,600	77,000	77,000	109,800	172,800
	支払人数	20	20	20	20	4	4	4	4	5
	平均給料(一人当たり)	11,915	8,910	7,150	4,500	20,650	19,250	19,250	27,450	34,560
工房シティ	売上金額	193,060	254,359	193,922	194,260	312,802	297,980	379,106	349,128	537,422
	給料支払総額	41,200	38,100	45,980	45,280	50,030	46,020	40,290	68,400	129,295
	支払人数	3	3	3	3	3	3	3	4	5
	平均給料(一人当たり)	16,676	12,700	15,326	15,093	16,676	15,340	13,430	22,800	14,464
あゆみ作業所	売上金額	588,266	417,917	1,317,182	2,152,523	3,636,785	1,061,597	1,856,403	2,122,333	5,143,579
	給料支払総額	50,280	50,460	62,824	58,004	113,049	90,270	156,650	148,495	208,000
	支払人数	3	3	3	3	3	3	3	3	4
	平均給料(一人当たり)	15,000	16,820	18,847	19,334	37,689	30,090	52,217	49,498	52,000

楠元塾

平成 26 年 9 月「弁当・配食サービス事業」を対象として給料増額を目指す楠元塾を開講しました。塾長となった（社福）キャンパスの会 楠元理事長は、“自分たちのつくりたいものではなく、お客様が求めるメニューづくり。また、利用者さんのことを考えた働く環境づくりを進めていきましょう”と塾生に呼びかけています。さらに、成功者のノウハウを学び、取り入れることが、実績を上げる近道になると実践的な指導を行っています。

塾長：（社福）キャンパスの会 理事長 楠元 洋子 氏

○ 略歴

2007 年に（社福）キャンパスの会を立ち上げ、「障がいの重さに関係なく、一人でも多くの利用者さんに働く場とお給料を」のテーマで弁当・配食サービス事業を開始。現在 1 日 2000 食以上を販売。その他にもリネン事業、レストランの運営など、幅広く障がいのある方の働く場を創出している。第 13 回ヤマト福祉財団 小倉昌男賞受賞。



楠元塾塾生：10 施設（平成 28 年 3 月現在）

【法人名】	【事業所名】	【事業所形態】	【事業内容（要旨）】	【取り組みたい事業（要旨）】
（NPO）夢・サポート	就労継続支援 A 型事業所 夢・さぼーと	就労継続 A 型・就労移行	味噌・にんにく味噌製造、農家の収穫手伝い	弁当・配食サービス事業の新規立ち上げ
（NPO）どんぐりパン	どんぐりパン	就労継続 B 型・生活介護	オールスクラッチによるパン製造、菓子製造、カフェ事業、公園清掃ほか	弁当・配食サービス事業の新規立ち上げ
（社福）おおさきさくら福祉会	指定障害福祉サービス事業所すずかけの里	就労継続 B 型・就労移行	餃子・シュウマイ・コロツケ・温泉卵・菓子製造	弁当・配食サービス事業の拡大、焼き鳥串刺し作業内製化
（NPO）ピーターパンネットワーク	共働作業所ピーターパン	就労継続 B 型	バイオディーゼル燃料事業、地鶏生産、弁当配達、施設外就労ほか	弁当・配食サービス事業の新規立ち上げ
（NPO）シャロームの会	アトリエぶどうの木・オリーブの樹	生活訓練・就労移行・就労継続 A・B 型	喫茶・ランチ・レストラン事業、お惣菜製造	弁当・配食サービス事業の新規立ち上げ
（NPO）さくらんぼのお家	さくらんぼのお家	就労継続 A・B 型	レストラン事業、パン・菓子製造	弁当・配食サービス事業の新規立ち上げ
（NPO）岡山県精神障害者家族会連合会	ふぁみりお	就労継続 B 型	弁当製造販売	弁当製造販売の拡大
（社福）扶老会	障害者福祉サービス事業所 サムラ	就労継続 B 型・就労移行	レストラン事業、パン・弁当製造販売	弁当製造販売事業の拡大と効率化
（NPO）Creer	Creer	就労継続 B 型	日替わりランチ・ビュッフェ、日替わり弁当・焼き菓子製造販売	安心安全のおいしい地産の手づくり弁当の製造・販売
（社福）結い	ワークハウス・わくわく！	就労継続 B 型・就労移行	宅配弁当サービス（1 日 100 食）	病院内に売店をオープン、宅配弁当事業と連携し高齢者を対象とした日用品の配達を計画

楠元塾活動報告

「夢・さぼーと」プレオープン

日時：平成27年8月4日

場所：(NPO) 夢・さぼーと（熊本県宇城市）

事業改革モデル化資金を活用し、初めて手がける弁当・配食サービス事業の準備を進めてきた(NPO) 夢・さぼーと。助成金により厨房の改装、設備や配送車などを整え、平成27年8月4日に弁当事業部『かず味』をプレオープンしました。開所式には楠元塾長もお祝いに駆けつけ「地域の方の声・姿をしっかりと捉えて戦略的に事業を進めていくこと。衛生管理を怠らないこと。迷った時は“利用者さんの給料アップ”それだけを考えて前に進むことです。他の塾生の姿を見て、なにをやるべきかがわかっているのですから、きっと成功できると信じています」と激励しました。

現在、かず味で働く利用者さんは5名。職員とともに「毎日食べても飽きがない栄養バランスを考えた・健康弁当」づくりに励んでいます。販売先は、地元の市役所や学生食堂など。また高齢者向けの個別配達なども行っています。

「弁当事業を始めた最初の月（平成27年8月・17日間）の販売数は1日約70個、売上は約43万円、給料は4万1523円でした。今後は、収支管理システムから見えてきたお客様の傾向を反映したメニューの強化、季節の行事に合わせたオードブルも開始し、リピーターや販売先の拡大を目指します。平成28年8月までには、1日の販売数を150個以上に増やし、目標の月額平均給料5万2129円を達成したい。さらに、1日200個以上を安定して売り上げることができるようになった時、この事業所の規模を広げ、本オープンする計画です」と塾生の福原和美理事長は話しています。



塾生施設の見学・勉強会

日時：平成27年8月19・20日

場所：ふぁみりお（岡山県岡山市）

平成27年8月19・20日、(NPO) 岡山県精神障害者家族会連合会ふぁみりおにて見学・勉強会を開催。初日は、ふぁみりおの職員を交えて勉強会を開きました。

翌日は、ふぁみりおの弁当づくりの現場を見学した後、これからの改善点などを話し合う中で、楠元塾長が、まず徹底してほしいと指摘したのは、衛生管理でした。たとえば、手洗い場を衛生的に保つためのブラシの置き方、汚れや毛髪などが付着した時にすぐわかるように着用するエプロンは白にすること、備品が入ったダンボールが湿気ないようにする保管方法など、食品の店舗として衛生管理にどう気を配るかを細かく指導しました。さらに、利用者さんがスムーズに作業できる動線の改善と、調理場や配膳台付近の整理整頓なども指摘しました。

塾生たちは、こうした問題をどう改善していくかを話し合う中で、それぞれが目標とする売上、給料達成のヒントをつかみました。

■ 塾生施設の見学・勉強会の内容

日程	プログラム
8月19日	■ 塾長とふぁみりおのスタッフ・役員・父兄と勉強会 ■ 懇親会
8月20日	■ ふぁみりお見学 ■ 塾長からのアドバイスと・質疑応答



第4回楠元塾

日時：平成27年10月2・3日
場所：晴海グランドホテル（東京都中央区）

10月2・3日、第4回楠元塾は、夢へのかけ橋実践塾・第2期開講式と合同で行いました。楠元塾塾生は、1年間PDCAサイクルで改善を進めてきた成果を新塾生の前で発表。「顧客開拓を続けてきたことで、入塾時は1桁だった販売数がもうすぐ3桁に」「販売数が100個を超え、利用者さんの人数も増やすことができた」「すでに1日220個を超えた。後1年で350個、月額平均給料5万円の目標も視野に入ってきた」などの中間報告を行いました。目標達成に向けて順調に歩み続ける塾生たちの報告は、新塾生のよい刺激にもなりました。

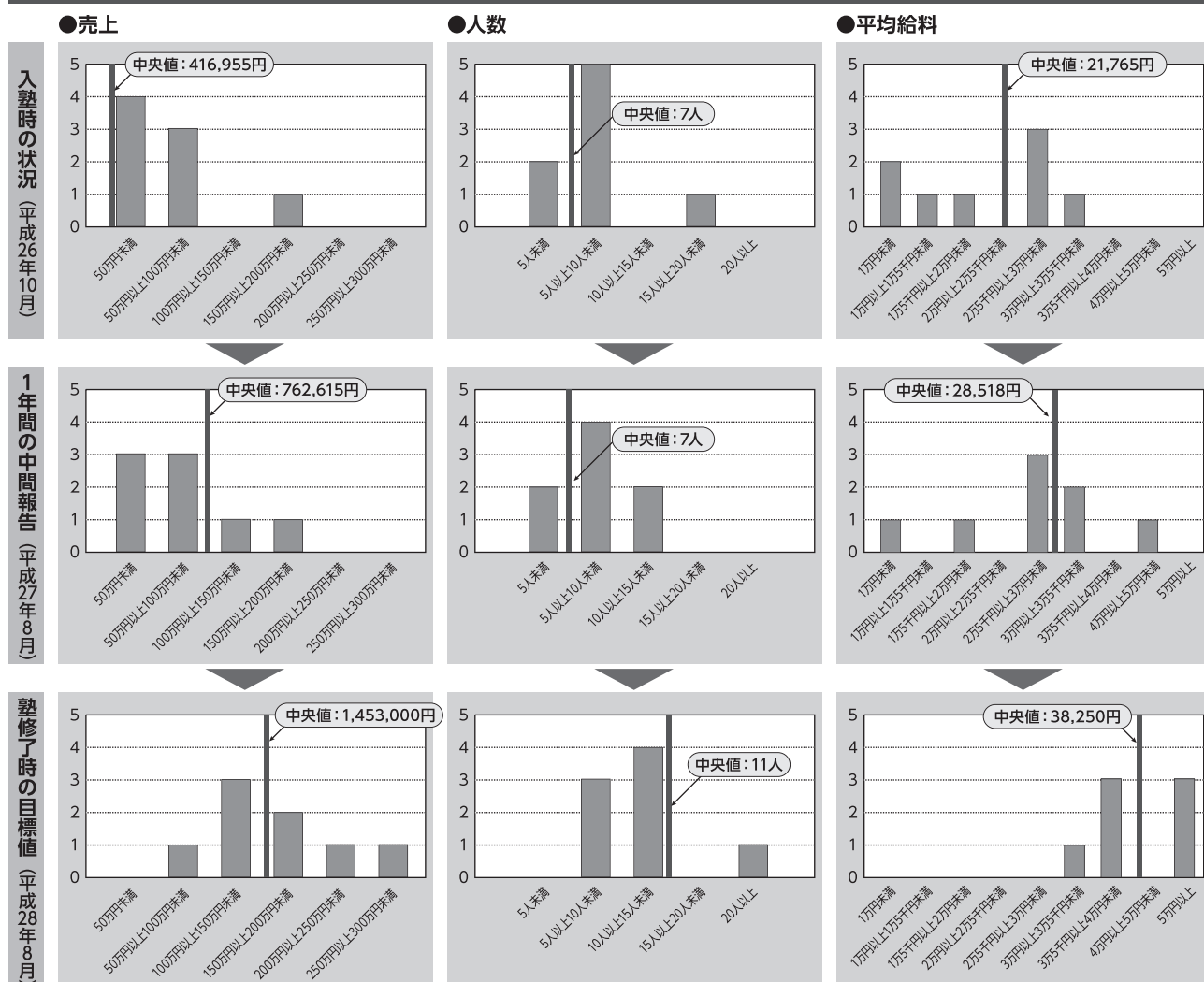
楠元塾長は「後1年、だれのためになにを行うべきかをもう一度心に刻み、一つひとつ課題解決を進めてほしい」と激励。塾生たちは、来年の修了式までの最終目標値を明確に設定するとともに、達成への決意を誓い合い、実践塾2年目を踏み出していきました。



■ 合同研修会・第4回楠元塾の内容

日程	プログラム
10月2日	■ 塾生中間発表 ■ 楠元塾長講評 ■ 「何故給料UPか？心構えとか」 武田塾長講演 ■ 分科会
10月3日	■ 「知的障がい者の職業能力向上について」 東京学芸大学 菅野 敦教授講演 ■ 分科会

楠元塾全塾生の中間報告（1年間の成果と最終目標の分布図）



各塾生の間接報告とコミットメントした最終目標

■ 就労継続支援A型事業所 夢・さぼーと

項目	入塾時の状況 (平成26年10月)	1年間の中間報告 (平成27年8月)	塾修了時の目標値 (平成28年8月)
売上(円)	—	437,200	1,406,000
1日あたりの個数 (個)	—	70	190
利用者人数(人)	—	3	5
平均給料(円)	—	41,523	52,129

※入塾時は、弁当・配食サービス事業を行っていません。

■ どんぐりパン

項目	入塾時の状況 (平成26年10月)	1年間の中間報告 (平成27年8月)	塾修了時の目標値 (平成28年8月)
売上(円)	85,800	263,500	1,056,000
1日あたりの個数 (個)	10.2	25.9	80
利用者人数(人)	0	0	B型5名 生介6名
平均給料(円)	0	0	時給未定※

※B型・生介混合の平均給料予定は1日当たりの売り上げ80個の場合16560円/月だが、時給設定が異なるためB型・生介で異なることになる。

■ すずかけの里

項目	入塾時の状況 (平成26年10月)	1年間の中間報告 (平成27年8月)	塾修了時の目標値 (平成28年8月)
売上(円)	522,460	919,150	1,500,000
1日あたりの個数 (個)	45	92	200
利用者人数(人)	6	6	9
平均給料(円)	25,733	27,711	35,000

■ 共同作業所 ピーターパン

項目	入塾時の状況 (平成26年10月)	1年間の中間報告 (平成27年8月)	塾修了時の目標値 (平成28年8月)
売上(円)	661,470	857,950	1,500,000
1日あたりの個数 (個)	65	93	130
利用者人数(人)	8	7	8
平均給料(円)	26,097	32,901	37,500

■ アトリエぶどうの木・オリーブの樹

事業計画策定中のため実績は出ていません。
平成28年6月に弁当・配食サービスの新事業所が開所予定です。

■ ワークハウス・わくわく!(にのつぼ)

平成27年9月から途中参加のため実績は出ていません。

■ さくらんぼの家

項目	入塾時の状況 (平成26年10月)	1年間の中間報告 (平成27年8月)	塾修了時の目標値 (平成28年8月)
売上(円)	45,650	667,280	1,300,000
1日あたりの個数 (個)	3	67	130
利用者人数(人)	7	7	10
平均給料(円)	10,208	28,000	39,000

■ ふあみりお

項目	入塾時の状況 (平成26年10月)	1年間の中間報告 (平成27年8月)	塾修了時の目標値 (平成28年8月)
売上(円)	311,450	387,400	900,000
1日あたりの個数 (個)	33	48	103
利用者人数(人)	7	9	12
平均給料(円)	17,797	17,217	30,000

■ 障害者福祉サービス事業所 サムラ

項目	入塾時の状況 (平成26年11月)	1年間の中間報告 (平成27年8月)	塾修了時の目標値 (平成28年8月)
売上(円)	861,690	1,275,736	2,000,000
1日あたりの個数 (個)	89	102	200
利用者人数(人)	7	10	13
平均給料(円)	25,917	29,036	50,000

■ Creer

項目	入塾時の状況 (平成26年10月)	1年間の中間報告 (平成27年8月)	塾修了時の目標値 (平成28年8月)
売上(円)	1,929,150	1,946,980	3,000,000
1日あたりの個数 (個)	157	222	350
利用者人数(人)	15	11	20
平均給料(円)	34,946	34,867	50,000

塾生施設の見学・勉強会

日時：平成27年11月5・6日

場所：(NPO) さくらんぼのお家（島根県江津市）

11月5・6日、島根県の(NPO) さくらんぼのお家で塾生施設の見学・勉強会を開催しました。さくらんぼのお家は、入塾当時は1日7個ほどであった宅配弁当の販売個数を、1年間で1日平均約70個に伸ばし、多い時には150個を販売しています。平成28年8月の目標は、1日130食・月額平均給料3万9000円です。さくらんぼのお家では、弁当の他に菓子やパンも製造。その品質の高さを評価した楠元塾長は「お菓子も弁当もともに売上を伸ばすことが大事。それには、利用者さんの能力を高める職員の指導が重要です。高齢者が多い地域ということですから、ターゲットにあったメニューとサービスを突き詰めていくことで売上はもっと伸ばせます」とコメント。現場職員からは、無駄な光熱費などを抑え、利益率を高めたいとの意見も出ました。



■ 塾生施設の見学・勉強会の内容

日程	プログラム
11月5日	■ 塾生報告 ■ 懇親会
11月6日	■ さくらんぼのお家見学 ■ 試食・質疑応答 (さくらんぼのお家の職員を交えて)

第5回楠元塾

日時：平成28年2月18・19日

場所：岡山シティホテル桑田町（岡山県岡山市）

2月18・19日に第5回楠元塾を開催。初日は、食品衛生法について学ぶとともに、各塾生がそれぞれコミットメントした最終目標値達成に向けて、どのような取り組みを進めているかを報告しました。2日目はワークハウス・わくわくの弁当屋「にのつぼ」を見学し、改善点を検討・共有。その後、初日に続いて塾生が報告を行いました。楠元塾長は「毎月10食以上増やしているところ、棚卸しを全職員が行えるようになったところ、高齢者配食サービスを本格的にはじめたところなど、それぞれに成果を上げているようです。これからより大切となるのは、利用者さん1人ひとりにどんな力があるかをきちんと見つめ直すこと。9月にはこの塾も終了します。残り約半年、全員で最低3万円の月給を実現しましょう」と呼びかけました。



■ 第5回楠元塾の内容

日程	プログラム
2月18日	■ 塾生の進捗状況報告 ■ 懇親会
2月19日	■ にのつぼ見学 ■ 見学結果の勉強会・試食 ■ 塾生の進捗状況報告 ■ 楠元塾長講評

楠元塾 塾生の変化

(NPO) Creer [Creer]

弁当・配食サービス事業（徳島県徳島市）

●1年間の振り返り

生産能力とスピードアップを図るため、利用者さん一人ひとりの能力向上のアプローチを続けている。現在は、1日300個の生産が可能となり、利用者さんの給料も5000円近く増額している。また、在庫管理と棚卸しの実践で、無駄を省き原価を下げることもできている。

●今後の目標

お客様の声を反映したメニュー改善はもちろん、見た目を大事に詰め方や彩りなども工夫していく。衛生管理を徹底し、職員も利用者さんも食品を扱うプロ意識を持つ。実践塾修了時までには、1日350個で月の売上300万円、20人の利用者さんに5万円の給料支給を達成したい。

【給料増額の推移】

●平成26年10月
平均給料：3万4946円
(利用者さん15名)



●平成27年8月
平均給料：3万4867円
(利用者さん11名)



●平成28年8月目標
平均給料：5万円
(利用者さん20名)

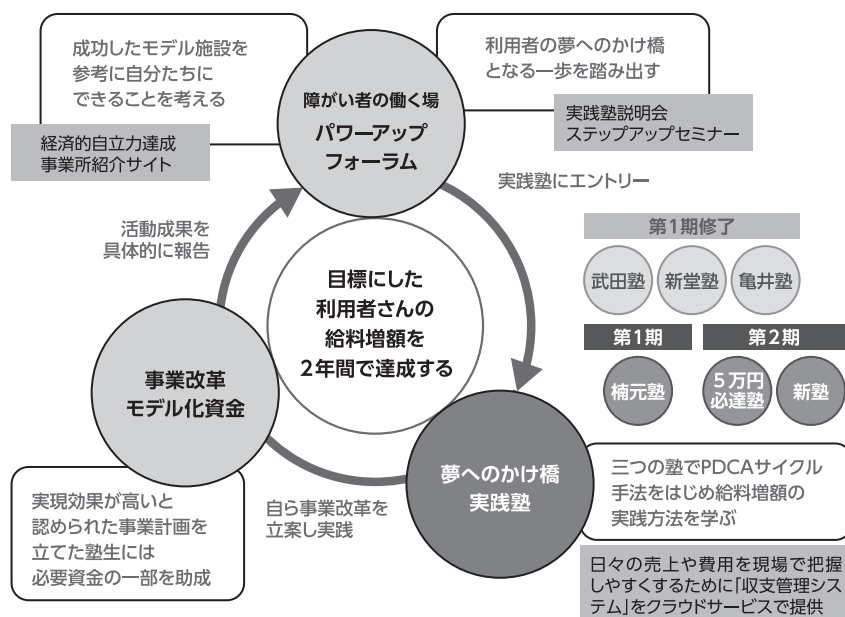
●●●● 夢へのかけ橋実践塾・第2期 ●●●●

● 夢へのかけ橋 実践塾も第2期へ

第2期は、塾生がそれぞれ目指す「事業形態」と「利用者さんへの給料支給額」を達成するために適した学びを行うことができるようにしています。

塾生の募集も平成27年7月17日・大阪、7月24日・東京のパワーアップフォーラムだけではなく、7月24日に大阪で「実践塾説明会」を開催。実践塾への参加目的と目標を明確に持って参加するようにと呼びかけ、全20施設が第2期新塾生となりました。

夢へのかけ橋実践塾・第2期は、二つの塾を開講します。一つは、ものづくりと販売のエキスパートである亀井塾長、農業と地域連携で実績を上げてきた熊田新塾長のお二人の協働体制となる「新塾」です。お二人の塾長は、新塾生15施設がそれぞれ目指す事業形態に応じた実践的指導を行っています。もう一つは、武田塾長による「5万円必達塾」です。ここには、「2年間で必ず利用者さんの給料を5万円以上にする」という決意を固めた5施設が参加しています。



5万円必達塾

夢へのかけ橋実践塾（前身である障がい者の暮らし変革塾も含む）修了者から「2年間で必ず5万円の給料を実現する」と決意した5施設が、実践塾で学んだ経験を活かし、自ら課題を持って参加しています。塾長は「もっと仕事がしたい、給料を上げてほしいと思っても、利用者さんは口に出しません。その声なき思いに応え、最後までやり通すことが職員の使命」との持論を持つ武田塾長です。

5万円必達塾塾生：5施設（平成27年10月現在）

【法人名】	【事業所名】
（社福）はらから福祉会	はたまき・手づくりの里
（NPO）吉野コスモス会	ういる工房
（NPO）コンパスの会	コンパス
（社福）ゆずりは会	ゆずりは
（NPO）榎の実作業所	就労支援事業所かしのみ



新塾長：（社福）はらから福祉会
理事長 武田 元氏

新塾

「新塾」では、ものづくりのプロである亀井塾長とともに、農業を柱に商・工と連携して地域に根付いたさまざまな事業アイデアを創出し、実績を上げている熊田新塾長が指導にあたっています。塾生は、それぞれが目指す事業のエキスパートである塾長のノウハウを学ぶとともに、PDCA サイクルにより計画・実行・評価・行動を繰り返すことで、目標とする売上、利用者さんの給料増額達成を目指します。

○熊田芳江 新塾長 略歴

平成 14 年に NPO 法人を設立。東日本大震災後は、地元復興のため本格的に農業へ進出。「地域住民と協力し、障がいのある方の働く場を創出する」ため(社福)ころんを立ち上げる。安心・安全な農作物を生産し、地元企業と 6 次産業化を目指す新商品も開発。地元の野菜や加工品を直売カフェ「ころん」で販売して地域活性化に貢献。第 14 回ヤマト福祉財団 小倉昌男賞受賞。



新塾長：
(社福)ころん 常務理事
施設長 熊田 芳江 氏



新塾長：
(社福)ひびき福祉会
理事長 亀井 勝 氏

新塾塾生：15 施設 (平成 27 年 10 月現在)

【法人名】	【事業所名】	【事業所形態】	【事業内容 (要旨)】	【取り組みたい事業 (要旨)】
(社福)ころんの窓	青い鳥	就労継続 B 型・生活介護	製菓事業・給食業務・下請け作業	製菓事業
(NPO) ヒールアップハウス	晴れ晴れ	就労継続 B 型	製パン・製菓事業・クラフト事業・クロネコ DM 便・ポストイン事業	焼き菓子の種類増加・ギフト商品お土産品の販売
(社福)いたるセンター	あけぼの作業所	就労継続 B 型・生活介護・就労移行	食品加工・公園清掃・受注作業・石けん・手芸品	食品加工事業
(NPO) かしのみ	就労支援事業所 かしのみ	就労継続 B 型	下請け・ドライフルーツの加工	果物の加工・菓子製造
(社福)白いキャンパス福祉会	白いキャンパス	就労継続 B 型・就労移行	さをり織り・クッキーとパンの製造販売・受託作業	受託作業
(社福)ゆずりは会	エール	就労継続 B 型・就労移行	クリーニング事業・農業	クリーニング事業
(NPO) 青ねこくらぶ	青ねこ広場	就労継続 B 型	放置自転車販売・不要自転車の引き取りや修理	不要自転車再生事業・農作物移動販売・自転車出張修理・音楽喫茶店
(社福)八身福祉会	八身共同印刷	就労継続 B 型・就労移行	下請け作業・印刷事業・水耕栽培事業・施設外就労	水耕栽培・露地栽培・廃棄野菜の 6 次産業化
(社福)有田つくし福祉会	早月農園	就労継続 B 型	野菜・ミカン・梅・山椒などの栽培	規格外品を活用した商品開発
(社福)ひびき福祉会	ワークセンターひびき	就労継続 B 型・生活介護・就労移行	店舗販売・印刷・ウエスの製造販売・食品加工・クロネコ DM 便・清掃	店舗販売
(NPO) なでらの森	ぼぶら	就労継続 A 型	農作物の乾燥・製粉事業・自主製品販売	6 次産業化・地場製品の創出など
(社福)ゆずりは会	菜の花	就労継続 B 型・就労移行	農業・パソコン解体・販売軽作業・委託作業	農福連携・6 次産業化
(社福)赤城の家	赤城の家	就労継続 B 型・生活介護・就労移行	工業・農業・加工・木工・縫製	農業
(社福)恵泉会	愛光園	就労継続 B 型	電子部品組立て・箱折り・食品加工	遊休農地の活用・規格外の果物の加工・水耕栽培
(社福)宮共生会	ショップ & カフェみつば	就労継続 A 型	委託販売など	6 次産業化

第2期合同開講式

日時：平成27年10月2・3日

場所：晴海グランドホテル（東京都中央区）

10月2日・3日、「夢へのかけ橋 実践塾・第2期合同開講式」を開催。新たに開講する二つの実践塾で20名の新塾生がスタートを切りました。

ヤマト福祉財団の瀬戸理事長は「塾長をはじめ多くの先輩たちの成功例をたくさん学び、彼らがどのようなマーケットに着眼し、どのような商品をもって差別化を図っているのか、それをじっくりと読み取ってください」と挨拶しました。この開講式は、第4回楠元塾と合同で開催。新塾生は、楠元塾塾生の中間発表を聞くこともでき、1年間実践塾で学び確実に成長していく先輩たちの姿は、よい刺激となりました。

さらに武田塾長が「なぜ給料UPか？ 心構えとか」を、東京学芸大学の菅野 敦教授が「知的障がい者の職業能力向上について」を講演。塾生たちは、今後の事業改善のヒントにしようと真剣にメモを取っていました。

その後は「新塾」と「5万円必達塾」に分かれ、それぞれの塾の方針などを聞くことに。分科会では、自己紹介とともに今後の自分の目標、意気込みを発表。この日を境に、新塾生たちは、利用者さんの給料増額という目標達成へ向かって第一歩を踏み出しました。



■ 第2期合同開講式の内容

日程	プログラム
10月2日	■ 理事長挨拶 ■ 楠元塾 塾生中間発表 ■ 楠元塾長講評 ■ 武田塾長講演 「なぜ給料UPか？ 心構えとか」 ■ 第1回研修会 ・ 5万円必達塾（説明会） ・ 新塾（説明会）
10月3日	■ 東京学芸大学 菅野 敦教授講演「知的障がい者の職業能力向上について」 ■ 第1回研修会 ・ 5万円必達塾（塾長講話、今後の意気込み） ・ 新塾（菅野教授講演、塾長講話、今後の意気込み）

「知的障がい者の職業能力向上について」

東京学芸大学 菅野 敦教授

「障がいのある方が働く」ということを、みなさんはどう捉えているのでしょうか。働くとは「活動や作業」とは違い「社会的な契約のもと、賃金を受け取り、生活を支えることができるようになる」ことだと思います。現在、利用者さんの平均月額給料は、全国平均で約1万4000円といわれていますが、この金額で生活を支え、社会的に自立することができるのでしょうか。もし20人の利用者さんに3万円の給料を支払うとすれば、月の売上が60万円以上になる仕事を持つてこなければなりません。まず職員が考えなければならないのは、「提供する仕事」を決めることです。

塾長や実践塾の先輩が行っている事業は、みなさんのよい参考になると思います。そしてもう一つ大切になるのは「仕事・職業」という段階にまで、利用者さんの能力を高めるアプローチを行うことです。私は、新堂塾のアドバイザーとして塾生の指導にあたってきましたが、3万円以上の給料支給を達成できた塾生の中でも、利用者さんの職業能力を高めるアプローチまで行えた事業所は多くありません。難しい課題ではありますが、そこまで行ってこそ「障がいのある方が働き、自立できる」という福祉施設職員の義務を果たすことになると思います。これから2年間、各塾長に学び、売上拡大・給料増額という目標をやり遂げてください。



第1回5万円必達塾研修会

日時：平成27年10月2・3日
場所：晴海グランドホテル（東京都中央区）

「人は、だれかの役に立ちたいという強い気持ちがあれば、計画の立て方も支援の方法も違ってくるものです。みなさんは、これまで塾で学んだ考え方や方法を施設で実践してきたと思いますが、利用者さんの求めることを、本当にやりつくすことができているのでしょうか。みなさんは、ここでの活動を通して他の福祉施設のモデルとなり、牽引していく存在になってほしいと願っています。だからこそ、目標達成は絶対です。私の施設でもみなさんと同じように、目標とする数値を掲げ、この2年間でそれを達成していきます。全員が強い決意を持って一緒に頑張っていきましょう」と武田塾長が挨拶しました。

塾生たちが発表したこれからの取り組み計画を、武田塾長が具体的にチェック。今後の課題を明確にして5万円必達へのスタートを切りました。



塾生の計画

- フルーツ王国・甲府という地の利を生かし、ドライフルーツで5万円を超える給料増額を目指す。季節ごとでどんな果物をいくら仕入れ生産していくかを計画的に進める。またカフェを併設し売上を拡大、利用者さんに新しい仕事をつくり出す。（就労支援事業所かしのみ）
- 施設の周りに集合住宅がたくさんあり、そのお客様を引き込もうと直売所をつくった。主力商品はパンだが、今後は、パン以外の日持ちする商品も開発。また、地域には高齢者も多くなっているため、移動販売にも力を入れていく。（コンパス）

第1回新塾研修会

日時：平成27年10月2・3日
場所：晴海グランドホテル（東京都中央区）

新塾では、緊張の面持ちで並ぶ15名の塾生を前に亀井、熊田塾長がそれぞれの方針を伝えました。

「事業所の売上の柱となる新しい商品と一緒に作り上げていきましょう。たとえば、弁当もつくるだけではなく配食まで行うことでサービス業となり顧客が広がります。農産物も栽培するだけではなく、製品に加工して消費者に喜ばれるプラスのサービスを加える工夫をすることが必要です。ただつくるだけでは改善はできません。つねに消費者の立場で考え、時代の主流となる新しい事業を見極めていく力を身につけてください」と亀井塾長は話しました。

熊田塾長は「塾長という大役を受け、みなさん以上に私が緊張しています（笑）。亀井塾長がお話しされたように、農業もただ農作物を栽培しているだけでは売上は伸びません。どのような付加価値、魅力を加えていくか。いかにして地域の独自性を引き出していくかなどを考えていきましょう。地域の方、またこの塾で出会った仲間と連携していくことで、可能性は広がるはずですよ」と話しました。



塾生の感想

- お菓子づくりで給料増額を目指す。今日学んだことを持ち帰り、1人でも多くの職員が同じ方向を向いて進むようにしたい。（青い鳥）
- 川口特産のお土産、ギフトの製造に取り組み売上を伸ばしていきたい。（晴れ晴れ）
- 利用者さんを戦力として育てる、大変ですがやり遂げていきたい。（青ねこ広場）
- ミカンの収穫はパートさんが行っているが、利用者さんの仕事に変える。（早月農園）

第2回新塾研修会

日時：平成28年2月4～6日

場所：ホテルコスモスクエア国際交流センター（大阪府大阪市）

2月4日～6日、新塾の第2回研修会を開催しました。4日は自由参加で滋賀県にある『作業所おもや』を見学。おもやは無農薬・無肥料・無除草剤で稲、野菜、果樹栽培を行っている事業所です。「自然栽培は、一般的な農法に比べ手間も工夫も必要とされるが、努力に見合うだけの安心・安全で競争力の高い作物を収穫できる」と杉田健一施設長。栽培方法を見学した塾生は、自身のやり方との違いなどを積極的に質問し、翌日はビニールハウス組み立てのワークショップも体験しました。

2日目からの参加者は、大阪にある亀井塾長の施設『ハイワークひびき』を訪問。パティシエと管理者の2人の職員より「売れるお菓子づくりと利用者さんが能力を発揮できる職場環境」などの話を伺いました。お菓子づくりに励む利用者さんの姿を見学した際には、同行された東京学芸大学の菅野 敦教授から、なにを参考にすべきかの具体的なアドバイスも。その後は研修会場で財団が提供するPDCAのための収支管理システムを勉強しました。

最終日は、これまで行ってきた活動を個別に発表。亀井塾長は「ここであるほどと思ったことは、必ず行動に移すこと」。熊田塾長は「みんなでものを売る仕組みづくりを構築していきましょう」と呼びかけました。

■ 第2回新塾研修会の内容

日 程	プログラム	
2月4日	■ おもや見学・勉強会 ■ 懇親会	—
2月5日	■ ハウス組み立てのワークショップ ■ 収支管理システム勉強会 ■ 懇親会	■ 亀井塾長施設見学会
2月6日	■ 塾生より進捗状況の報告 ■ 塾長講評・質疑応答	



作業所おもや見学・勉強会

日時：平成28年2月4・5日

場所：作業所おもや（滋賀県栗東市）

農業を事業の柱に給料増額を目指す塾生のため、新塾では滋賀県栗東市にある作業所おもやで見学・勉強会を開催しました。作業所おもやは、ヤマト福祉財団が支援する『水稲自然栽培チャレンジ』（P20 参照）の参加施設であり、農薬・除草剤・肥料をまったく使用しない自然栽培で野菜、お米を生産しています。

「当初は有機栽培で野菜をつくっていたのですが、あるお客様が“美味しくないが安全だから買っている”と話されたのを聞き、安全につくっていけば本当ならもっと美味しくなるはず。なにかが間違っていると気づきました」と杉田施設長。そこで自然栽培で実績を上げている佐伯康人氏のノウハウを学ぶことに。「肥料を与えないから害虫が寄って来ない、だから農薬も不要。その理屈はわかるのですが、実際にやってみると、ちょっとした手違いで失敗してしまうことも。いまま試行錯誤と勉強の毎日ですね」。それでも着実に成果を上げているおもや独自の工夫は、塾生たちのよい参考となりました。熊田塾長も利用者さんはどのような仕事を担当しているか、基本的な1日の仕事の流れ、販売先への営業活動などを具体的に質問しました。

懇親会では、おもやが栽培した野菜料理を試食し、その美味しさに感動。自分たちもより付加価値の高い農作物づくりをはじめたいと、塾生は目を輝かせていました。



亀井塾長施設見学会

日時：平成28年2月5日

場所：ハイワークひびき（大阪府東大阪市）

2月5日、亀井塾長の施設「ハイワークひびき」（大阪府東大阪市）で見学・勉強会を行いました。「日本一のマドレーヌ」を自負するハイワークひびきは、徹底した衛生管理で安心・安全なお菓子づくりを行っています。手洗い、作業服などの衛生管理はもちろん、外からの埃などをシャットアウトしたクリーンな製造現場を、塾生たちはガラス越しで見学。どのような設備、機器を使用しているのか、仕事の流れ、利用者さんそれぞれの役割分担はどうなっているのかなどをチェックしていました。

同行した菅野教授からは「あの利用者さんは担当している仕事が完了しましたね。仕事を終えた利用者さんの動きはどうですか？職員に報告し、すぐ次の工程へとスムーズに動いていますね。この行動が自主的にできるようになることが大事なのです」と、塾生が参考にすべき点を細かくアドバイスしていただきました。

見学後は、ハイワークひびきで製造するお菓子を試食し、そのクオリティの高さに感激。「町のケーキ屋さんと競争できるレベル、さらにその上に達してこそ商売になる」と亀井塾長。品質はもちろん同時に納期を守る生産性・スピードも実現してほしいと伝えました。



収支管理システム勉強会

日時：平成28年2月5日

場所：ホテルコスモスクエア国際交流センター（大阪府大阪市）

塾に入ってはじめてPDCAサイクルや原価計算の正しい方法などを知ったという塾生もいます。大切なのは「収支管理システム」をどう使いこなすかです。勉強会では、在庫管理や売上分析（ABC分析）とはなにか、その目的とそのためにどのようにシステムを使っていくのか、どのように数字を見ていくのかなどを、運用編、応用編と順に勉強していきました。

「必ず計画値、実績の数字を入れておくことで、目的達成にどのくらい足りないのか、どのような努力が必要なのかも見えてきます」との説明に、塾生は日々の活用がいかに大切かを自覚。勉強会の後「これからは、自分だけではなく他の職員も使いこなし、施設全体で運用できるようにしていきたい」と話していました。



第2回新塾研修会を終えて

「ターゲットも目標も明確 それが改善の第一歩」 亀井塾長

どこにもないパンをつくりたいという方がいますが、それはどんなパンなのでしょう？大事なのは、だれに売りたいのか、その人たちがなにを求めているのかを知ることです。さらに、利用者さんの目標給料を決めたら、そのために何円のパンを何個売らなければならないのか、原価計算を行った上で正しく数字に示してください。

「利用者さんが働く意義を 地域の方に理解いただく」 熊田塾長

いま世の中では「農福連携」という言葉が盛んに使われています。これをみなさんの地域で進めていくには「まずは利用者さんが働くことの意義・価値」を地元の方に理解していただくことが必要になります。その上で相互にメリットが生まれるアイデアを提案していくことができれば、地域との連携・きずなも強くなっていくはずです。

実践塾（第2期） — 平成27年度実績 —

※新塾の開講は平成27年10月

単位：円（売上金額、平均給料） 単位：人（支払い人数）

		平成27年4月	平成27年5月	平成27年6月	平成27年7月	平成27年8月	平成27年9月	平成27年10月	平成27年11月	平成27年12月	平成28年1月	平成28年2月	平成28年3月
青い鳥	売上金額	187,570	212,860	244,991	185,380	160,182	144,010	193,110	352,190	297,110	220,170	289,871	278,386
	支払人数	7	7	7	7	7	7	7	7	6	6	7	7
	平均給料 （一人当たり）	11,929	11,443	21,357	12,257	11,500	13,214	13,500	15,086	26,283	14,600	14,814	13,868
晴れ晴れ	売上金額	541,770	560,492	546,814	635,328	1,005,613	588,100	1,057,495	956,677	1,016,346	1,064,483	881,480	2,069,427
	支払人数	33	34	33	35	35	36	37	35	34	35	35	37
	平均給料 （一人当たり）	6,919	11,055	8,017	8,716	12,577	12,680	15,455	12,356	15,579	9,404	11,696	15,453
あけぼの作業所	売上金額	657,152	456,946	641,481	610,741	553,251	512,905	705,340	648,602	592,792	546,787	555,722	735,765
	支払人数	15	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14
	平均給料 （一人当たり）	8,646	8,325	10,005	10,405	9,009	9,126	10,182	11,765	11,090	10,573	12,637	12,290
就労支援事業所 かしのみ	売上金額	115,205	122,846	93,725	170,611	134,810	347,161	666,673	599,053	359,739	278,248	264,804	305,295
	支払人数	11	11	11	11	11	11	11	16	16	16	16	16
	平均給料 （一人当たり）	8,862	7,678	7,210	12,187	9,629	11,893	39,138	22,706	18,579	15,921	12,880	16,443
白いキャンパス	売上金額	401,774	215,158	257,256	302,239	171,523	307,034	253,777	338,171	662,467	165,473	564,267	460,201
	支払人数	17	17	16	16	16	16	16	17	17	17	17	17
	平均給料 （一人当たり）	10,224	10,450	10,897	10,828	10,897	10,794	10,966	10,223	10,902	10,935	10,709	39,276
エール	売上金額	1,190,672	1,092,200	1,094,354	1,164,726	1,059,668	1,132,406	1,104,544	1,112,674	1,140,899	1,051,616	1,101,740	1,145,811
	支払人数	26	25	25	25	25	25	26	25	26	26	26	25
	平均給料 （一人当たり）	30,150	30,150	30,150	30,150	30,150	30,150	30,150	30,150	30,150	30,150	30,150	32,142
青ねこ広場	売上金額	253,449	171,368	210,846	171,859	180,655	132,295	394,813	138,041	143,164	165,992	194,614	293,683
	支払人数	14	14	13	12	12	13	11	9	10	11	10	10
	平均給料 （一人当たり）	17,446	16,186	20,800	22,408	17,288	16,573	24,832	24,861	28,560	21,050	26,120	30,225
八身共同印刷	売上金額	645,396	837,340	832,496	576,552	610,260	460,590	697,060	611,230	926,829	626,328	383,399	540,494
	支払人数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	平均給料 （一人当たり）	31,805	35,271	33,009	35,566	35,758	33,890	32,151	35,566	67,539	34,813	31,295	30,640
早月農園	売上金額	1,160,962	280,530	592,854	426,625	467,600	509,849	369,754	1,240,569	1,417,262	694,404	2,870,618	1,060,244
	支払人数	14	15	15	16	16	15	15	16	16	14	15	18
	平均給料 （一人当たり）	19,349	19,822	17,136	22,000	20,397	18,409	18,362	21,591	19,680	21,203	23,161	63,752
ワークセンター ひびき	売上金額	816,549	1,566,727	1,757,415	1,075,040	877,026	946,620	1,056,928	1,141,639	1,629,409	1,154,841	1,242,027	1,098,343
	支払人数	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	8	8
	平均給料 （一人当たり）	15,727	14,660	17,108	15,228	15,088	15,214	13,042	14,459	20,291	12,238	18,619	18,574
ぼぶら	売上金額	163,459	357,174	222,214	307,071	148,377	341,367	491,343	256,985	376,048	738,176	121,461	452,175
	支払人数	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	12	11
	平均給料 （一人当たり）	55,120	61,278	51,658	61,862	64,810	57,774	61,795	62,821	67,359	56,576	55,120	64,172
菜の花	売上金額	32,570	233,956	287,552	235,196	129,600	104,717	0	0	0	0	894,226	219,214
	支払人数	11	10	11	11	11	11	11	11	11	10	10	10
	平均給料 （一人当たり）	26,600	26,602	26,601	26,597	26,602	26,602	26,600	26,600	26,600	26,600	26,600	26,600
赤城の家	売上金額	463,798	523,731	524,392	460,781	725,390	473,691	723,261	595,757	628,360	693,952	1,041,370	546,978
	支払人数	13	13	13	13	13	13	14	12	13	13	13	13
	平均給料 （一人当たり）	32,431	32,564	30,818	30,897	30,079	30,683	29,713	32,471	31,582	47,488	31,710	29,906
愛光園	売上金額	243,170	103,479	128,674	180,851	112,785	139,317	161,432	127,530	140,194	61,306	67,535	129,544
	支払人数	17	17	17	17	17	17	17	17	17	16	15	17
	平均給料 （一人当たり）	10,237	9,200	11,179	9,320	9,052	9,559	9,635	9,319	10,000	9,000	8,500	9,000
ショップ&カフェ みつば	売上金額	569,799	425,290	577,611	751,286	743,844	503,641	661,962	517,587	784,549	489,206	326,852	429,520
	支払人数	11	13	13	12	14	13	14	14	12	13	12	13
	平均給料 （一人当たり）	48,328	34,935	46,151	48,222	41,415	40,742	46,915	42,179	53,672	45,485	50,739	44,379

ステップアップセミナー

日時：平成28年2月6日
場所：新大阪丸ビル別館（大阪府大阪市）

2月6日、新大阪丸ビル別館でステップアップセミナーを開催しました。その目的は、新堂塾の活動を知ること、より多くの施設が利用者さんの給料増額に取り組めるようにすることにあります。参加者は65名。講師は新堂 薫塾長、東京学芸大学の菅野 敦教授（新堂塾アドバイザー）、そしてお二人に学び

実績を上げた3人の元塾生です。「利用者さんの給料増額のために、仕事量を倍に増やしても利用者さんにこなせるはずはありません。必要なのは、よりよい仕事を見つけ出すことです」と菅野教授。新堂塾長は「よい仕事とは、なにをつくっているのか、社会にどう役立つのかがわかるもの。その上で高い給料につながるものです」と説明。さらに菅野教授は、利用者さんにできる仕事を増やすための支援として、仕事環境や工程をどう見直していくかを講演しました。その後、3人の元塾生が現在の取り組みと成果を報告。会場の参加者を交えたシンポジウムでは「どうやって仕事を開拓したか。仕事を効果的に進める上でどんなルールを取り決めたか。利用者さん、職員の意識はどう変化したか」なども具体的に伝えました。参加者は、積極的に質問を行い、自分も実践塾に参加し給料増額への階段を登っていきたいとの意欲を高めました。



■ ステップアップセミナーの内容

日 程	プログラム
2月6日	■「知的障がい者の職業能力向上」菅野 敦教授 ■「働く力を伸ばし工賃を高める実践」新堂 薫塾長 ■ 事例報告 ・(NPO) 出愛いの里福祉会 障がい者支援センター出愛いの里 高橋勝茂主任 ・(社福) ゆたか福祉会 ワークセンターフレンズ星崎 稲垣伸治副所長 ・(社福) しあわせ会 障害福祉サービス事業所第二むつみ園 坂元孝行所長 ■「仕事の環境や工程の見直し」菅野 敦教授 ■ シンポジウム ・コーディネーター：菅野 敦教授 ・シンポジスト：新堂 薫塾長・高橋勝茂主任・稲垣伸治副所長・坂元孝行所長

●新堂塾で学んだ3人の元塾生の事例報告内容



「新たにプラスチックダンボールの清掃やDMの封入封緘などの受託仕事を開拓。平成27年8月に3万7583円の給料支給を実現」障がい者支援センター出愛いの里（兵庫県）高橋勝茂主任



「パソコンなども活用して利用者さんの仕事の幅を拡大。DM発送代行業務を柱に月額平均給料約3万9000円（平成27年見直し）を達成」ワークセンターフレンズ星崎（兵庫県）稲垣伸治副所長



「私物フリーニングで月額平均給料を4万4981円（平成27年見直し）に。利用者さんが簡単な計算をできるようにと公文式を導入、仕事の幅が広がった」第二むつみ園（滋賀県）坂元孝行所長

フォローアップ研修

日時：平成28年2月10・11日
場所：晴海グランドホテル（東京都中央区）

2月10・11日のフォローアップ研修は、かつて新堂塾とともに学んだ（新堂塾の前身である障がい者の働くちから革新塾の修了者も含む）12名の塾生たちが、自主的に開催したものです。その目的はそれぞれの成果や問題点を報告、検討し合うことで互いにプラスとなる情報を持ち帰り、さらなる給料増額を目指すことにあります。新堂塾長と菅野教授も研修会に参加。1人ひとりにアドバイスを行いました。



■ フォローアップ研修の内容

日程	プログラム
2月10日	■ 新堂塾長挨拶 ■ 新堂塾修了者報告
2月11日	■ 新堂塾修了者報告 ■ 新堂塾長講評 ■ 菅野教授講評



平成26年度「夢へのかけ橋」事業改革モデル化資金 助成先施設の報告

[夢へのかけ橋実践塾]

塾生の挑戦

NO.5

開所式のお祝いに、特別なお弁当を用意

楠元塾で最後に弁当・配食サービス事業を開始した夢・さぼーと

弁当事業の始まりに安全を祈って、火入れ式

現在は、17人いる利用者のうち4人が従事

楠元塾長
が行く

考えるのは利用者の給料アップだけ

塾長コメント

この1年間、福原さんの頑張りを見してきましたから、本当によかったと思います。でもこれからが本番！地域の方の声・姿をしっかり捉えて戦略的に事業を進めていくこと。衛生管理を怠らないこと。迷った時は「利用者の給料アップ」それだけを考えて前に進むことです。他の塾生の姿を見て、なにをやるべきかわかっているの、きっと成功できると信じています。



塾生の福原さん(左)と開所式に駆けつけた楠元塾長

塾生メモ
NPO法人 夢・さぼーと
弁当事業部「かず味」

●楠元塾：1期生 ●対象事業内容：弁当・配食サービス事業 ●平成25年度売上：18,795,823円 ●平成25年度総支給額(月額平均給料) 10,810,227円(48,476円) ●利用者人数：17人(平成27年8月現在) ●助成内容：弁当・配食サービス事業の新規立ち上げ資金 ●助成金の種類と金額：平成27年度「夢へのかけ橋」事業改革モデル化資金300万円 ●事業形態：就労継続支援A型・就労移行支援

待望の弁当事業部を開所 夢・さぼーと

試行錯誤を続けながら、未経験の弁当・配食サービス事業の準備に取り組んでいたNPO法人夢・さぼーとが、8月4日、弁当事業部「かず味」を開所。300万円の事業改革モデル化資金で厨房の改築・設備・配送車などを整備、1日弁当200食を目標に第一歩を踏み出しました。

福原さんの夢の新事業がスタート

次は利用者の夢をかなえる番

8月4日、蝉時雨の中、松橋神社の神主により厳かに火入れ式がはじまりました。「入塾した時、駄菓子屋をはじめたいと話したのゼロ、むしろマイナスからのスタートでした」と塾生の福原和美理事長。

これまで夢・さぼーとが行ってきたのは、味噌と関連商品の製造・販売、アクセサリリーの製作、そして地元農家の手伝いなどですが、売上は伸び悩んでいました。「お金がなくて買えないから、ほしいという気持ちもなくなってきた」と話す利用者の生活を給料アップで必ず改善してみせると決意し、楠元塾に入塾します。

楠元塾で弁当・配食サービス事業の経験がまったくなかったのは夢・さぼーとだけ。「実績がないため、塾での成果発表などでは肩身が狭かった」と言いながらも「一番最後を走っているおかげで、先行している塾生の成功や失敗を見聞きでき、たくさんノウハウを吸収できた

のはラッキーでした」と笑います。法人設立時には、資金調達に奔走してくれた当時の副理事長も強力な応援者で、この日もお祝いに駆けつけてくれました。福原さんに「経営者としての自覚を持ちなさい」と営業面を含めて後押しをしてくれています。

楠元塾長は「いまは200食つくれる設備で十分。利用者が働きやすい動線と衛生管理を」と助言。福原さんは、職員とともに何度も塾長の施設を訪ね、なにが必要かを考え計画を練り直します。やがて事業改革モデル化資金の申請も通り、計画は大きく前進しました。

経済的自立力達成事業所紹介サイト「夢へのかけ橋」 報告

■月額平均給料3万円以上を支給している事業所を先行事例として紹介



平成 26 年 11 月 27 日に開設した『経済的自立力達成事業所紹介サイト 夢へのかけ橋』では、「月額平均給料 3 万円以上を支給している事業所」を模範的な先行事例として紹介。平成 27 年度は、以下の二つの事業所の紹介を事例に加えました。

●（社福）ゆたか福祉会 ワークセンターフレンズ星崎



●（NPO）出愛いの里福祉会 障がい者支援センター 出愛いの里



『障がい者のクロネコDM便配達事業』

◇取り組み経過

平成27年10月～ 11月	クロネコ DM便配達本人特別報告会（地域開催の報告会）を開催。 全国2ヶ所の施設（熊本県上益城郡益城町・神奈川県横浜市港北区）で開催。 新サービス「クロネコ DM便」開始。
平成27年4月	「障がい者のクロネコメール便配達事業」は「障がい者のクロネコ DM便配達事業」へと変更。
平成27年3月	「クロネコメール便」サービス廃止。
平成26年10月～ 平成27年2月	クロネコメール便配達本人特別報告会（地域開催の報告会）を開催。 全国3ヶ所の施設（東京都東村山市・長崎県佐世保市・栃木県小山市）で開催。
平成25年10月～ 11月	クロネコメール便配達本人特別報告会（地域開催の報告会）を開催。 全国3ヶ所の施設（神奈川県横浜市戸塚区・熊本県上益城郡益城町・埼玉県鴻巣市）で開催。
平成24年10月～ 11月	クロネコメール便配達本人特別報告会（地域開催の報告会）を開催。 全国4ヶ所の施設（岩手県紫波郡矢巾町・山梨県甲府市・東京都東村山市・兵庫県姫路市）で開催。
平成23年10月～ 11月	クロネコメール便配達本人特別報告会（地域開催の報告会）を開催。 全国4ヶ所の施設（大阪市住吉区・新潟県長岡市・宮崎県都城市・山形県鶴岡市）で開催。
平成22年12月12日	クロネコメール便配達 本人による特別報告会「私を、待っていてくれる人がいます。」を東北福祉大学で開催。約200名の参加者を前に、岩手県・山形県・宮城県・福島県の9施設23人が発表を行った。 また実学臨床教育学生が、クロネコメール便配達施設でメール便配達を一日体験した様子を発表。
平成22年10月～ 11月	クロネコメール便配達本人特別報告会（地域開催のミニ報告会）を開催。 全国4ヶ所の施設（神奈川県横浜市磯子区・鹿児島県鹿屋市・福島県南相馬市・東京都江東区）で開催。
平成22年7月	障がい者施設向けクロネコメール便配達実績報告システム立ち上げ 全国の事業参入施設から毎月の実績を報告してもらい、財団本部で集計するシステムを立ち上げる。
平成22年6月19日	クロネコメール便配達 本人による特別報告会を大分で開催。 大分県でメール便配達事業を行う9施設が参加。 23人のクロネコメイトさんが、自分の工夫や、配達先での出来事を報告。
平成21年12月12日	当事者33名と仙台東北福祉大学実学臨床教育推進室の学生12名、一般参加者156名による第5回メール便配達特別報告会「私を、待っていてくれる人がいます。」を開催。 知的…小学校にメール便を配達に行ったら、「頑張れよ」と声をかけてくれた校長先生は、昔僕の担任の先生でした。 知的…お客さんからの「ありがとう」に、「どういたしまして、仕事ですから」と挨拶します。 精神…仕事を初めてから5年間、「誤配ゼロ」です。もっともっとメールを配りたい。 精神…プロの自覚を持って働いている。アマチュアじゃない。これからも困難を乗り越えて配達していきたい。



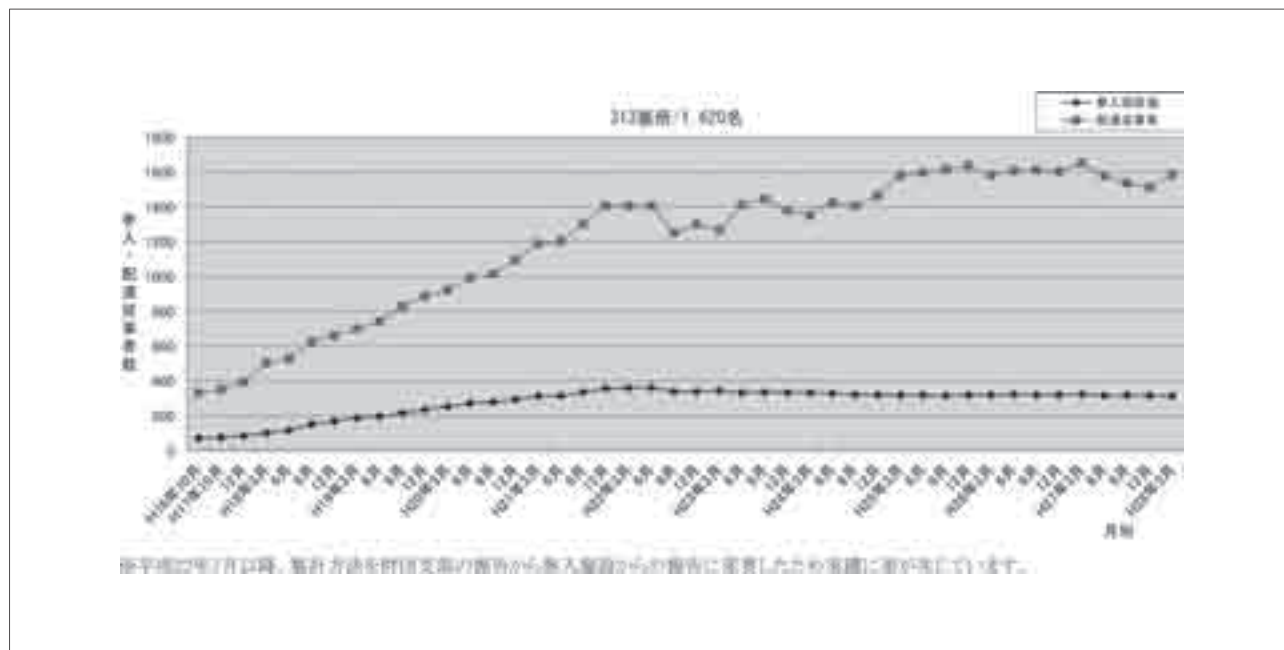
	等々、報告者の働く自信や誇り、そして喜びの声が、会場の皆さんの心に真っすぐ伝わってくる報告会でした。
平成21年8月22日	障がい者本人によるメール便配達特別報告会関東地区「私を、待っていてくれる人がいます」を開催。 関東地区157名からなる参加者に、5都県10施設のクロネコメイトさん24名が、ありのままの声をお届けした。
平成21年5月～6月	事業参入マニュアルブックレット、「参入の手引き・動画版DVD」の制作と社内外への配布（200枚）。 本事業のさらなる啓発広報と標準化促進を計るため、障害者支援関連団体とヤマト運輸（株）全国支店長及び主管支店長、ならびにメール便営業課長に向けて配布。
平成21年3月16日	全国47都道府県全参入。
平成20年12月3日	配達状況アンケート調査を実施。昨年にひきつづき参入施設278箇所・配達従事者1,012名を対象とした調査。 結果、配達に携わった約16%の障がいのある人達が一般の会社に就職。
平成20年11月1日	障がい者本人によるメール便配達特別報告会、仙台地区『私を、待っていてくれる人がいます。』を開催。 東北福祉大学学園際で120名の参加者を前に、10施設21名のクロネコメイトさんが配達実践報告。 更に、実学臨床教育推進室の学生7名が「配達一日体験」で体感した働く大変さと達成感を実践報告した。
平成20年9月19日	NPO法人ソーシャル・イノベーション・ジャパン主催によるソーシャル・ビジネス賞「優秀賞」受賞。 社会性・事業性・革新性の観点から、社会的事業として本事業が高い評価をうける。
平成20年8月30日	障がい者本人によるメール便配達特別報告会、大分地区『私を、待っていてくれる人がいます』を開催。 130名の参加者が見守るなか、大分県内外から10箇所の施設・作業所のクロネコメイトさん27名が配達実践報告。
平成20年4月	施設・作業所のクロネコメイトさんが「ヤマトファン賞」を受賞。 福祉施設ドリームブイ（東京都北区）所属メイト酒井さんが、お客さまからお褒めの言葉をいただく。
平成20年2月28日	（社団）日本フィランソロピー協会による第5回企業フィランソロピー大賞・特別賞「社会共生賞」を受賞。 「共に生きる」意味を実感できる就業機会を提供し、また、障がい者と健常者を差別しない社会貢献のあるべき姿が本事業に取り組まれている活動として高い評価をうける。
平成20年1月	ヤマト運輸（株）木川 眞社長が福祉施設を訪問。 「現場で頑張っている皆さんの声を直接聞きたい」と、スワンカフェ&ベーカリー事業を展開している障がい者就労支援センター『らいむ』（町田市）を訪れ、メイトの皆さん（5名）との座談会参加と現場での配達状況を視察。

平成20年1月	クロネコメール便配達事業〈個人別成長目標設定シート〉をテスト導入。 潜在能力及び顕在能力を開発し、自己実現するための育成支援ツールとして活用していただく。
平成19年12月～ 平成20年1月	12月26日時点での参入施設231箇所を対象に、各施設の配達状況アンケート調査を実施。
平成19年12月	障害者週間事業イベントとして、(財) ナイスハート基金と東北福祉大学共催、宮城県仙台市後援によるクロネコメール便配達特別報告会（13名のメイトさんが発表）「私を、待っていてくれる人がいます。」を開催。 報告会のお知らせが、11月28日朝刊・毎日新聞みやぎワイドに、河北新報12月12日朝刊に内容が掲載される。32箇所の施設・作業所（秋田・福島・宮城）から約100名が参加した。
平成19年11月	「メール便配達リーフレット」リニューアル版発刊。沖縄、大阪、東京、青森の施設・作業所のメイトさん8名を紹介。
平成19年8月	ヤマト運輸（株）が発刊するメイトさんの啓発広報誌「メイト通信」に障がいのあるメイトさんの配達状況を毎号紹介。
平成19年8月	(社団) 日本フィランソロピー協会より、ヤマト運輸の社会貢献活動とメール便配達事業の経緯と活動について取材を受ける。機関誌「10・11月合併号月刊フィランソロピー」に紹介され、2007年度第5回企業フィランソロピー大賞「特別賞・社会共生賞」を受賞。
平成19年6月	事業マニュアル、小冊子「参入の手引き」作成。メール便営業部と連携をとり社内関係者に3,300部納品。
平成19年7月	配達従事者1,004名。事業開始から34ヶ月で1,000名を達成。
平成19年4月	月刊誌「マリ・クレール」5月号特別付録（企業のCSR活動に焦点をあてた特集）にメール便配達事業が紹介される。
平成19年3月	「配達事例集」リニューアル版発刊。全国11ヶ所の施設・作業所の配達状況を紹介。
平成19年2月	イギリスのソーシャル・ファーム「リンケージ・コミュニティ・トラスト」で働く知的障がい者5名とディレクター8名の総勢13名が日本の障がい者の実情を知るために来日。クロネコメール便の配達現場を視察。
平成18年12月	「障害者白書」別冊版、内閣府発行啓発広報誌「それぞれの願い」に本事業を紹介する。 障害者週間（12月3日～12月6日）期間中に、各地で開催されたシンポジウム会場において配布された。 （「障害者白書」テーマ、“共生する社会”について障がいのある方々ご本人や、その支援されている人々の声を取り纏めた冊子）
平成18年10月10日 ～12日	東京都福祉保健局・産業労働局との共催「東京の障がい者雇用・就労の新たな展開を考える」と題したシンポジウムおよび東京都第三セクター企業2社とのコラボ企画展示を開催。（ポスターパネル13点の展示と配達風景をビデオ上映）
平成17年12月	障害者週間事業として、「クロネコメール便配達ポスター展」をスワンカフェ赤坂店で開催。 ・フォトグラファー平間至氏撮影によるポスターパネル13点を展示し、障がいのある人達の前向きな働く姿を紹介。 ・施設・作業所のメイトさん8名のポートレートと、事業参入全国マップを掲載した「メール便リーフレット」を配布。 （2008年12月現在 14,000部配布）
平成17年10月	参入施設・作業所の“地域で働く人々の姿”を網羅した「配達カルテ」を作成。社内外に向けた事業推進のための効果的な啓発・広報資料として活用。

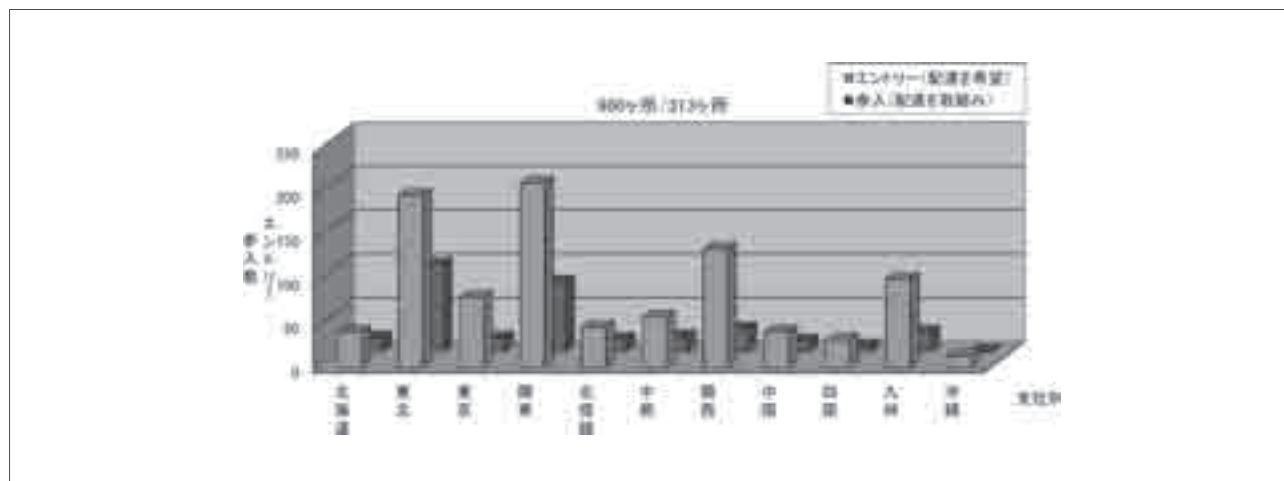
平成17年7月	啓発広報資料として、各障がい種別全国7ヶ所の施設・作業所の配達状況を紹介した「配達事例集」を作成。 (2008年12月現在 16,000部配布)
平成17年3月	社内外からの事業問い合わせ増加に伴い、事業案内を一元化するため、財団HPに事業案内を掲載。
平成17年2月	軽四輪車で配達を希望する施設を対象に、ヤマトリースのご協力をいただき財団特別料率を設定し、軽商用リース車の斡旋をスタート。
平成16年10月	・民間支援四団体加盟の全施設・作業所（3,520ヶ所）に「クロネコメール便配達事業」マニュアルを配布。 ・WIJ メール便委員会発足（日本セルプ・ゼンコロ・社会福祉協議会・きょうされんの四団体）

〈進捗状況補足資料〉 平成28年3月31日 現在（図表1・2・3）

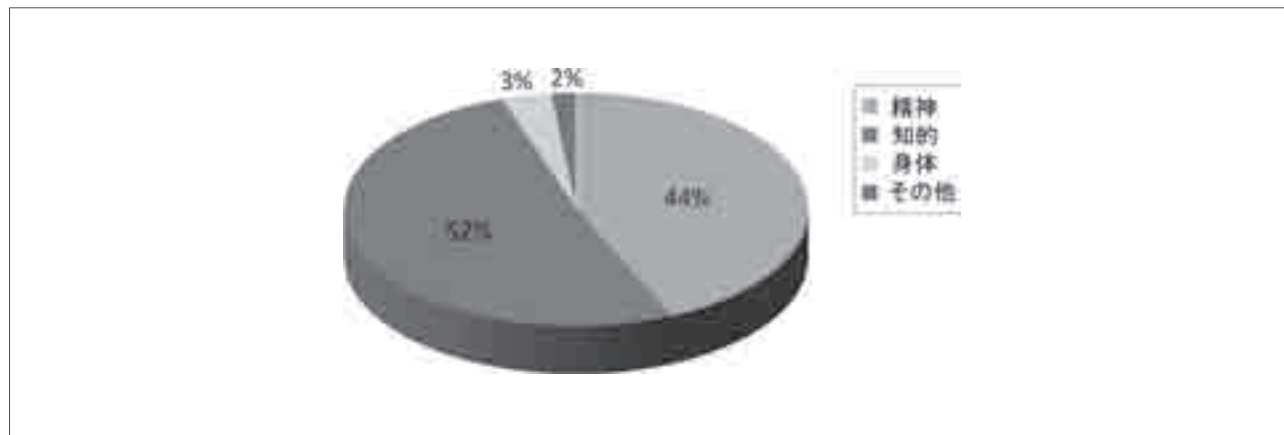
図表 1. 参入施設数／配達従事者数推移



図表 2. 全国支社別 エントリー／参入状況



図表 3. 障がい別配達従事者人数とその割合



『障がい者のクロネコDM便配達事業』参入施設一覧 313箇所

施設・事業所名	住所	施設・事業所名	住所
はんど&はんど	北海道札幌市手稲区	いなほ作業所	秋田県秋田市
自由工房	北海道札幌市手稲区	ドリームカンパニーあゆみ	秋田県秋田市
わーく・ひまわり	北海道札幌市豊平区	愛仙	秋田県仙北市
マイウェイ	北海道小樽市	工房JOY さあくる	秋田県大館市
夕陽が丘	北海道函館市	ほっぺ	秋田県大仙市
前田の家	北海道岩内郡共和町	ふれあい作業所	秋田県大仙市
ハートフルネットワークほほえみ	北海道千歳市	サンワーク大曲	秋田県大仙市
コミュニティハウスしずない	北海道日高郡新ひだか町	男鹿浜辺の里	秋田県男鹿市
いちもく神居	北海道旭川市	コスモス	秋田県能代市
すまいる	北海道旭川市	つくし共同作業所	岩手県釜石市
若草友の会共同作業所	北海道滝野川市	りんりん舎	岩手県岩手郡滝沢村
オフィス きらり	北海道釧路市	さくら製作所	岩手県紫波郡紫波町
はばたき	北海道釧路市	あさあけの園	岩手県紫波郡矢巾町
美幌地域就労支援センター	北海道網走郡美幌町	となんカナン	岩手県盛岡市
ワークステーション輝	北海道虻田郡倶知安町	盛岡杉生園	岩手県盛岡市
きずな	北海道帯広市	杜の家	岩手県盛岡市
わーくさぼーとのどか	北海道上川郡比布町	のびやか丸	岩手県盛岡市
青松園	青森県五所川原市	生生学舎アダージョ	岩手県盛岡市
創	青森県五所川原市	ポパイの家	岩手県八幡平
青森うとうの園	青森県青森市	あけぼの	岩手県北上市
ふうあの家	青森県青森市	千厩ワークプラザ	岩手県一関市
夢香房すてっぷ	青森県青森市	岩沼市ひまわりホーム	宮城県岩沼市
彩り工房	青森県八戸市	えさしふれあい工房	岩手県奥州市
柿の木苑	青森県八戸市	ゆうき社	岩手県大船渡市
田面木の家	青森県八戸市	七ヶ浜町あさひ園	宮城県宮城郡七ヶ浜町
大輪	青森県八戸市	コスモス	宮城県石巻市
エンジェルハウス	青森県八戸市	こころ・さをり	宮城県石巻市
平成の家	青森県弘前市	生活支援きょうどう舎 しじゅうからアットワーク	宮城県仙台市宮城野区
ワークハウスとわだ	青森県十和田市	ハートライフせんだい 創働舎	宮城県仙台市宮城野区
NPO 法人太陽の園	秋田県横手市	びあ	宮城県仙台市若林区
ひまわり社	秋田県横手市	わ・は・わ沖野	宮城県仙台市若林区
NPO 法人鹿角親交会	秋田県鹿角市	わ・は・わ若林	宮城県仙台市若林区
出発の家	秋田県鹿角市	Links 五橋	宮城県仙台市若林区

施設・事業所名	住所	施設・事業所名	住所
ぱーとなー	宮城県仙台市青葉区	ゆうゆうハウス	福島県河沼郡会津坂下町
つなぎっこ	宮城県仙台市青葉区	レーベン	福島県会津若松市
こころや	宮城県仙台市青葉区	ほっとハウスやすらぎ	福島県会津若松市
わ・は・わ広瀬	宮城県仙台市青葉区	ペンギン東台	福島県郡山市
みんなの広場・工房きまち	宮城県仙台市青葉区	ペンギン村共同作業所	福島県郡山市
チャレンジピラ	宮城県仙台市青葉区	キャロット八山田	福島県郡山市
みどり工房永和台	宮城県仙台市泉区	ひまわりの家	福島県相馬市
アトリエ・ソキウス	宮城県仙台市泉区	コラッジョ サテライトみはる工房	福島県田村郡三春町
ほっとスペース歩歩	宮城県仙台市泉区	ほっと悠Ms	福島県南相馬市原町区
ポッケの森	宮城県仙台市太白区	きぼうのあさがお	福島県南相馬市鹿島区
工房けやき	宮城県仙台市太白区	なごみの家	福島県白河市
NPO ステップアップ	宮城県栗原市	ゆ〜もあ〜と	福島県福島市
工房パルコ	宮城県大崎市	SWELL・IN・FUKUSHIMA	福島県福島市
多賀城市福祉工房のぞみ園	宮城県多賀城市	ワークショップろんど	福島県福島市
HOPE GARDEN 気仙沼	宮城県気仙沼市	あさひスマイル	福島県福島市
ステップアップたいわ	宮城県黒川郡大和町	工房アミーコ	福島県須賀川市
デイサポートセンターアイアイ	山形県山形市	来夢	東京都北区
ステップアップ霞城	山形県山形市	Navio けやき	東京都世田谷区
ハーモニー	山形県山形市	千草企画	東京都世田谷区
メディアかがやき	山形県山形市	しごとも	東京都世田谷区
グループ未知	山形県山形市	特定非営利活動法人SUN	東京都目黒区
ひなぎくアルファ城南海営業所	山形県山形市	すきっぷ	東京都三鷹市
ワークランドべにばな	山形県山形市	れすと永山	東京都多摩市
ひだまりの家かほく	山形県西村山郡河北町	つぼみの家サエラ	東京都町田市
手づくりクッキー おからや	山形県鶴岡市	MEIMI・CLUB	東京都東久留米市
ひまわり園	山形県東田川郡庄内町	ぶどうの郷	東京都東久留米市
ひまわり南陽	山形県南陽市	結の会	東京都八王子市
フラワーコート米沢	山形県米沢市	千川作業所	東京都武蔵野市
すてっぷ	山形県米沢市	飛翔クラブ	東京都東村山市
大けやきの家	山形県東根市	トーコロ青葉ワークセンター	東京都東村山市
さくらはうす	山形県新庄市	レスポワール工房	東京都府中市
チャオ	福島県いわき市	つくばライフサポートセンターみどりの	茨城県つくば市
フルクテン	福島県いわき市	共同作業所ふれあい	茨城県ひたちなか市
福祉ハウスボネール	福島県伊達市	はあとぽっぽ	茨城県坂東市

施設・事業所名	住所	施設・事業所名	住所
らしん盤 そよかぜ	茨城県取手市	i工房	千葉県我孫子市
やまびこ	茨城県水戸市	ぼれぼれ	千葉県市原市
ゆきわりそう	茨城県水戸市	まあぶるひろ	千葉県千葉市花見川区
つばさ	茨城県水戸市	ワークホーム海の実	千葉県千葉市中央区
けやきの家	茨城県石岡市	フロンティア	千葉県千葉市中央区
いっすんぼうし	栃木県小山市	ワークス未来千葉	千葉県千葉市美浜区
ソーシャルファーム小山	栃木県小山市	たけの子工房	千葉県千葉市緑区
県東ライフサポートセンター・真岡	栃木県真岡市	アーモ	千葉県船橋市
第2けやき作業所	栃木県芳賀郡芳賀町	かんぱす	千葉県船橋市
伊勢崎市桑の実福祉作業所	群馬県伊勢崎市	カレーサ	千葉県船橋市
あざみ	群馬県前橋市	就労サポートリープ	千葉県袖ケ浦市
若草作業所	群馬県館林市	生活工房こだま	千葉県柏市
あゆみ舎	埼玉県さいたま市大宮区	皆来	千葉県柏市
つばさ共同作業所	埼玉県さいたま市中央区	ぼけっと	千葉県白井市
さくら	埼玉県さいたま市北区	すずらん	千葉県八千代市
ライトハウス	埼玉県ふじみ野市	スペースぴあ	千葉県茂原市
コスモス共同作業所	埼玉県鴻巣市	カレンズ	千葉県茂原市
ゆめきた工房	埼玉県坂戸市	hana	千葉県木更津市
志木市精神保健福祉をすすめる会	埼玉県志木市	コッペ	千葉県君津市
フレンドリー	埼玉県深谷市	ワークスペース エンジョイメント	神奈川県横浜市磯子区
ジョブサポートはぶたえ	埼玉県深谷市	シャロームの家	神奈川県横浜市磯子区
はぶたえ	埼玉県深谷市	ハンディジャンプ	神奈川県横浜市磯子区
ワークセンターせんば	埼玉県川越市	フラワーロード	神奈川県横浜市港南区
晴れ晴れ	埼玉県川口市	いろえんぴつ	神奈川県横浜市港北区
鶴ヶ島ゆめの園	埼玉県鶴ヶ島市	ひとつの芽	神奈川県横浜市泉区
創和ユニット	埼玉県入間市	りんごの木	神奈川県横浜市戸塚区
熊谷たんぼぼ	埼玉県熊谷市	いぶきの風	神奈川県横浜市戸塚区
ひなたぼっこ	埼玉県熊谷市	青い麦の家	神奈川県鎌倉市
ゆりのき支援センター	埼玉県春日部市	茅ヶ崎第二ワーキングハウス	神奈川県茅ヶ崎市
オハナ	埼玉県春日部市	トライフィールドわーくあーつ	神奈川県厚木市
わっくす	埼玉県春日部市	セルプきたかせ	神奈川県川崎市幸区
生活支援センターこしがや	埼玉県越谷市	つばさ	神奈川県川崎市高津区
スキップ	埼玉県所沢市	オリーブの木	神奈川県川崎市中原区
イエローハート	千葉県我孫子市	第2けやき作業所	神奈川県相模原市南区

施設・事業所名	住所	施設・事業所名	住所
第3 藤沢ひまわり	神奈川県藤沢市	就労・コミュニティセンター Abbey	愛知県名古屋市長和区
ハートピア湘南	神奈川県藤沢市	アーム	愛知県豊田市
るる湘南	神奈川県藤沢市	ライム	愛知県大府市
ワークショップポトピ	神奈川県藤沢市	トレーニングスペース リンク	愛知県半田市
中沼コスモス学園 ジョブセンター	神奈川県南足柄市	サポートセンターあいぷろ	三重県四日市市
エアリアル	神奈川県海老名市	垂坂山ブルーミング	三重県四日市市
もいちど倶楽部	神奈川県秦野市	グリーンリーフ	岐阜県岐阜市
すみよし生活支援センター	山梨県甲府市	高槻ワーク工房	大阪府高槻市
かしのみ	山梨県甲府市	のぞみ共同作業所	大阪府吹田市
南アルプス市松の実作業所	山梨県南アルプス市	第三工房ヒューマン	大阪府吹田市
むつみの家	山梨県都留市	ワークセンターひびき	大阪府東大阪市
スイートベリー KATUYAMA	山梨県南都留郡富士河口湖町	手琴堂	大阪府大阪市都島区
阿賀野市さくらの会作業所	新潟県阿賀野市	オリーブ	大阪府大阪市平野区
すてっぷ	新潟県三条市	街の灯事業所	大阪府大阪市福島区
和工房	新潟県新潟市西区	かがやきの杜	京都府京丹後市
豆の木	新潟県新潟市西区	交流広場ライフアート共同作業所	京都府京都市東山区
コミュニティカフェ鳥の歌	新潟県新潟市中央区	SAP ふっとぷりんつ	京都府京田辺市
手楽来家	新潟県新潟市中央区	さわやぎ	奈良県奈良市
希望の家	新潟県長岡市	たむたむ荘	奈良県奈良市
エコーンファミリー	長野県長野市	来夢 green	奈良県奈良市
ワンステップ	長野県松本市	もりの実事業所	奈良県北葛城郡広陵町
エルサポートパノラマ	長野県松本市	たんぼぼ作業所	和歌山県紀の川市
希望の里つばさ	長野県岡谷市	岩出サンワーク	和歌山県岩出市
くろべ工房	富山県黒部市	すまいる・フレンズ	兵庫県神戸市須磨区
ゆめさぼーとらいちょう	富山県富山市	御影倶楽部	兵庫県神戸市東灘区
ネットワークひこばえ	静岡県静岡市葵区	ひまわり作業所	兵庫県淡路市
ウィン作業所	静岡県静岡市葵区	ぐろ〜りあ	兵庫県尼崎市
ラポール・チャクラ	静岡県静岡市駿河区	共同作業所ふるーる	兵庫県尼崎市
高次脳機能障害者支援センター笑い太鼓岡崎	愛知県岡崎市	出愛いの里	兵庫県姫路市
やすらぎの家	愛知県新城市	しらさぎ作業所	兵庫県姫路市
さくらんぼ	愛知県名古屋市中川区	自立の家きらら	兵庫県宝塚市
交流広場ライフアート	愛知県名古屋市中村区	かるべの郷ドリームワークス	兵庫県父養市
アネモネ	愛知県名古屋市長区	手毬の里虹	岡山県玉野市
のぞみ	愛知県名古屋市長山区	ゆめの木・わかば	広島県福山市

施設・事業所名	住所
オレンジ作業所	広島県尾道市
しまなみ瀬戸田夢工房	広島県尾道市
あいあい作業所	広島県廿日市市
三次共同作業所	広島県三次市
ジョブサポートぽかぽか	広島県呉市
ワークステーション大歳	山口県山口市
ステップあそかの園	山口県山口市
さわやか工房	山口県周南市
川本ワークス	島根県邑智郡川本町
ボン・チャンス	鳥取県倉吉市
コミュニティハウス楽	鳥取県倉吉市
かけはし	香川県坂出市
スマイル	徳島県阿波市
どんどこどん	徳島県坂野郡松茂町
第2あおぞら	高知県高知市
いろえんぴつ	愛媛県松山市
ワークハウス睦美	愛媛県伊予市
ポッポ苑	愛媛県松山市
木の香園就労支援センター	福岡県大川市
さるびあ作業所	福岡県筑紫野市
夢ぼけっと	福岡県福岡市南区
ケアポートがんぎだん	福岡県福岡市西区
クオリティサービス	佐賀県鳥栖市
コリアンダーの家	長崎県長崎市
サクラ	長崎県佐世保市
そよかぜ福祉作業所	熊本県上益城郡益城町
どんぐり	熊本県上天草市
らぷらんどカフェ	熊本県熊本市中央区
ちちんぶいぶいあけぼの	大分県津久見市
どんぐりの家	大分県大分市
つわぶき園	大分県大分市
ワーク大分すみれ会	大分県大分市
ピープルステーション	大分県大分市
メロディー	大分県別府市

施設・事業所名	住所
べっぶ優ゆう作業所	大分県別府市
太陽の家	大分県別府市
ななえ福祉作業所	宮崎県都城市
はまゆう園多機能型恒富事業所	宮崎県延岡市
ひなこみち	宮崎県日南市
SUNはぁーと	宮崎県宮崎市
福祉工房「ゆーとぴあ」	鹿児島県鹿屋市
たんぼぼ	鹿児島県鹿児島市
キャンプグリーンヒル	沖縄県うるま市

2015年度 支社別「障がい者のクロネコ DM 便配達実績」時系列集計表

	報告年月	事業参入 施設数	月次報告入 力済施設数	入力率			クロネコ DM 便配達従事者人数			クロネコ DM 便配達冊数			1施設1日当り配達冊数		
				実績	前年	前年差	合計	前年	前年差	実績	前年	前年比	実績	前年	前年差
北海道	2015年4月	16	15	93.8%	93.8%	0.0%	51	56	-5	22,049	25,075	87.9%	62.8	69.1	-6.3
	5月	16	16	100.0%	93.8%	6.3%	51	57	-6	20,445	23,591	86.7%	60.1	30.5	29.7
	6月	16	16	100.0%	93.8%	0.0%	51	55	-4	21,380	25,559	83.6%	58.9	71.4	-12.5
	7月	17	17	100.0%	100.0%	0.0%	55	59	-4	19,679	24,475	80.4%	50.9	61.8	-11.0
	8月	17	17	100.0%	100.0%	0.0%	53	58	-5	17,055	19,688	86.6%	46.7	53.1	-6.3
	9月	17	17	100.0%	100.0%	0.0%	56	58	-2	19,567	26,132	74.9%	57.6	70.2	-12.7
	10月	17	17	100.0%	93.8%	6.3%	56	54	2	25,308	26,772	94.5%	64.6	70.3	-5.7
	11月	17	17	100.0%	100.0%	0.0%	58	54	4	21,561	25,685	83.9%	56.3	71.0	-14.7
	12月	17	17	100.0%	93.8%	6.3%	63	60	3	19,319	21,806	88.6%	51.0	61.3	-10.3
	2016年1月	17	17	100.0%	100.0%	0.0%	60	61	-1	19,386	24,438	79.3%	54.9	66.6	-11.7
	2月	17	17	100.0%	100.0%	0.0%	58	59	-1	21,132	25,435	83.1%	59.2	72.7	-13.5
	3月	17	17	100.0%	100.0%	0.0%	60	51	9	24,477	25,282	96.8%	61.8	68.5	-6.7
東北	2015年4月	93	93	100.0%	100.0%	0.0%	472	424	48	113,471	120,714	94.0%	67.9	76.4	-8.6
	5月	95	95	100.0%	100.0%	0.0%	479	455	24	103,246	118,120	87.4%	66.8	76.7	-9.9
	6月	97	97	100.0%	100.0%	0.0%	491	429	62	119,524	129,216	92.5%	65.6	80.7	-15.1
	7月	97	97	100.0%	100.0%	0.0%	486	453	33	107,296	122,001	87.9%	58.7	72.7	-13.9
	8月	98	98	100.0%	100.0%	0.0%	496	459	37	90,046	95,481	94.3%	57.6	66.0	-8.4
	9月	98	98	100.0%	100.0%	0.0%	520	455	65	105,826	120,971	87.5%	64.3	76.5	-12.2
	10月	99	99	100.0%	100.0%	0.0%	521	442	79	125,186	140,278	89.2%	69.7	81.8	-12.1
	11月	100	100	100.0%	100.0%	0.0%	517	496	21	117,396	123,194	95.3%	70.8	81.7	-10.9
	12月	99	99	100.0%	100.0%	0.0%	523	457	66	101,623	112,097	90.7%	62.0	71.3	-9.3
	2016年1月	99	99	100.0%	100.0%	0.0%	528	484	44	102,687	119,740	85.8%	64.1	75.6	-11.5
	2月	98	98	100.0%	100.0%	0.0%	515	470	45	117,309	120,696	97.2%	68.9	65.9	3.0
	3月	100	100	100.0%	100.0%	0.0%	511	476	35	120,602	126,926	95.0%	65.4	72.0	-6.6
東京	2015年4月	18	18	100.0%	85.0%	15.0%	92	95	-3	50,290	60,291	83.4%	168.8	208.6	-39.9
	5月	18	18	100.0%	94.7%	5.3%	98	94	4	45,014	63,192	71.2%	175.2	205.8	-30.7
	6月	17	17	100.0%	94.7%	0.0%	83	98	-15	47,146	64,250	73.4%	169.0	205.3	-36.3
	7月	17	16	94.1%	100.0%	-5.9%	82	98	-16	43,440	60,760	71.5%	156.3	176.1	-19.9
	8月	17	15	88.2%	89.5%	-1.2%	70	93	-23	39,272	50,282	78.1%	172.2	187.6	-15.4
	9月	17	17	100.0%	94.7%	5.3%	85	80	5	40,885	57,665	70.9%	161.0	197.5	-36.5
	10月	17	17	100.0%	94.7%	5.3%	80	102	-22	51,902	68,498	75.8%	198.9	218.1	-19.3
	11月	17	17	100.0%	84.2%	15.8%	81	66	15	48,554	56,245	86.3%	191.2	236.3	-45.2
	12月	17	17	100.0%	94.4%	5.6%	95	90	5	44,759	56,005	79.9%	180.5	203.7	-23.2
	2016年1月	17	17	100.0%	77.8%	22.2%	95	78	17	42,920	50,774	84.5%	184.2	240.6	-56.4
	2月	17	17	100.0%	100.0%	0.0%	99	95	4	46,737	53,361	87.6%	181.2	203.7	-22.5
	3月	17	17	100.0%	84.2%	15.8%	88	103	-15	52,966	54,235	97.7%	191.2	215.2	-24.0
関東	2015年4月	85	85	100.0%	92.5%	7.5%	543	533	10	91,364	102,301	89.3%	60.3	65.3	-5.0
	5月	84	83	98.8%	98.9%	-0.1%	532	553	-21	77,060	103,785	74.2%	57.2	63.1	-5.8
	6月	82	80	97.6%	92.6%	-1.2%	512	528	-16	98,577	106,831	92.3%	65.5	67.4	-1.8
	7月	82	82	100.0%	100.0%	0.0%	536	554	-18	85,202	104,103	81.8%	55.6	59.2	-3.6
	8月	82	79	96.3%	100.0%	-3.7%	504	555	-51	75,910	92,388	82.2%	58.9	61.4	-2.5
	9月	82	79	96.3%	97.8%	-1.5%	511	559	-48	76,889	101,124	76.0%	59.4	64.2	-4.8
	10月	82	74	90.2%	96.8%	-6.5%	485	570	-85	87,460	111,463	78.5%	66.2	69.2	-3.0
	11月	81	80	98.8%	92.3%	6.5%	526	514	12	91,872	97,824	93.9%	70.1	74.4	-4.3
	12月	80	76	95.0%	100.0%	-5.0%	437	557	-120	87,553	99,642	87.9%	69.8	66.7	3.1
	2016年1月	80	79	98.8%	100.0%	-1.2%	492	548	-56	79,491	96,402	82.5%	63.8	67.2	-3.4
	2月	80	79	98.8%	100.0%	-1.2%	505	572	-67	92,144	101,970	90.4%	67.5	72.2	-4.7
	3月	80	77	96.3%	100.0%	-3.7%	498	553	-55	91,788	103,224	88.9%	64.4	64.0	0.4
北信越	2015年4月	15	12	80.0%	81.3%	-1.2%	53	42	11	17,793	20,343	87.5%	79.1	76.8	2.3
	5月	15	11	73.3%	87.5%	-14.2%	45	42	3	13,757	23,181	59.3%	75.2	88.8	-13.6
	6月	15	12	80.0%	93.8%	-13.8%	56	49	7	17,540	26,560	66.0%	74.6	90.0	-15.4
	7月	15	11	73.3%	81.3%	-7.9%	49	44	5	12,169	23,635	51.5%	57.7	93.4	-35.7
	8月	15	10	66.7%	87.5%	-20.8%	50	53	-3	11,438	19,150	59.7%	61.2	87.8	-26.7
	9月	15	11	73.3%	81.3%	-7.9%	51	45	6	13,165	20,883	63.0%	68.9	96.2	-27.3
	10月	15	11	73.3%	80.0%	-6.7%	46	45	1	14,933	24,953	59.8%	74.7	110.4	-35.7
	11月	15	10	66.7%	80.0%	-13.3%	30	46	-16	13,422	20,482	65.5%	79.9	101.4	-21.5
	12月	15	12	80.0%	86.7%	-6.7%	55	50	5	12,261	20,418	60.0%	60.7	89.2	-28.5
	2016年1月	15	11	73.3%	80.0%	-6.7%	40	49	-9	12,833	20,067	64.0%	72.5	97.4	-24.9
	2月	15	11	73.3%	80.0%	-6.7%	36	46	-10	14,885	19,597	76.0%	77.1	95.6	-18.5
	3月	13	12	92.3%	66.7%	25.6%	37	29	8	17,677	20,432	86.5%	86.7	113.5	-26.9
中部	2015年4月	17	14	82.4%	94.1%	-11.8%	102	112	-10	15,680	20,645	76.0%	58.7	67.2	-8.5
	5月	17	13	76.5%	82.4%	-5.9%	78	84	-6	14,048	18,683	75.2%	61.9	70.2	-8.4
	6月	17	12	70.6%	82.4%	-5.9%	95	102	-7	16,072	19,771	81.3%	68.1	70.9	-2.8
	7月	17	13	76.5%	70.6%	5.9%	82	65	17	16,139	16,620	97.1%	60.9	67.3	-6.4
	8月	17	12	70.6%	76.5%	-5.9%	72	80	-8	13,643	17,015	80.2%	62.0	74.0	-12.0
	9月	17	12	70.6%	70.6%	0.0%	59	84	-25	13,912	17,616	79.0%	62.1	74.0	-11.9
	10月	17	13	76.5%	82.4%	-5.9%	70	101	-31	20,789	21,669	95.9%	79.0	77.7	1.4
	11月	17	13	76.5%	82.4%	-5.9%	78	85	-7	17,582	19,074	92.2%	73.9	76.3	-2.4
	12月	17	13	76.5%	70.6%	5.9%	79	79	0	16,383	16,511	99.2%	68.8	73.4	-4.5
	2016年1月	17	13	76.5%	70.6%	5.9%	84	65	19	15,404	16,934	91.0%	71.3	72.7	-1.4
	2月	17	14	82.4%	88.2%	-5.9%	84	104	-20	17,120	17,987	95.2%	67.7	67.1	0.6
	3月	16	15	93.8%	82.4%	11.4%	98	100	-2	18,037	16,984	106.2%	62.6	61.1	1.5

2015年度 支社別「障がい者のクロネコ DM便配達実績」時系列集計表

	報告年月	事業参入 施設数	月次報告入 力済施設数	入力率			クロネコ DM便配達従事者人数			クロネコ DM便配達冊数			1施設1日当り配達冊数		
				実績	前年	前年差	合計	前年	前年差	実績	前年	前年比	実績	前年	前年差
関西	2015年4月	25	21	84.0%	95.8%	-11.8%	126	157	-31	43,214	34,866	123.9%	105.7	82.8	22.8
	5月	25	24	96.0%	95.8%	0.2%	132	148	-16	31,364	33,684	93.1%	75.8	84.8	-9.1
	6月	26	19	73.1%	84.0%	-22.9%	135	138	-3	32,981	35,263	93.5%	82.5	90.2	-7.7
	7月	26	20	76.9%	83.3%	-6.4%	139	122	17	30,935	31,502	98.2%	74.0	80.6	-6.6
	8月	26	23	88.5%	91.7%	-3.2%	148	142	6	32,200	27,743	116.1%	76.3	74.6	1.7
	9月	26	21	80.8%	87.5%	-6.7%	119	143	-24	30,157	28,684	105.1%	77.5	74.3	3.2
	10月	26	21	80.8%	87.5%	-6.7%	113	135	-22	34,534	31,741	108.8%	84.2	77.8	6.4
	11月	26	19	73.1%	83.3%	-10.3%	101	124	-23	35,123	29,339	119.7%	100.6	88.1	12.5
	12月	26	21	80.8%	87.5%	-6.7%	112	144	-32	31,153	31,949	97.5%	84.9	85.7	-0.8
	2016年1月	26	20	76.9%	95.8%	-18.9%	110	152	-42	31,836	35,731	89.1%	89.9	90.7	-0.8
	2月	26	21	80.8%	75.0%	5.8%	111	126	-15	33,676	25,673	131.2%	86.1	83.6	2.5
	3月	25	25	100.0%	92.3%	7.7%	144	149	-5	40,350	41,815	96.5%	84.1	86.8	-2.7
中国	2015年4月	13	13	100.0%	100.0%	0.0%	71	68	3	26,686	28,875	92.4%	108.0	102.8	5.3
	5月	13	13	100.0%	100.0%	0.0%	67	67	0	24,087	28,204	85.4%	110.0	106.8	3.2
	6月	13	13	100.0%	100.0%	0.0%	66	69	-3	30,016	33,594	89.3%	118.6	120.4	-1.8
	7月	13	12	92.3%	85.7%	6.6%	59	66	-7	27,275	26,818	101.7%	112.2	114.1	-1.9
	8月	13	12	92.3%	85.7%	6.6%	59	53	6	24,308	20,777	117.0%	116.3	101.4	15.0
	9月	13	12	92.3%	100.0%	-7.7%	57	66	-9	28,436	27,538	103.3%	131.0	108.0	23.0
	10月	13	12	92.3%	100.0%	-7.7%	59	67	-8	33,856	36,958	91.6%	149.1	131.5	17.6
	11月	13	13	100.0%	92.9%	7.1%	65	69	-4	32,017	30,577	104.7%	151.0	135.3	15.7
	12月	13	11	84.6%	100.0%	-15.4%	53	70	-17	23,118	31,861	72.6%	116.8	120.2	-3.5
	2016年1月	12	11	91.7%	100.0%	-8.3%	62	70	-8	29,235	29,226	100.0%	145.4	116.0	29.5
	2月	12	11	91.7%	100.0%	-8.3%	63	71	-8	29,181	30,467	95.8%	143.0	123.8	19.2
	3月	13	13	100.0%	100.0%	0.0%	65	71	-6	27,524	30,613	89.9%	111.4	110.5	0.9
四国	2015年4月	7	7	100.0%	100.0%	0.0%	24	25	-1	5,223	7,626	68.5%	44.3	65.2	-20.9
	5月	7	6	85.7%	100.0%	-14.3%	13	26	-13	3,385	7,009	48.3%	37.6	59.9	-22.3
	6月	7	6	85.7%	100.0%	0.0%	11	26	-15	2,714	8,039	33.8%	27.1	71.8	-44.6
	7月	7	7	100.0%	85.7%	14.3%	14	23	-9	5,001	5,037	99.3%	42.4	54.8	-12.4
	8月	7	7	100.0%	100.0%	0.0%	14	22	-8	4,441	4,499	98.7%	43.1	61.6	-18.5
	9月	7	6	85.7%	100.0%	-14.3%	12	23	-11	2,331	4,193	55.6%	26.8	49.9	-23.1
	10月	7	7	100.0%	83.3%	16.7%	15	23	-8	5,631	3,766	149.5%	47.7	52.3	-4.6
	11月	7	4	57.1%	100.0%	-42.9%	8	25	-17	972	5,107	19.0%	19.8	45.6	-25.8
	12月	7	7	100.0%	100.0%	0.0%	12	23	-11	4,205	5,304	79.3%	37.5	45.7	-8.2
	2016年1月	7	6	85.7%	100.0%	-14.3%	12	23	-11	3,212	4,823	66.6%	38.7	46.8	-8.1
	2月	7	6	85.7%	85.7%	0.0%	10	21	-11	4,035	3,087	130.7%	48.6	35.9	12.7
	3月	7	7	100.0%	100.0%	0.0%	10	24	-14	4,600	5,396	85.2%	40.4	44.2	-3.9
九州	2015年4月	28	27	96.4%	71.9%	24.6%	114	114	0	62,490	63,033	99.1%	98.9	117.8	-18.9
	5月	26	26	100.0%	68.8%	31.3%	113	119	-6	56,168	62,364	90.1%	95.7	117.9	-22.2
	6月	26	25	96.2%	100.0%	-3.8%	109	138	-29	61,043	74,327	82.1%	101.6	111.8	-10.2
	7月	26	23	88.5%	86.2%	2.3%	91	107	-16	56,134	64,811	86.6%	101.3	109.7	-8.3
	8月	25	25	100.0%	86.2%	13.8%	107	123	-16	49,047	59,587	82.3%	89.7	109.3	-19.7
	9月	25	25	100.0%	100.0%	0.0%	108	127	-19	51,438	71,248	72.2%	90.7	117.4	-26.7
	10月	25	25	100.0%	100.0%	0.0%	110	129	-19	62,138	78,896	78.8%	108.1	123.5	-15.4
	11月	25	25	100.0%	100.0%	0.0%	112	124	-12	63,820	74,753	85.4%	113.2	127.6	-14.4
	12月	25	24	96.0%	81.5%	14.5%	106	107	-1	46,729	60,813	76.8%	90.7	124.6	-33.9
	2016年1月	25	24	96.0%	100.0%	-4.0%	107	119	-12	50,873	66,512	76.5%	102.4	113.3	-10.9
	2月	24	24	100.0%	96.3%	3.7%	117	114	3	50,749	63,820	79.5%	96.1	115.6	-19.5
	3月	24	23	95.8%	100.0%	-4.2%	107	122	-15	50,767	71,353	71.1%	92.8	107.6	-14.8
沖縄	2015年4月	1	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	—	—	—	—
	5月	1	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	—	—	—	—
	6月	1	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	—	—	—	—
	7月	1	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	—	—	—	—
	8月	1	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	—	—	—	—
	9月	1	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	—	—	—	—
	10月	1	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	—	—	—	—
	11月	1	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	—	—	—	—
	12月	1	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	—	—	—	—
	2016年1月	1	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	—	—	—	—
	2月	1	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	—	—	—	—
	3月	1	1	100.0%	0.0%	100.0%	2	0	2	117	0	—	5.6	—	—
全国	2015年4月	318	305	95.9%	91.9%	4.0%	1,648	1,626	22	448,260	483,769	92.7%	78.2	84.5	-6.3
	5月	317	305	96.2%	93.8%	2.4%	1,608	1,645	-37	388,574	481,813	80.6%	74.6	79.0	-4.4
	6月	317	297	93.7%	94.4%	-0.7%	1,609	1,632	-23	446,993	523,410	85.4%	77.2	89.0	-11.9
	7月	318	298	93.7%	93.8%	-0.0%	1,593	1,591	2	403,270	479,762	84.1%	69.1	80.1	-11.0
	8月	318	298	93.7%	94.7%	-1.0%	1,573	1,638	-65	357,360	406,610	87.9%	69.6	77.7	-8.1
	9月	318	298	93.7%	95.3%	-1.6%	1,578	1,640	-62	382,606	476,054	80.4%	73.4	84.9	-11.5
	10月	319	296	92.8%	95.0%	-2.2%	1,555	1,668	-113	461,737	544,994	84.7%	83.0	92.0	-9.0
	11月	319	298	93.4%	93.1%	0.3%	1,576	1,603	-27	442,319	482,280	91.7%	85.3	94.0	-8.7
	12月	317	297	93.7%	94.4%	-0.7%	1,535	1,637	-102	387,103	456,406	84.8%	75.1	84.6	-9.5
	2016年1月	316	297	94.0%	95.7%	-1.7%	1,590	1,649	-59	387,877	464,647	83.5%	78.2	86.5	-8.3
	2月	314	298	94.9%	95.6%	-0.7%	1,598	1,678	-80	426,968	462,093	92.4%	80.0	83.7	-3.7
	3月	313	307	98.1%	95.7%	2.4%	1,620	1,678	-58	448,905	496,260	90.5%	76.8	82.7	-5.9

東日本大震災復興支援事業



震災から5年 彼らはいま

再生へ向けて歩み続ける、いくつかの助成先を訪ねました

2011年3月11日に発生した東日本大震災は、人々から大切なものを奪っていきました。ヤマトグループは「宅急便1個につき10円の寄付」をヤマト福祉財団を通して行うことを発表。さらに、グループ以外の多くの方からも募金をいただき「東日本大震災 生活・産業基盤復興再生募金」として、計31件、総額142億1849万8102円の助成を行いました。

財団では各助成先を訪問し、みなさまに復興の様子をお伝えしてきました。あれから5年、あの時出会った方たちは、現場は、いまどうなっているのでしょうか。

「東日本大震災 生活・産業基盤復興再生募金」助成事業一覧

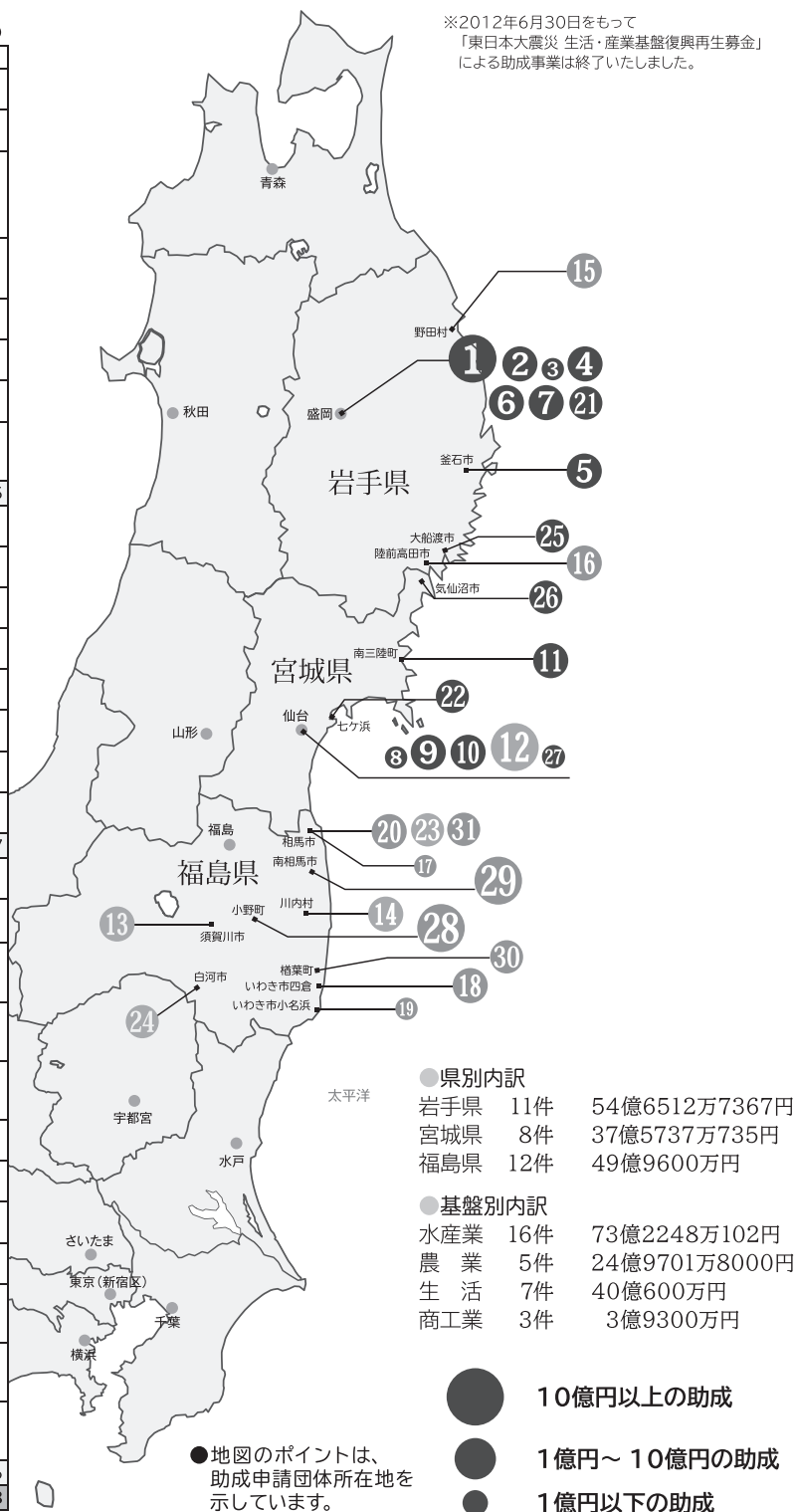
【助成総額 最終報告】事業件数累計 31件 助成金額累計 142億1849万8102円 (応募総数174件 997億5400万円)

県別・事業別助成先一覧

(単位: 百万円)

県	事業名	水産	農業	生活・商工	県別合計
岩手県	① 水産加工事業者生産回復支援事業	1,565			
	② 魚価安定緊急対策事業	193			
	③ ⑦ ②① 水産業共同利用施設復旧支援事業	1,789			
	④ ⑥ 製氷・貯氷施設回復支援事業	980			
	⑤ 釜石市 魚市場経営基盤再生事業	185			
	⑮ 野田村保育所再建事業			319	
	⑯ 陸前高田市竹駒保育園の新設・再建事業			259	
	⑳ 「いわて三陸」夢あふれる漁業モデル創生プロジェクト	172			
県別・基盤別合計		4,887	0	578	5,465
宮城県	⑧ 海底清掃資材購入支援事業	99			
	⑨ 高鮮度水産物供給施設整備事業	600			
	⑩ 養殖用資機材等緊急整備事業	500			
	⑪ 南三陸町 水産業基盤施設緊急復興事業	370			
	⑫ 農業生産復旧緊急対策事業		1,322		
	㉒ セキ浜水産振興センター建設事業	590			
	㉔ 気仙沼 仮設水産加工場施設整備整備事業	217			
	㉕ 海底清掃資材購入支援事業	58			
県別・基盤別合計		2,435	1,322	0	3,757
福島県	⑬ JA すがわ岩瀬農業生産再生事業		275		
	⑭ 川内村高原農産物栽培工場建設事業		300		
	⑰ 相馬広域こころのケアセンター：なごみの新設事業			30	
	⑱ よつら港地域振興施設「交流館」復興事業			210	
	⑲ 「アクアマリンふくしま」熱源設備改修事業			80	
	㉓ 相馬港海上コンテナ物流基盤整備事業		103		
	㉔ 農地復旧復興(純国産大豆)プロジェクト		300		
	㉕ 地域農業再生基幹施設緊急整備事業		300		
	㉖ 公立小野町地方総合病院整備事業			2,047	
	㉗ 鹿島厚生病院併設介護老人保健施設厚寿苑の新設事業			1,030	
	㉘ 植葉町 仮設校舎敷地造成工事、仮設校舎設置事業			191	
	㉙ 福島県立自然公園松川浦周辺の海岸防災林再生事業			130	
県別・基盤別合計		0	1,175	3,821	4,996
総計		7,322	2,497	4,399	14,218

※2012年6月30日をもって「東日本大震災 生活・産業基盤復興再生募金」による助成事業は終了いたしました。



【宮城県】

●助成事業：8件 ●総額：37億5737万735円



南三陸町

- 第1次助成…水産業基盤施設緊急復興事業（助成金：3億7050万円、申請団体：南三陸町）
- 第1次助成…高鮮度水産物供給施設整備事業（助成金：6億円、申請団体：宮城県）



水揚げ量は9割近くまで回復、海業で町の活気を取り戻す

南三陸町には、忘れられない光景があります。それは津波で骨組みだけとなった南三陸町防災対策庁舎。周辺にあった市場設備や住宅などはすべて津波に流され、ガラんとした跡地だけが広がっていました。今回訪ねてみると、震災遺構として保存されている防災庁舎の周りには、山のように盛り土がされていました。被災地の復旧・復興は進んだと言われていますが、その道のりは長く厳しく、まだこれからです。この状況は、他の被災地も同様。それでも地域産業を復興させ、住まいを、仕事を取り戻し、故郷の地に足をつけて暮らすために、多くの方が地道な努力を続けています。

●よいものをつくり続けることが一番

宮城県漁業協同組合 志津川支所運営委員会の佐々木憲雄委員長もそんなお一人。

「今年は、サケが昨年よりやや少ないですが、ワカメ、カキ、ホタテ、ホヤなどは順調です。水揚げは震災前の8～9割まで回復しました」と佐々木委員長。思い起こせば、南三陸町の仮設魚市場は、本助成の中でどこよりも早く復興に向けて動き出し、目に見える形となった事例の一つです。

「津波で破壊された魚市場を早く復旧しないと、苦労して育て放流したシロザケの遡上に間に合なくなる。しかし、国の助成だと仮設の市場・作業所は承認され難い」と南三陸町は本助成に申請。急ピッチで仮設魚市場を建設し、震災から約7ヵ月後の2011年10月24日に初セリを行うことができました。あの時の喜びに満ちた市場の様子は、忘れることができません。翌年の仮設ワカメ作業所や仮設カキ処理場が完成した際、2013年のゴールデンウィークに震災後初のカキを出荷の時などにも南三陸町を来訪。お会いする度に、佐々木委員長の表情は明るく変わっていきました。

「南三陸町はカキ養殖が盛んな町ですが、養殖イカダの数が増え過ぎて混雑し、カキが大きく育ちませんでした。震災後は、養殖イカダの数を制限することでカキを育てる環境を整え、美味しく身の大きなカキを育てることに成功しています。今後もよいものをつくり続けることが大事だと考えています。6月1日に本市場もスタートの予定ですし、これからですね」とほっとした表情で話しています。

●この市場を南三陸町復興の弾みに

南三陸町の志津川漁港には、県が申請した高鮮度水産物供給施設整備事業で2012年3月にスラリーアイス製氷機も導入されました。「氷だけでなく、油や資材も補給できる体制を整え、より多くの漁師さんが利用しやすい本市場を」と話すのは志津川支所の佐藤俊光支所長。「かつてワカメの収穫時などは、お年寄りから孫までが、早朝から一家総出で作業をしたものです。しかし、いまは仕事や住む場所を求めて、若い世代は町を離れ、お年寄りとは別々に暮らす家庭も多くなっています」。

現在、市場で働いている方の多くが、市場から離れた場所にある仮設住宅から通っているため、以前のように思い通りに働くことができません。「それでも漁協関係者が新しいカキ小屋も用意し、今年から稼働予定です。また、3・4社が加工場を建設中で、これからは雇用も増えてくると期待されています」と話す佐藤支所長の顔は自然と笑顔に。魚市場の近くには商店街が移転する計画もあり、海業を核に南三陸町はかつての活気を取り戻しはじめています。



南三陸町防災対策庁舎の周りは山のように盛り土がされている



志津川漁港に次々と水揚げされるシロザケは宮城県の顔となる水産物



養殖イカダの数を減らしカキが成長しやすい環境へ。
「こんな立派なカキに成長しました」と喜ぶ市場のみなさん



仮設カキ処理場で行われるカキ打ち（殻むき）



本市場のスタートは6月1日（予定）



セブンスサイド

●第1次助成…養殖用資機材等緊急整備事業（助成金：5億円、申請団体：宮城県）

●第4次助成…セブンスサイド水産振興センター建設事業（助成金：5億9000万円、申請団体：宮城県漁業協同組合）

地元の海に適した種苗を開発、セブンスサイドのブランドを全国に発信したい

宮城県内では、さまざまな養殖業者がノリ、カキ、ワカメ、サケなどの養殖を行っていましたが、津波による被害は甚大で「このままでは海を離れるしかない」という状況に追い込まれました。彼らが立ち直るためには、養殖に必要な資機材などを助成すること。しかし、養殖用資機材は国の支援対象にはなっていません。そこで宮城県は民間の本助成を活用し、石巻、鮎川、牡鹿などの養殖業者を支援しました。

国内ノリ生産の最北端の主産地であるセブンスサイド町の養殖業者もこの助成で再建をスタート。ところが「他所からノリ種苗をまわしていただき養殖をはじめてみたが、やはりセブンスサイドの海に適したものの方がうまくいく。宮城県の誇る“みちのく寒流のり”は、やはり地元の種苗でなければ」という養殖業者の要望が高まってきました。宮城県内で唯一ノリ種苗の生産を行っていた**セブンスサイド水産振興センター**は、震災で完全に機能がストップした状態です。設備はもちろん大切に育てていたノリ種苗が入ったフラスコの大半が流され、かろうじて保存できたのは一握りだけ。そこで宮城県漁業協同組合は本助成に申請し、2013年10月、ノリ種苗培養棟・栽培種苗生産棟・資材・機材保管庫を備えた3階建ての新センターを建設。新センターには、寒さに弱いノリ種苗のための温度コントロール設備、病気から守る海水殺菌設備なども備えています。

●豊かなセブンスサイドの海の幸を取り戻す

「全国からノリの糸状体を集め、宮城の海に最適な種苗の開発を目指しています。地元の生産者からは、以前よりも早く収穫できるし、品質もよいと評価をいただいています」と**宮城県漁業協同組合**の小野秀悦専務理事。初出荷数は3万枚とこれまでにない量になりました。

「宮城のノリは、パリッとしてコンビニのおにぎりなどに向いています。そんな特性をアピールしていきたいですね。セブンスサイドの名を入れてブランド化する話も出ています」と小野専務理事は話しています。

セブンスサイド水産振興センターでは、豊かなセブンスサイドの恵みを復活させるため、ナマコ、アサリ、ウニ、ヒラメ、ホシガレイなどの開発も進めています。

「私たちが、いま特に力を入れているのがナマコです。ナマコの養殖プールには、放流できるサイズの約30mmまで育ったものが3000匹近くいます。1～5mmの小さいサイズは1万5000匹いますが、どのサイズまで育てて放流するのがよいかを検討中です。目標は10万匹で、セブンスサイド以外の県内の浜にも放流し、再生に尽力したいと考えています」。

●仕事を再開でき、ノリ生産者に笑顔が戻る

宮城県漁業協同組合 セブンスサイド支所運営委員会委員長の**齋藤吉勝さん**は、津波で流されてしまったノリ生産工場を、6名の仲間と力を合わせて再建しました。「最盛期には、助成で購入した毎時7000枚のノリを生産できる機械をフル稼働させて、1日7～8万枚を生産しています。震災当時は、みんな下を向いてばかりいましたが、いまは毎日笑顔で働いています」。

震災前、セブンスサイド町は全国5位の水揚げ量を誇っていました。現在、セブンスサイドのノリ生産者は約46名、生産量は9900万枚に増加しましたが、当初の目標にはまだ届いていません。「人も生産量もすぐに増えることは難しいでしょう。それでもチリヂリになっていた者たちがここまでセブンスサイドに戻ってこれたこと。働く場を取り戻し、生活基盤も安定してきたことが、なによりもありがたいですね。これまで個人経営だった者たちがいまは共同体として働いています。震災で失ったものがそれぞれ違うので、基準をどこに置いて考えるべきかが悩みのタネではありますが、それでも5年目に向けてよりよいものをつくろうと、全員が明るく前向きに進んでいます」。

いまは地元の海で働き、稼ぐ喜びを、若い人たちに伝えていくことが大切だと話す齋藤委員長。地元の小・中学校などの見学会を積極的に受け入れ、子どもたちに、自分たちの働く姿を見学してもらうことで、多くのことを学んでほしいと願っています。



全国からノリの糸状体を集め選抜し最も宮城の海に適した種苗を培養



セブンスサイド水産振興センターでは浜に放流するナマコやウニも育てている



齋藤吉勝委員長の工場では助成で購入した毎時約7000枚のノリ生産機が大活躍



他にもノリの熟成機械、乾燥・袋詰め機械などを導入



仕事ができる、安心して暮らせる喜びがなによりだと工場で働くみなさん



気仙沼市 ●第5次助成…仮設水産加工工場施設設備整備事業（助成金：2億1700万円、申請団体：気仙沼水産加工業協同組合）

組合が建設した共同作業所で、水産加工のプロたちが事業を再建

生鮮カツオの水揚げで全国一を誇る気仙沼市には、水産加工工場が林立。水産加工業者は、自宅と工場を兼ね備えた小規模なところが多く、施設や設備も数十年かけて充実させてきました。そんな大切なすべてを津波はあっという間に奪い去ります。設備はもちろん、原料や加工品も大半が流されてしまい、着の身着のままで辛うじて避難した状態でした。

「苦しい時こそ、仲間で力を合わせていくことが必要。組合員に再建のチャンス」と**気仙沼水産加工業協同組合**は、共同の作業場として仮設水産加工団地（母体田地区水産加工団地）の建設を計画。5棟の仮設工業団地を敷地約5000m²（約1500坪）につくることにしました。しかし、国や団体からの支援は建物のみで、団地の内装から構内の排水処理施設や道路などのインフラ、さらに各組合員が必要とする加工に必要な機械まで、すべてを自前で用意しなければなりません。このままでは動き出すことはできないと、気仙沼水産加工業協同組合は、本助成に申請しました。

●消費者目線でより喜ばれる商品を

加工団地に入った組合員は計9社。カツオやマグロの角煮、総菜などを製造する**マルチ村上商店**もその一つです。

「なんとかなりそうだ、と思えたのは一昨年ぐらいからでしょうか」と村上祐一専務は振り返ります。「再開できたのは、震災から1年半後でした。その間に、取引先は他県の加工業者に切り替えてしまい、その年の売上は、震災前の30%程度にしかありませんでした」。

以前と同じやり方や商品だけで、売上を改善できるのだろうかとか村上専務は悩みます。かつてのライバルで、いまは同じ場所でも再建を目指す水産加工のプロたちとも情報を交換。自社の加工技術でどのような物がつくれるのか、いま市場が、消費者が求める商品とはなにかを見直すことで、新たな突破口を開こうと考えました。

「これまでボリュームが多かった商品を購入しやすいサイズのパッケージに変えたり、味に変化を付けるなど、消費者目線でいろいろと工夫しました。さらに新しい商品開発にも取り組み、一歩前に踏み出すことにしたのです。その成果が実り、次第に取引先も増え、翌年は60%、3年目で75%近くまで回復しました」と村上専務は話しています。

●それぞれの得意とする技で信頼を

気仙沼市には、カツオ以外にもサバやサンマ、メカジキ、サメなど豊富な魚が水揚げされ、その素材を活かす独自の加工技術で、組合員たちはさまざまな加工品を製造しています。

大弘水産（株）は、燻製技術が売りの会社です。小野寺大輔専務取締役は「うちはサバの味噌漬けなどもつくっていますが、主力はメカジキの燻製やメサバ、炙りなどの洋風総菜なので、ホテルや洋風の居酒屋などで使っていただいています。時にはムール貝やヒラメなどで燻製品がつかれないかと、新しい依頼もありますが、再開時に熟練した技術・経験を持つ従業員が戻ってきてくれましたので心強いです」と話しています。

「気仙沼の魅力を発信できる、中身のある製品をつくるのが大事」。気仙沼水産加工業協同組合の各組合員は、そんな共通の意識を持ってそれぞれ独自の工夫を続けています。



リアス式海岸がもたらす豊かな海の幸が気仙沼港に水揚げされる



それぞれの得意とする加工技術を活かし仮設水産加工団地で9社が再建した



一つひとつ丁寧に手づくりされるマルチ村上商店のカツオの生利節



全社員一丸となり消費者に喜ばれる商品づくりを目指している



大弘水産は燻製技術とその商品力で新たな顧客開拓に成功した



社員が戻ってきてくれて本当に心強いと大弘水産の小野寺 大輔専務



山元町、東松島市、名取市ほか ● 第2次助成…農業生産復旧緊急対策事業（助成金：13億2201万8000円、申請団体：宮城県）

安全・安心な農作物づくりを、若い世代に伝えつないでいきたい

沿岸部から内陸部まで、宮城県内の多くの田畑、農業機械などが津波に流されました。そこに追い討ちをかけるように原発事故による風評被害も。年齢的にもまた1からやり直すのは厳しいと、農業を断念される方も現れる中、一刻も早く営農再開を果たしたいと会社を立ち上げる農業生産者も現れます。そんな方たちを応援するため、宮城県は本助成に申請。農業機械の購入費やビニールハウスの建設費などを支援しました。復旧対象は、農地約1万3000ha、水稲約7万1020ha、園芸924haなどにわたっています。

●風評被害を跳ね返す新しい方法を

東北最大のいちご産地である亶理町、山元町の海岸線沿いを走る街道・通称『ストロベリーライン』の周りには、見渡す限りいちごのパイプハウスが広がっていました。それが、一瞬にして津波の中に。約96haあった農園の約95%が被害に遭いました。わずかに残ったハウスの中にも、泥やガレキが流れ込み手のつけられない状態に。それでもボランティアの方たちの協力を得ながら復旧に立ち向かう姿は、我々の心を打ちました。そんな中、「少しでも地元の雇用の場になれば」と3軒の農家4人で会社を立ち上げたのが、山元町にある**山元いちご農園（株）**です。岩佐 隆代表取締役とはじめてお会いした時は、やっと手配できた6万4000本のいちごの苗を定植し、2013年の収穫に向けて4人の仲間と奮闘している最中でした。

「土、地下水が塩害に遭いましたし、原発事故による風評被害も心配でした。そこで安心・安全ないちごづくりを目指してはじめたのが、温度や養液の管理などをコンピュータ制御できるビニールハウスでの高設栽培です」と岩佐さん。8棟（約1万7000m²規模）のハウスの総工費は約4億6000万円。国の助成を差し引いても残り約2億8000万円の負担を抱えていたので、県から本助成で援助いただけたことがとてもありがたかったと話します。

「1年目の売上はわずか1500万円。どうなることかと思いましたが、昨年は1億7000万円に。その約4割がいちご狩りの収益です。年々お客様は増え、昨年は5万人がここを訪れています。来年の目標は6万人です」と楽しそうに話す岩佐さん。現在、山元いちご農園ではパートを含めると約45人がいちごの栽培に従事しています。さらに雇用の場を広げ、地域活性のきっかけをつくりたいと、津波で壊滅した宮城県唯一の山元のワイン工場を再開させるため工場建設も進めています。

●グローバルギャップも取得して信頼を高める

他にも宮城県では、さまざまな農家が農業法人として再建に取り組んでいます。

武田真吾取締役は「未来はもっといづなる（よくなるの方言）」を合い言葉に、4人の仲間と東松島市で**（株）イグナルファーム**を立ち上げました。法人でハウスと露地栽培をバランスよく織り交ぜて、いろいろな野菜をつくっています。

「私の担当はハウスでのキュウリ栽培です。キュウリは、毎日、根の状態や茎の太さを見極めて大切に育てていかなければなりません。でも6カ月と収穫時期が長く、採れる量も多いので、愛情をかけた分、しっかりと応えてくれるかわいい野菜です。パートの中には、農業経験が浅い者もいますので、収穫のタイミングなどを見極め的確に指示できるようにしています」。

キュウリを収穫した後はトマトを植え、無駄なくハウスを稼働させ、パートの方には1年を通して働いてもらえるようにしています。トマトを植えることは、連作障害防止にもなり一石二鳥となります。そんな職人気質の技は、地域のお年寄りたちから学んできました。

「私たちはまだ若いですが、それぞれに培ってきた経験やノウハウがあり、この野菜づくりなら自分が一番と自負しています。1ha以上の規模でキュウリを栽培している農家は他にあまりいないと思います。うちの代表取締役は、毎日営業などに飛び回っていますが、彼もキュウリのプロなので、私のやり方を見ているとつい口を出したくなるみたいです。でもそこは私に任せてもらって、彼には新しい事業企画を考え、当社の可能性を広げてもらわないとね」と笑います。

イグナルファームは、新たな試みとして農業版ISOとも呼ばれるグローバルギャップも取得しています。「チェック項目がたくさんあり、認証取得には苦労しましたが、安全で信頼できる野菜であることのPRになりますから」と武田さん。今後は、国内はもちろん海外も視野に入れ、坪2万5000円以上の売上を目指しています。



ハウス内の温度や炭酸ガス濃度などはコンピュータで管理していると山元いちご農園の岩佐 隆さん



しっかりと品質管理され見た目も味も抜群の出来映えに



農園や売店でパートを含めると約45人がここで働いている



日々手をかけ美味しいキュウリを育てるイグナルファームの武田真吾さん



武田さんの手ほどきで若手も着実に育っている

●人とのつながりで6次産業化のアイデアを

「若い人が頑張っているといふアドバイスしたくなるんですよ」と話すのは、**農事組合法人仙台イーストカンリー**の佐々木 均代表理事。震災前から若林区で法人として耕作放棄地の管理・運営を行っていましたが、津波に田畑も農機具も流されてしまい、仲間からは「もうやめてしまおう」という声も出ました。

「いま諦めたら次に続く者がいなくなる、ここは我々、法人が踏みとどまらなといけないのだと説得しました。助成で農機具などを購入し、みんなで頑張って続いています」と話す佐々木さんはなかなかのアイデアマン。お米はおにぎりや豚汁のセットにして、幹線沿いにある店で販売。いまや1日800食以上の売り上げになっています。他にも米粉麺やスティックご飯なども開発中です。また、気仙沼市の仮設水産加工団地のみなさんと知り合う機会を得た佐々木代表理事は、海産物の加工品を弁当に使えないかと連絡を取り合い、お互いの売上拡大を狙っています。

「現在72haの田畑をお預かりしています。高齢となり農業を続けるのが辛くなってきたという方から、ぜひうちの土地もと声はかかっていますが、いまの人数でこれ以上は厳しいですね。でもこれからは、若い人たちの時代。うちの社員には、農業の枠にとらわれずにいろいろなところに出て人脈を広げなさいと話しています。彼らが、どんな人と出会い、自分なりに工夫してどこまでやれるか楽しみにしています。6次化を進めるにしても、大切なのは人とのつながり。そこから新しいアイデアも生まれてきますからね」と話しています。



生産したお米をおにぎりや加工品にして販売することで売上は飛躍的に向上



若い人たちの成長が楽しみと話す
仙台イーストカンリーの佐々木 均代表理事

●40年以上花一筋で頑張ってきたノウハウを活かして

津波に流された株が、泥に埋もれた中から自然に花を咲かせた**名取市花卉生産組合**のカーネーションは、“津波に負けないカーネーション”として有名になりました。副組合長の三浦洋悦さんは、この町で花づくりを続ける9件の農家の一つです。

「温室は骨組みだけが辛うじて残りましたが、中はゴミやヘドロでぐちゃぐちゃでした。もう花づくりを辞めてしまおうかと思いましたが、40年以上花一筋で頑張ってきたノウハウも愛着もありましたから、それを捨ててしまうのはもっと辛かった」と三浦さん。助成でハウスのサッシ、ボイラー、耕耘機を購入して約700坪のハウスを再建。北海道酪農学園大学の長谷川 豊教授が研究するパチルス菌の入った堆肥を入れるとヘドロの中でも花が咲くと言われ、半信半疑で試したところ、見事にカーネーションを咲かせることができました。

「花を見た時、諦めないでよかったと心から思いました」と三浦さん。

震災前の売上に対し、去年は8割程度。あと一息で以前の生産量を取り戻すところまできています。



苦労はしますがやっぱり花を育てるのが
楽しいと笑う三浦洋悦副組合長

●新しい花も加えて1年間生産できるように

同じように津波で泥だらけになったハウスの中で奮闘していた菅井俊悦前組合長は、現在、息子の菅井啓貴さんに花づくりを託し、耕作放棄地の再生を図る農業法人の副代表理事を兼務しています。

以前取材にお伺いした時、奥さんのお腹が大きかったと記憶にありましたが「子どもが生まれて、私も本腰を入れてやる気になりました」と啓貴さんは笑って話します。

「カーネーションは、6月に定植して育苗するため、夏場に出荷・売上を伸ばせるひまわりなどもはじめたいと考えています。父の方法をそのまま受け継ぐだけではなく、自分なりに研究したやり方を試してみたいのです」と啓貴さん。「このチャレンジで手応えを得れば、来年からは1000坪のハウスのうち700坪をカーネーションに、残り300坪をカーネーション以外の品種の栽培に当ててみたい。さらにハウスを拡大する計画も立っています」と意気盛んです。

「組合員中には、息子が会社勤めをしながらも手伝ってくれている者、また会社を辞めて後を継いでくれたという者もいて、組合全体で若返りしているという感じがありますね」と菅井前組合長はうれしそうに話します。



被災時は骨組みだけ、泥とガレキに埋もれていたハウスも助成で再建



菅井俊悦前組合長から息子の啓貴さんへ
カーネーションづくりは受け継がれていく

※他にも本助成では、宮城県に以下の助成を行っています。

- 第1次助成…海底清掃資材購入支援事業（9985万6000円、申請団体：宮城県）
- 第5次助成…海底清掃資材購入支援事業（5800万円、申請団体：宮城県）

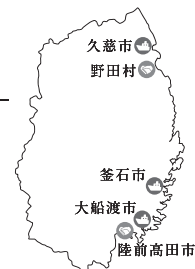
【岩手県】

●助成事業：11件 ●総額：54億6512万7367円



久慈市

- 第3次助成…製氷・貯氷施設回復支援事業（助成金：7億3414万4000円、申請団体：岩手県）
- 第3次助成…水産業共同利用施設復旧支援事業（助成金：8億3840万円、申請団体：岩手県）



魚市場の生命線である製氷・貯氷施設、そして加工食品工場で町を復興

本助成では、岩手県内の11の助成事業を支援していますが、そのうち九つが水産業です。それだけ岩手県にとって水産業は要となる産業であり、その被害は想像を超える規模でした。

港に押し寄せた津波は、県内の多くの魚市場に大ダメージを与え、水揚量を左右する生命線の一つである製氷・貯氷施設も破壊しました。「いくら港が使えるようになって、水産物の一括処理、鮮度維持を行える製氷・貯氷施設が整っていなければ、漁船は水揚げしてくれない」。久慈漁港は、辛うじて貯氷施設に残った600tの氷と、災害を逃れ稼働できた20tの製氷工場で、震災の最初の年は乗り切ることができましたが、魚市場が再開すれば対応は不可能です。施設の早期再建を計画しますが、その総事業費10億3700万円。国などからの助成があっても、2/9相当額を岩手県、久慈市が負担しなければなりません。そこで岩手県は、本助成を活用し2次、3次助成の2回にわたり、被災した県内13の魚市場の製氷・貯氷施設の復旧を支援することに。この助成を受けて大船渡魚市場、野田村漁港、島越漁港、宮古漁港、釜石市新浜町魚市場、八木魚市場などが次々と水揚げ機能を取り戻していきました。

●地元の漁師とともに魚市場に活気を取り戻す

久慈漁港に新しい製氷・貯氷施設が完成したのは、2012年12月。喜びに満ちた漁港のみなさんに施設内を案内していただき、次々と製造される1枚143kgにもなる角氷が、整然と積み上げられた迫力ある貯氷室の姿に思わず圧倒されました。

「1日50tの製氷能力に約2000tの貯氷能力と、以前よりパワーアップした新施設のおかげで、県外からの漁船も多数港に入るようになり、2014年度の給氷量は約5150tとなりました」と久慈市漁業協同組合の製氷冷凍工場の玉澤孝則課長。市場を最も利用されているのは地元の漁師さんで、水揚げされる主要魚種はサバ、スルメイカ、秋サケ、サンマなどです。

「施設は完成しましたが、当初は漁師さんの道具がなかなか揃わず心配しました」と話すのは、魚市場課の向大幸弘課長。「漁師あつての市場ですからね。いまは船、カゴ、網、すべて整い、みなさん本来の仕事に戻ることができています」。

●新施設をフル活用し、海に合わせた柔軟な対応を

いま久慈市漁業協同組合が特に力を入れているのが、加工部門です。震災前、組合が保有していた加工食品工場は津波に破壊されてしまいました。しかし、岩手県が申請した第3次助成・水産業共同利用施設復旧支援事業の支援を受け、瞬間凍結するトンネルフリーザーなどの専用設備を復旧し、「しめさば」の製造を開始しました。

「加工部門の取扱量は、震災前が約4億3000万円だったのに対し、去年は5億円を超えています。」と食品工場の村上順一工場長。「主力はメサバですが、他にも骨取りサンマという商品があります。これは大船渡に氷を供給したことが縁となり、鮮魚に向かない小ぶりのサンマを久慈で加工して有効利用してはどうかと、提案していただいたことからはじまりました。また、今年からはイカの洋上活け、沖漬けなどの加工も開始する予定です」。このお話を聞いて、以前、大船渡魚市場の製氷・貯氷施設取材した際「震災直後で氷が足りなくて困っていると、久慈漁港が津波の被害を免れ残っていた大切な氷を分けてくれた」と伺った記憶が蘇りました。岩手県内の漁港は互いに助け合いながら、さまざまなピンチを乗り越え、ここまでできました。

中村 貢参事は「震災後、市場が再開した時、久慈を応援しようと青森、三沢、大間、北海道などの漁船がイカを水揚げしてくれました。地元の漁師さんを大切にすることはもちろんですが、今後は外来船の誘致も積極的にアピールしたいと考えています。ここはかつて巻き網船で、サバを中心に潤った港ですが、時代とともに水揚げされる魚種も変化しています。なにがきても柔軟に対応できる、海に合わせた加工や冷凍をやっていききたいですね」と話しています。



久慈漁港には、地元の漁師や青森、北海道などの漁師が水揚げを行う



久慈といえば、北限のあまさん新しい製氷・貯氷施設にもかわいいイラストが描かれている



角氷1枚が約143kg
1日約50tの製氷能力があり、約2000tを貯氷できる



助成で購入したトンネルフリーザーなどが威力を発揮している



次々と加工されていくサバ
加工食品工場での取扱品目もさらに拡大する予定



釜石市

- 第2次助成…魚市場経営基盤再生事業（助成金：1億8550万円、申請団体：釜石市漁業協同組合連合会）
- 第3次助成…製氷・貯氷施設回復支援事業（助成金：7億3414万4000円、申請団体：岩手県）

衛生管理された市場の機能から、魚のまち・釜石の新たな魅力を発信

釜石市漁業協同組合連合会は、岩手県が申請した製氷・貯氷施設の支援で34t／日の製氷能力と700tの貯氷能力を持つ施設を建設しましたが、自らも魚市場経営基盤再生事業として本助成に申請し、津波に破壊された魚市場の再生を図りました。これにより新浜町第2魚市場に殺菌冷海水製造装置20tと移動式砕氷車両を、新浜町魚市場も同装置30tを導入。市場内を自由に動き回り、素早く氷を供給できる移動式砕氷車両は、その使い勝手のよさを他の漁港関係者が見学に訪れるほど大活躍しています。



便利に動き回って氷を運べる！と評判の移動式砕氷車両

●Uターンを希望する若い人たちが水産業に関心を持てるように

「氷の消費が激しい夏場は、移動式砕氷車両が特に威力を発揮しています。殺菌冷海水製造装置の導入効果も非常に大きいですよ」と原田祐吉参事は話します。

「市場には、船内で氷により冷やされた鮮魚が水揚げされます。そこに7℃以下に設定した殺菌冷海水を入れることで、つねに冷えたままの状態をキープできます。殺菌冷海水製造装置で安全な鮮魚を提供でき、消費者からのクレームも事故もなくなったと評判は上々です。組合員の中には、サケの卵の洗浄にも使用し、安心・安全な商品を供給しています。使う人だと1日に500kgから1t。電気代が1ヵ月10万くらいかかりますが、当面は無償で提供しています」。

ただし、手放して喜んでばかりもいられないと原田参事。その一つが海水温変化の影響です。

「昨年辺りから、回遊してくる魚の種類が変わり、量も少なくなってきました。また、年齢的に漁師を続けるのがつらくなり辞めてしまった方が30%くらいいます。でもその一方、故郷・釜石で漁師をはじめたいとUターンしてくる若い人も増えてきました。釜石の秋サバは、脂が乗って旨いと評価が高いため、ブランド化で巻き返しを図る準備を進めています」。

今後、衛生管理された市場の機能をどう活かしていくか。魚のまち・釜石は、新たな転換の時を迎えています。



新浜町魚市場に導入した殺菌冷海水製造装置 (30t)



故郷に戻って働きたいと思える魅力ある漁業へ、そのためにこの施設をうまく活用したいと原田祐吉参事



釜石市、大船渡市ほか

- 第1次助成…水産加工事業者生産回復支援事業（助成金：15億6563万5000円、申請団体：岩手県）

必要なのは信頼を取り戻す努力と新たな顧客を獲得するアイデア

震災で大打撃を受けた水産業の再生には、漁業・養殖業・水産加工業のどれが欠けても成り立ちません。しかし震災直後は、民間の水産加工会社への国からの早期助成が難しい状況でした。そこで岩手県は、本助成を活用して県内107の民間加工会社の支援を開始します。各加工会社は、それぞれの事業特性を活かせる機器などを助成で購入。「まずは事業を再開して取引先の信頼を取り戻し、やむなく解雇した従業員たちを再雇用できる体制を整えたい」と頑張っています。

●自社ブランドの信頼回復に全量検査を徹底

釜石市内で工場を再建した（株）津田商店は、学校給食を主とした自社ブランドの冷凍食品と、サバやサンマの缶詰などのOEM製品を製造・販売しています。「しかし、再開した最初の年の売上は、風評被害の影響で震災前のわずか6割。再雇用できた170名の従業員のためにもなんとかしなければと全員で営業に走り回りました」と平内浩史課長。助成で放射能検出器も購入し、安心・安全を徹底することで学校給食としての自社ブランドの信頼を回復しました。

「放射能検出器を利用し、国の示す1／10を基準として、三陸産の魚の全量検査を行っています。三陸産の魚が風評被害に遭っても、検査の証明書をつけることで、安心・安全に食していただいています」。

そんな努力の甲斐あって取引先は着実に広がり、9割近くまで売上が回復しました。

「いまは人手が足りずに生産が追いつかないほどです」とうれし悲鳴を上げる平内課長。

従業員の多くは、山の上の仮設住宅で暮らしているため、会社は送迎バスを出して送り迎えを行っています。受注する仕事はあるけれど、従業員の状況を考えれば、残業や休日出勤をお願いできない。だがそれでは顧客の要望に応えられない。そんなジレンマが続いています。



津田商店は衛生管理を徹底学校給食を中心に自社ブランドの冷凍食品を製造



人手が足りずに生産が追いつかないほど売上は回復している

●業務問屋から通販へ、舵取りを変える

同じく釜石市にある**小野食品（株）**は、震災前、サケやサバ、マスなどを釜石市内の二つの工場で焼魚や煮魚に調理し、商社や問屋を通じて、全国のホテルや外食産業に卸していました。しかしバブル崩壊後、先行きは不透明になっていくと判断。これからは新たに自社ブランドを開発して通販事業の拡大に取り組んでいこうと、2011年に大槌町の既設工場を買い取り全面改修しました。ところが開所式を行った2週間後に、津波に襲われてしまいました。「開所式を行った2階には船が飛び込んでいました」と小野昭男社長は、当時を振り返ります。

「各工場を点検してみると、高額のトンネルフリーザーやレトルトの装置など大きな機械はオーバーホールすればまだ使えるとわかりました。そこで辛うじて建物が無事だった釜石の工場を改修し、震災後3ヵ月で事業を再開することができました。しかし、それまで売上の70%を占めていた業務問屋からの依頼が30%と落ち込んでしまったのです」。

このままではいけないと考えた小野社長は、震災前から手応えを感じていた通販事業へと思い切って方向を転換。結果的にそれが業績回復につながりました。

「エンドユーザーである消費者に集中することで、通販事業のお客様は増えはじめ、2012年11月には約1万4000件と順調にお客様が増加しました。現在、通販の顧客は約10万人です。売上も震災前の3月期から比べると、2014年度は141%になっています。お客様にアンケート調査を行ったところ、パンやワインに合う商品を求められているとリサーチできました。今年の4月に隣町の大槌町で開設する新工場では、新メニューの開発・製造にも取り組む計画です」。

大槌町は、竣工して2週間で被災し、悔しい思いをした工場があった町。今回は、その工場跡地の近くに、以前の1.5倍の生産能力を有する新工場を建設しての再チャレンジです。

●機械化と加工品目の絞り込みを進める

大船渡市でスルメイカのフライ、唐揚げなどの冷凍加工食品を製造販売する**（株）国洋**は、津波で三つあった工場すべてが被害を受け、保存していた商品や原材料、そして大切な設備の大半が津波に流されてしまいました。

「大船渡港に隣接する本社は、奇跡的に骨組みだけが残っていました。調べてみると修繕が可能とわかりましたが、工場はなんとかなくても、商品を製造するために必要な機械を購入する余裕はありません。機械が足りないのにどうやって事業を再開したものかと頭を抱えてしまっていた時、県から助成のお話をいただき、ほっとしました」と吉野清係長。

助成で皮すき機、自動計量包装機、リングカッター、シャトルコンベアなどを購入でき、175名いた従業員の1/3がなんとか復職できました。ただし、機械化を図るだけでは、売上を回復することはできません。

「それまで300くらいあった加工品のアイテムを100くらいに絞り込むことで、無駄なコストを抑え、効率よく生産していくやり方へと変えていきました。その成果が少しずつ実り、いまでは震災前の約半分まで売上を回復することができています。でも大事なものはこれからです」と吉野係長は、次の展開を見つめます。

「今後は、水産にこだわらず、設備した焼成機やフライヤーを活かし、県内の野菜を使った天ぷらの加工品なども手がけてみようと考えています。ただし、いくら機械化を進めても、大事なところは人の手に頼らざるを得ません」。ここでも人手不足は深刻な問題となっています。

● ● ● ● ● ● ● ●

岩手県沿岸地域から、ガレキの山は姿を消していました。いまは道路、土地のかさ上げのためにトラックが激しく行き交っています。早く住宅が建てられるようになり、人々が故郷に帰ってくるができるように。家族と一緒に自分の家で暮らし、仕事に出かける、そんな当たり前の状況を取り戻せる日が来ることを、だれもが待ち望んでいます。



港や町からガレキの山は消えた。復興に向け道路の整備も進んでいる



助成で購入した压力容器は加熱、調理、殺菌、冷却までできると小野昭男社長



通販事業に力を入れ
エンドユーザー向け商品を中心に製造



商品を食べていただく消費者の姿を
思い浮かべながら丁寧に商品をつくる



国洋のイチ押しはイカの加工品
職員は手際よく大量のイカを捌いていく



以前は約300品目を生産していたが
いまは100品目ほどに絞り込み
機械化で人手不足を効果的にカバー





野田村

● 第2次助成…野田村保育所再建事業（助成金：3億1900万円、申請団体：社会福祉法人野田村保育会）

子どもたちは地域の大切な宝物、 その笑顔に大人は励まされている

広い園庭をはじけるように元気一杯に走り回る子どもたち。カラフルな建物と遊具、中でも子どもたちお気に入りの「お屋根の付いた砂場」は、今日も満員御礼の大にぎわいです。

「いま園児は1学年で約16人、多い学年だと30人。0歳児から年長まで合わせて94人います」と遠藤和子所長。本助成では、被災地の保育所や小・中学校などいくつかの復旧を支援していますが、**野田村保育所**もその一つです。

湾岸から西にわずか500mのところにあった以前の保育所は、津波で建物は跡形もなく流されてしまい、いまは門柱だけが残されています。「子どもたちのために、そして保護者が安心して復旧・復興に専念できるように、一刻も早く新しい保育所を」と社会福祉法人野田村保育会は、より高台に新施設の移築を計画しますが、原形復旧が原則の国の補助では援助を受けることができません。そんな時、本助成の存在を知り申請を行いました。

2012年10月30日、野田村復興のシンボルとして新しい野田村保育所が完成。年長児童代表が「とても楽しみに今日を待っていました。みんなで大好きな鬼ごっこをしたいです。きれいな保育所をつくってくれてありがとうございます」と発表したかわいメッセージに、会場はあたたかい拍手に包まれました。

●奇跡の脱出から5年、いまでも避難訓練を続けている

野田村保育所は「園児全員が奇跡の脱出」と新聞に取り上げられた施設です。当時保育所では、0～6歳の子どもたちを91人預かっていましたが、無事に全員が脱出できたのは、毎月きちゃんと防災訓練を行い、職員が冷静に対応できたからこそ。

「新しい保育所は、以前より1km内陸で17m以上の高台へ移っていますので、津波の心配はもうありません。でも竜巻や火災などもしもの時、職員がきちっと対応できるように、いまでも避難訓練は続けています」。

保育士にお話を伺うと「震災後、避難訓練をすると怖がる子どももいましたが、いまは大丈夫です。私も、自分が震災の日に着ていたエプロンをなかなか着ることができませんでした。あの時の様子がフラッシュバックしてしまって。でもここは安心して子どもたちを守れる場所ですから、いまはこうして普通に着用しています」と笑ってエプロンを見せてくれました。

●震災を知らない子どもたちに、なにをどう伝えていくのかも大切な仕事

震災後は、被災した保育所を使うことは不可能となり、しばらくは閉鎖していた旧新山保育所を使用していました。しかし、この施設の実員は45人。震災後残った64人の子どもたちの保育を行うには狭過ぎ、遊具も満足にない状況でした。

「どんな環境でも子どもたちは、元気によく遊びます。大人だけだったら落ち込むことも多かったと思いますが、子どもたちの屈託ない笑顔に私たちはどれだけ救われたかわかりません」。

そんな子どもたちも次々とここを巣立ち、2012年度から数えると合計55名が卒園していきました。現在ひまわり組は、震災の年に生まれた子どもたちで、震災の記憶はありません。子どもたちに当時のことをどう伝えていくか、それも私たちの大切な役割の一つだと遠藤所長は話しています。



広い園庭を今日も元気一杯に走り回る子どもたち



この子どもたちの笑顔を野田村のすべての人が心待ちにしていた

かわいいデザインの新しい保育所は
木造平屋建てでこちらも広々
（建物：856.25㎡、敷地：5361.39㎡）子どもたちの一番のお気に入りの
「お屋根の付いた砂場」入口に建立された竣工碑には、
被災の様相や助成の内容が記されている



陸前高田市

●第3次助成…陸前高田市竹駒保育園の新設・再建事業（助成金：2億5900万円、申請団体：社会福祉法人陸前高田市保育協会）

もっとたくさんの子どもの歌声が、この町に響き渡るように

陸前高田市の竹駒保育園を訪ねると、子どもたちがかわいい歌声で歓迎してくれました。

「うちの園児は、卒園後もここに遊びにきてくれる子が多いんですよ」とうれしそうに話すのは、いまは異動になった前園長の村上和加恵さん。2013年3月の竣工式の前日、ピカピカの新園舎で無事に卒園式を行うことができ、うれしそうに一人ひとりに卒園証書を手渡しされていた姿が思い出されます。

「卒園式の練習は、まだ建設中のためヘルメットをかぶってしかも1回だけ。

子どもたちが工事の方に、早くつくってくださいと話すと、子どもに言われると泣けてくると言いながら、頑張っていたきました。卒園式をご覧になった親御さんが、竹駒に戻ってくることができてよかったと喜ばれていた姿も忘れられません」。

●子どもたちを安心して伸び伸びと育てることができる環境を

川を逆流した津波は、海から6km内陸にある竹駒保育園にまで届きました。子どもたちは無事に避難できたものの園舎はとても使用できる状態にありません。「安心して子どもを預けることができる場所に新しい保育園を建ててほしい」。そんな保護者の願いに応えるため、高台に新たな土地を確保しましたが、原形復旧が原則の国の補助は得られず、移転計画は難航します。そこで社会福祉法人陸前高田市保育協会は本助成に申請し、新園舎の建築をスタート。ただし完成までの間、子どもたちは仮設園舎で過ごすことに。40人の園児には仮設園舎は狭く、園庭もわずか23m²ほどしかなく運動会も開催できません。新園舎が完成し、半年後に行われた運動会は、全園児が揃って行う運動会としては3年ぶりのことでした。

●若い人たちが、子どもと一緒に故郷に戻って来られる体制に

陸前高田には全部で10カ所の保育園がありましたが、まだ一つ開所できていない所があり、現在は9カ所です。竹駒保育園の新園長 坂下睦美さんは「ここは定員50名となっていますが、70名くらいは受け入れできる容量があります。問題は保育士の数が足りないことです。現在、保育士1人で対応できるのは、0歳児は3人、1歳2歳児は6人、3歳児は20人、4～5歳児は30人までとされています。でもそれに応じた人数の保育士さえいれば大丈夫かと言えば違います。園全体で、さらに保育士を2～3人多く雇っておかないと、休んだ時に対応できません」と話します。

「今年は、盛岡や花巻の保育士の学校を卒業した高田出身者を4人雇用しましたが、近くに住む場所を探すのも大変。アパートが建つという話が流れると、あっという間にいっぱいになってしまいます」と坂下さん。

故郷に帰ってくる方たちを迎え入れる体制が整い、地域みんなで子どもたちを育てていくことができたらと、お二人は口を揃えます。

「バラバラに分かれて他の保育園に通っていた園児たちが、新しい保育園に笑顔で戻って来た時は本当にうれしかった。それぞれの場所で多くの方が、子どもたちの支えになっていただいたおかげで、心の痛手も少なく明るく過ごすことができたのだと感謝しています。子どもたちには苦労をかけたが、みんな立派です」と村上さん。

もっとたくさんの子どもの歌声が、この町に響き渡る日が訪れるように。多くの方が町の再生に努力を続けています。



みんな上手に歌えたかな？
かわいい歌声で歓迎してくれた竹駒保育園の園児たち



2013年3月、竹駒保育園は陸前高田市の公共の建物で震災後初となる仮設ではない建物として完成した



やさしい木のぬくもりを感じる
気仙杉をふんだんに使用した園舎



現在は、震災後生まれた子供たちも
ここに通っている



保育園の壁には、多くの人たちからの
支援に対する感謝の言葉を飾っている

※他にも本助成では、岩手県に以下の助成を行っています。

- 第1次助成…魚価安定緊急対策事業（助成金：1億9376万1000円、申請団体：岩手県）
- 第2次助成…水産業共同利用施設復旧支援事業（助成金：9179万7000円、申請団体：岩手県）
製氷・貯氷施設回復支援事業（助成金：2億4646万6000円、申請団体：岩手県）
- 第4次助成…水産業共同利用施設復旧支援事業（助成金：8億5942万4000円、申請団体：岩手県）
- 第5次助成…「いわて三陸」夢あふれる漁業モデル創生プロジェクト
（助成金：1億7200万円、申請団体：三陸漁業生産組合）

【福島県】

●助成事業：12件 ●総額：49億9600万円



小野町

●第5次助成…公立小野町地方総合病院整備事業
(助成金：20億4700万円、申請団体：公立小野町地方総合病院企業団)



建物の力と人の力を合わせ、地域医療の中核病院へ

公立小野町地方総合病院（以下：小野町病院）は、1954年に小野町、田村市、平田村、川内村、いわき市の5市町村が出資して誕生した総合病院です。震災で旧館が受けたダメージは大きく、壁にクラックが走り、天井は落ち、壊れた配管の漏水が院内にあふれました。このままでは倒壊の危険もあると、移転・新築を計画。しかし、原形復旧が原則の国の支援を受けることはできないため、公立小野町地方総合病院企業団は、本助成を利用して2015年2月に新病院を完成させました。

●近くに安心して通える病院ができた

地元の方の評価も上々

鉄骨造り4階+塔屋の新しい病院は、明るく清潔で開放的。病室は119床あり、そのすべてがバリアフリー構造です。診療室前のゆったりと過ごせる待合室には、お年寄りが楽に座り立ち上がれるよう取っ手の付いたソファも。また、小児科待合室にはかわいい壁紙を貼り、子どもたちに安心感を与えています。さらに震災の経験を活かし、災害時でも安定的な医療が提供できるように、ライフラインの多重化やトリアージスペースも確保した設計になっています。

「建物には力がある、というのは本当ですね」と口を揃えて話すのは、事務長兼総務課長の新田俊幸さんと副院長兼看護部長の坪井裕子さん。「病院新築の情報が伝わった途端に、若い看護師の応募が増え、昨年開院した時には、9名の新しい看護師を増員できました」。震災当時は人手が足りず、医師と看護師は何日も病院に泊まり込んで診療・看護にあたっていたとお二人から伺ったことを思い出します。

現在は、看護師59名、医師27名（常勤6名）の体制へ。医療機器、手術室、その他施設も一新しました。「旧病院では年に数回しかできなかった手術も、設備と医師が充実したことで可能になり、昨年は70人の手術を行いました」と坪井さん。開設時に10科だった診療科も泌尿器科と形成外科を増やして12科へ。透析装置も3台増やして15台へと充実しています。以前は、透析治療のため、車で1時間以上かけて郡山の病院に通っていた患者さんも、近くの小野町病院を利用できるようになってひと安心です。

●もっと地域の方の願いに応えたきめ細かな医療サービスを

「これまで近隣のクリニックでは、MRI検査が必要な患者さんに紹介状を書き、郡山市やいわき市などに検査に行ってもらっていましたが、これも当院で対応できるようになりました。大切なのは、地域医療の中核病院として、地元貢献していくことです。移動に大変なお年寄りが安心して通院できるように送迎バスを出していますが、これまで運行していなかった地域に新たなルートを設け、送迎バスの台数も増設しました。次の目標は夜間・休日診療の再開に向け、常勤医師の増員を図ることです」と新田事務長。

現在、小野町病院は県や大学病院の要請で、地域医療の現場の研修施設としての役割も担うことになっています。これも設備の整った病院に生まれ変わったからこそ。ハードとソフトの両輪を充実し、地域の方が求めるよりよい医療サービスを目指して改革を進める小野町病院には、震災前の3割近く患者数が増えています。



町の中心部に地上4階建て（+塔屋）で建設された小野町病院は復興のシンボルでもある



開放的でゆったり寛げるロビーは、緊急時にトリアージができるように設計している



「建物に負けない医療サービスを」と話す新田俊幸事務長（右）と坪井裕子看護部長



長時間の治療でも快適に過ごせる明るい採光にした15床ある透析室



「地域医療の中核病院としての役割をしっかりと果たしていきたい」と藤井文夫企業長



バリアフリー構造の119床の病室



最新設備を充実した手術室



白河市

●第4次助成…地域農業再生基幹施設緊急整備事業（助成金：3億円、申請団体：福島県東西しらかわ農業協同組合）

五つの倉庫を二つの低温倉庫に再編・集約し、より合理的で高品質に管理

白河市の福島県東西しらかわ農業協同組合は、五つあった農業倉庫を地震で破壊されました。「我々を頼りにする農家のためにもなんとかしなければ」。そこで考えたのが、五つの倉庫を復旧するのではなく、東西二つのエリアに一つずつ新倉庫をつくり集約管理する方法です。これにより労力の軽減と物流の合理化を実現。さらにいままでの常温倉庫から低温倉庫に変えることで、より簡単で高品質にお米を保存でき、地域農業の再生に貢献できると本助成に申請しました。

2012年9月には東部共同農業倉庫が、翌年7月には西部共同農業倉庫が完成。西部共同農業倉庫は、JA東西しらかわ矢吹中央支店、西部営農センター施設と併設することで、地域の農業生産者の新しい活動・交流拠点としても機能しています。

●どんなに素晴らしい提案も、自ら実践してはじめて人に伝わる

「昨年は東部で30kg入る米袋を約3万5000袋、西部で約5万1000袋を貯蔵しました。低温で管理できるようになりましたので、最初に出荷するお米も、12ヵ月経って出荷するお米も同じように美味しいと評価をいただいています」と薄葉 功代表理事専務。

倉庫の入口には、放射能の全量検査ができる機械が導入されていますが、これだけのお米の量となると大変な作業に思えます。「2ヵ所で集約して効率的に検査できますし、福島のお米の信頼を守るためなら苦になりません。私たちが目指すのは、仕事は大変だけど楽しいと心から思える農業の提案です。お米を中心に野菜や畜産など、この地域にしかできないことを広げていこうと工夫しています」。その一つが肉牛の繁殖場。母牛を100頭購入し、生まれた子牛を育て出荷します。農協がこれを行うのは日本初の試みです。「どんなに素晴らしいアイデアでも、自ら実践してこそ意味があると思います。あれをやれ、これはどうだと口だけで言ってもダメ。現場で一緒になって動いていくことで、はじめて参考にしてもらえると私たちは信じています」。



「低温管理できるので効率的に高品質に大切なお米を保管できます」と福島県東西しらかわ農業協同組合のみなさん



全量検査した安心・安全な福島のお米を全国へ出荷



相馬市

●第4次助成…農地復旧復興（純国産大豆）プロジェクト（助成金：3億円、申請団体：相馬市）

借り受けた農地で大豆を栽培、いまや10aで300kg採れる畑も

津波に、家、田畑、農業機械までも押し流されてしまった相馬市の農業生産者。さらに塩害と風評被害に追い討ちをかけられ、農業再開を断念する者も。そんな中、地域の有志たちが農業法人を設立し、相馬市の農業再生に乗り出します。竹澤一敏社長が2人の仲間とともに立ち上げた（合）飯豊ファームもその一つです。竹澤社長は、農家から土地を借り受け、塩害に強い大豆で新たな農業の道を切り拓こうと考えました。しかし、いくら志は高くてもどの法人も資金面は厳しい状況にあります。そこで相馬市は本助成を使って農業機械を購入し、各法人に貸し出すことに。2012年に行われた農業機械交付式でズラリと並んだトラクターは壮観でした。

●はじめての試みは苦勞も多いが、それだけ実りも大きい

その後も大豆の種まき、収穫が行われる度に、飯豊ファームを訪ねてきましたが、久しぶりに会った竹澤社長は以前にも増して元気一杯です。「じつはあの笑顔の陰で、たくさんの苦勞があったのだ」と、他の役員の方が教えてくれました。たとえば、借り受けた土地に10ha以上の大きな畑があり、いままでのやり方では通用しなかったこと。せっかく大豆を育てても人手も機械も追いつかず収穫が大変だったこと。さらに、収穫量が多すぎて管理する場所の確保に苦勞したなど、一歩進む度に新たな壁が出現。それでも各人が培ってきた経験とノウハウを活かし、いまでは約60haの農地で大豆を育てています。収穫量も最初の年は10aで約50kgと県の平均の1/3以下でしたが、いまでは多い畑だと10aで300kgを収穫できるまでになりました。

「我々の活動も農家の間で認められ、飯豊ファームに任せたいと言う農家も増えてきました」と竹澤社長。仕事を見せてもらうため畑に向かうと、新しい3人の社員がトラクターで作業を行っていました。「彼らも経験を積むうちに段々と自信がついてきたようです。彼らに続き、故郷で農業をやりたいと言う人が増えてくることを期待しています」。そう話す竹澤社長は、また一段と元気な笑顔を見せてくれました。



借り受けた田畑はいまや60haにここで塩害に強い大豆を栽培



助成されたトラクターが大活躍
収穫量の多い畑では10aの面積で300kgと県の平均170kgを大きく上回る



新入社員が3人増えた飯豊ファーム
仕事の充実感がその表情に現れている



故郷再生の夢を次の世代へ、 また1本新しい苗木を植える

「みなさん、こうやって植えていくんですよ」。そんな呼びかけに応え、大人たちに混じって地元の子どもたちが、小さな手でクロマツの苗木を松川浦の海岸防災林造成地に1本1本植樹していきます。こうした植樹式は、震災後、地元の団体などにより、ずっと続けられています。

日本百景の一つとして数えられていた松川浦は、海岸線に美しく続く松林とともに、河口に広がるあし原と肥沃な干潟が貴重な植物や野鳥の宝庫となっていました。そんな地元の方の大切な憩いの場でもあった松川浦が震災で一変。100ha以上あった海岸防災林は、津波で押し流されてしまいました。

「たとえ自分たちの代では実現できなくても、子ども、孫と受け継ぎながら、美しい故郷の象徴・松川浦を蘇らせたい」。この地元の願いに応え、**緑地創造研究会**が海岸防災林の再生支援計画を立て本助成に申請。2014年4月11日、松川浦に適したクロマツを厳選し福島県林業研究センター内の採種園に植えました。以来ここで採種した種や苗木を地元の人たちに供給し、2015年8月には植樹祭も開催され、現在、松川浦の海岸防災林造成地で植林作業が続けられています。

● 146万本の苗木が、立派な防災林と育つその日まで

この事業は、国内外の多くの団体や研究機関などが注目し、さまざまな形で支援を行っています。2015年6月に行われたNPO、企業などの合同植樹式では、ボランティア団体の交流会や今後海岸防災林の再生を継続して行うための会議も開かれました。立谷秀清相馬市長は「相馬市を離れてしまった方が、故郷に戻れるように、住宅やインフラ整備などを進めています。なにより大切なのは、人と人とのつながり。この植樹事業のように、みんなで力を合わせていきましょう」と挨拶しました。

松川浦には、最終的に146万本（林野庁76万本、福島県70万本）近くの苗木が植樹される予定です。1本1本地道に植え続けられていくクロマツが、立派な防災林へと育つのは、いつの日でしょうか。私たちが植えた助成という名の苗木も、それぞれの地に根付き、人々に役立つ木へと日に日に成長しています。



自分たちの手で美しい松川浦を蘇らせたいと、植樹方法を熱心に聞き入る地元のみなさん



松川浦の海岸防災林造成地



地元の方とともに、さまざまな団体、企業が植樹などを行い、松川浦再生を応援している



植樹式には地域の保育園から小・中学校まで多くの子どもたちも参加



いつの日か立派な防災林へ植樹された苗木は地域みんなの手で大切に育てられている

※他にも本助成では、福島県に以下の助成を行っています。

・第1次助成…よつくら港地域振興施設「交流館」復興事業

（助成金：2億1000万円、申請団体：特定非営利活動法人よつくらぶ）

「アクアマリンふくしま」熱源設備改修事業（助成金：8000万円、申請団体：財団法人ふくしま海洋科学館）

農業生産再生事業（助成金：2億7500万円、申請団体：すかがわ岩瀬農業協同組合）

・第2次助成…相馬港海上コンテナ物流基盤整備事業（助成金：1億300万円、申請団体：相馬市）

・第3次助成…川内高原農産物栽培工場建設事業（助成金：3億円、申請団体：福島県川内村）

相馬広域こころのケアセンター：なごみの新設事業

（助成金：3000万円、申請団体：特定非営利活動法人相双に新しい精神科医療保健福祉システムをつくる会）

・第5次助成…南相馬市鹿島厚生病院併設介護老人保健施設厚寿苑の新設事業

（助成金：10億3000万円、申請団体：福島県厚生農業協同組合連合会）

仮設校舎敷地造成工事、仮設校舎設置事業（助成金：1億9100万円、申請団体：福島県楡葉町）

平成27年度収支決算報告書

貸 借 対 照 表

平成28年3月31日現在
(平成27年度)

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	14,867,201	30,723,834	-15,856,633
未収金	301,901	8,094	293,807
前払費用	0	452,088	-452,088
流 動 資 産 合 計	15,169,102	31,184,016	-16,014,914
2 固定資産			
基本財産			
投資有価証券（指定）	7,190,400,000	8,870,400,000	-1,680,000,000
投資有価証券（一般）	844,647,300	1,041,994,800	-197,347,500
計	8,035,047,300	9,912,394,800	-1,877,347,500
基 本 財 産 合 計	8,035,047,300	9,912,394,800	-1,877,347,500
固 定 資 産 合 計	8,035,047,300	9,912,394,800	-1,877,347,500
資 産 合 計	8,050,216,402	9,943,578,816	-1,893,362,414
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	7,089,312	22,902,416	-15,813,104
預り金	14,916	29,566	-14,650
短期借入金	35,000,000	0	35,000,000
流 動 負 債 合 計	42,104,228	22,931,982	19,172,246
負 債 合 計	42,104,228	22,931,982	19,172,246
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
指定正味財産合計	7,190,400,000	8,870,400,000	-1,680,000,000
（うち基本財産への充当額）	(7,190,400,000)	(8,870,400,000)	-1,680,000,000
（うち特定財産への充当額）	()	()	()
2 一般正味財産			
一般正味財産合計	817,712,174	1,050,246,834	-232,534,660
（うち基本財産への充当額）	(817,712,174)	(1,041,944,800)	-224,232,626
（うち特定財産への充当額）	()	()	()
正 味 財 産 合 計	8,008,112,174	9,920,646,834	-1,912,534,660
負債及び正味財産合計	8,050,216,402	9,943,578,816	-1,893,362,414

正味財産増減計算書

平成27年4月1日～平成28年3月31日

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	92,973,400	85,804,800	7,168,600
基本財産株式配当	92,973,400	85,804,800	7,168,600
基本財産債券利息	0	0	0
受取会費	99,515,000	97,076,000	2,439,000
賛助会費収入	99,515,000	97,076,000	2,439,000
受取寄付金	56,977,856	53,587,040	3,390,816
寄付金収入	56,977,856	53,587,040	3,390,816
指定寄付金収入	0	0	0
雑収益	153,000	215,157	△ 62,157
雑収入	153,000	215,157	△ 62,157
経 常 収 益 計	249,619,256	236,682,997	12,936,259
(2) 経常費用			
事業費	270,458,468	259,086,141	11,372,327
給料手当	13,010,951	13,459,849	△ 448,898
旅費交通費	11,176,130	13,926,848	△ 2,750,718
通信運搬費	22,200,533	21,358,239	842,294
備品消耗品費	592,752	404,427	188,325
図書印刷費	9,622,212	8,864,331	757,881
事務室維持費	5,420,617	6,030,776	△ 610,159
会議費	1,591,211	6,735,735	△ 5,144,524
支払手数料	647,572	275,252	372,320
雑費	106,145	55,555	50,590
奨学金支給	24,150,000	24,000,000	150,000
助成金支給	122,635,293	81,849,320	40,785,973
震災支援費	0	0	0
会場費	7,805,608	2,922,605	4,883,003
運営費	900,188	961,315	△ 61,127
講師諸費	5,189,612	2,721,649	2,467,963
ビデオ・パンフ作成費	9,350,049	6,221,216	3,128,833
システム費用	4,699,237	13,555,601	△ 8,856,364
システムリース料	0	350,460	△ 350,460
就労支援費	4,470,000	4,420,000	50,000
委託費	16,696,046	10,075,465	6,620,581
ホームページ運営費	1,177,200	1,139,298	37,902
贈呈費	8,317,112	39,303,200	△ 30,986,088
共済分担金	700,000	455,000	245,000

科 目	当年度	前年度	増 減
管理費	14,347,948	12,327,059	2,020,889
給料手当	2,275,669	1,382,800	892,869
福利厚生費	260,032	318,442	△ 58,410
会議費	878,573	864,865	13,708
旅費交通費	1,276,551	485,956	790,595
通信運搬費	2,158,047	2,764,113	△ 606,066
消耗什器備品費	232,481	410,706	△ 178,225
図書印刷費	4,790,756	3,735,387	1,055,369
事務室維持費	1,194,032	1,304,962	△ 110,930
事務機器賃借料	435,082	417,488	17,594
賦課金	0	202,000	△ 202,000
支払手数料	127,483	119,166	8,317
租税公課	302,000	0	302,000
支配利息	10,832	0	10,832
雑費	406,410	321,174	85,236
経 常 費 用 計	284,806,416	271,413,200	13,393,216
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 35,187,160	△ 34,730,203	△ 456,957
基本財産評価損益等	△ 197,347,500	218,511,173	△ 415,858,673
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券売却益等	0	0	0
評価損益等計	△ 197,347,500	218,511,173	△ 415,858,673
当期経常増減額	△ 232,534,660	183,780,970	△ 416,315,630
2. 経常外増減の部			0
(1) 経常外収益			0
前期経費振替	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			0
有価証券償還差損	0	0	0
什器備品除却損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 232,534,660	183,780,970	△ 416,315,630
一般正味財産期首残高	1,050,246,834	866,465,864	183,780,970
一般正味財産期末残高	817,712,174	1,050,246,834	△ 232,534,660
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
基本財産評価損益等	0	0	
特定資産評価損益等	0	0	
投資有価証券売却益等	0	0	
評価損益等計	△ 1,680,000,000	3,302,400,000	
当期指定正味財産増減額	△ 1,680,000,000	3,302,400,000	△ 4,982,400,000
指定正味財産期首残高	8,870,400,000	5,568,000,000	3,302,400,000
指定正味財産期末残高	7,190,400,000	8,870,400,000	△ 1,680,000,000
Ⅲ 正味財産期末残高	8,008,112,174	9,920,646,834	△ 1,912,534,660

正味財産増減計算書 内訳表

平成27年4月1日～平成28年3月31日

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計							法人会計	合計
	公1 助成事業	公2 研修・育成	公3 表彰事業	公4 広報啓発等	公5 震災助成	共通	小計		
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
基本財産運用益	0	0	0	0	0	65,081,380	65,081,380	27,892,020	92,973,400
基本財産株式配当	0	0	0	0	0	65,081,380	65,081,380	27,892,020	92,973,400
基本財産債券利息	0	0	0	0	0		0	0	0
受取会費	0	0	0	0	0	99,515,000	99,515,000	0	99,515,000
賛助会費収入	0	0	0	0	0	99,515,000	99,515,000	0	99,515,000
受取寄付金	0	0	0	0	0	56,977,856	56,977,856	0	56,977,856
寄付金収入	0	0	0	0	0	56,977,856	56,977,856	0	56,977,856
指定寄付金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑収益	0	0	0	0	0	153,000	153,000	0	153,000
雑収入	0	0	0	0	0	153,000	153,000	0	153,000
経 常 収 益 計	0	0	0	0	0	221,727,236	221,727,236	27,892,020	249,619,256
(2) 経常費用									
事業費	152,175,830	56,935,359	11,046,325	44,179,905	0	6,121,049	270,458,468		270,458,468
給料手当	2,998,834	7,225,969	1,441,095	1,345,053	0	0	13,010,951		13,010,951
旅費交通費	818,678	8,060,536	1,628,254	668,662	0	0	11,176,130		11,176,130
通信運搬費	89,014	851,521	28,009	21,231,989	0	0	22,200,533		22,200,533
備品消耗品費	1,814	25,969	508,994	55,975	0	0	592,752		592,752
図書印刷費	996,980	527,644	230,310	7,867,278	0	0	9,622,212		9,622,212
事務室維持費	0	0	0	0	0	5,420,617	5,420,617		5,420,617
会議費	223,760	658,015	301,139	408,297	0	0	1,591,211		1,591,211
支払手数料	154,440	458,140	7,128	27,432		432	647,572		647,572
雑費	0	41,600	0	64,545	0	0	106,145		106,145
奨学金支給	24,150,000	0	0	0	0	0	24,150,000		24,150,000
助成金支給	122,635,293	0	0	0	0	0	122,635,293		122,635,293
震災支援費	0	0	0	0	0	0	0		0
会場費	0	5,933,608	1,872,000	0	0	0	7,805,608		7,805,608
運営費	0	773,703	126,485	0	0	0	900,188		900,188
講師諸費	0	5,189,612	0	0	0	0	5,189,612		5,189,612
ビデオ／パンフ作成費	0	8,936,578	402,911	10,560	0	0	9,350,049		9,350,049
システム費用	107,017	4,592,220	0	0	0	0	4,699,237		4,699,237
システムリース料	0	0	0	0	0	0	0		0
就労支援費	0	4,470,000	0	0	0	0	4,470,000		4,470,000
委託費	0	6,373,132	0	10,322,914	0	0	16,696,046		16,696,046
ホームページ運営費	0	0	0	1,177,200	0	0	1,177,200		1,177,200
贈呈費	0	2,817,112	4,500,000	1,000,000	0	0	8,317,112		8,317,112
共済分担金	0	0	0	0	0	700,000	700,000		700,000
管理費								14,347,948	14,347,948
給料手当								2,275,669	2,275,669
福利厚生費								260,032	260,032
会議費								878,573	878,573
旅費交通費								1,276,551	1,276,551
通信運搬費								2,158,047	2,158,047
支払利息								10,832	10,832
租税公課								302,000	302,000
消耗什器備品費								232,481	232,481
図書印刷費								4,790,756	4,790,756
事務室維持費								1,194,032	1,194,032
事務機器賃借料								435,082	435,082
支払手数料								127,483	127,483
雑費								406,410	406,410
経 常 費 用 計	152,175,830	56,935,359	11,046,325	44,179,905	0	6,121,049	270,458,468	14,347,948	284,806,416

科 目	公益目的事業会計							法人会計	合計
	公1 助成事業	公2 研修・育成	公3 表彰事業	公4 広報啓発等	公5 震災助成	共通	小計		
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 152,175,830	△ 56,935,359	△ 11,046,325	△ 44,179,905	0	215,606,187	△ 48,731,232	13,544,072	△ 35,187,160
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	△ 197,347,500	△ 197,347,500	0	△ 197,347,500
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0	△ 197,347,500	△ 197,347,500	0	△ 197,347,500
当期経常増減額	△ 152,175,830	△ 56,935,359	△ 11,046,325	△ 44,179,905	0	18,258,687	△ 246,078,732	13,544,072	△ 232,534,660
2. 経常外増減の部									0
(1) 経常外収益									
有価証券売却益	0	0	0	0	0		0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用									
有価証券償還差損	0	0	0	0	0	0	0	0	0
什器備品除却損	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額							0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 152,175,830	△ 56,935,359	△ 11,046,325	△ 44,179,905	0	18,258,687	△ 246,078,732	13,544,072	△ 232,534,660
一般正味財産期首残高	△ 112,687,436	△ 78,814,601	△ 9,340,811	△ 52,212,517	0	1,289,887,818	1,036,832,453	13,414,381	1,050,246,834
一般正味財産期末残高	△ 264,863,266	△ 135,749,960	△ 20,387,136	△ 96,392,422		1,308,146,505	790,753,721	26,958,453	817,712,174
Ⅱ 指定正味財産増減の部									
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	△ 1,680,000,000	△ 1,680,000,000	0	△ 1,680,000,000
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0	△ 1,680,000,000	△ 1,680,000,000	0	△ 1,680,000,000
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	△ 1,680,000,000	△ 1,680,000,000	0	△ 1,680,000,000
指定正味財産期首残高						8,870,400,000	8,870,400,000	0	8,870,400,000
指定正味財産期末残高	0	0	0	0		7,190,400,000	7,190,400,000	0	7,190,400,000
Ⅲ 正味財産期末残高	△ 264,863,266	△ 135,749,960	△ 20,387,136	△ 96,392,422		8,498,546,505	7,981,153,721	26,958,453	8,008,112,174

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 計算書類は公益法人会計基準（平成20年4月11日、改正平成21年10月16日内閣府公益認定等委員会）を適用している。
- (2) 有価証券の評価基準及び評価方法
 - 満期保有目的債券……………償却原価法（定額法）
 - その他の有価証券
 - 時価のあるもの……………決算日の市場価格等に基づく時価法
 - 時価のないもの……………移動平均法による原価法
- (3) 固定資産の減価償却の方法
 - 有形固定資産……………定率法
- (4) 消費税の会計処理
 - 税込み方式

2. 会計方針の変更 該当なし

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券（指定）	8,870,400,000	0	1,680,000,000	7,190,400,000
投資有価証券（一般）	1,041,994,800	0	197,347,500	844,647,300
小 計	9,912,394,800	0	1,877,347,500	8,035,047,300
特定資産	—	—	—	—
小 計	—	—	—	—
合 計	9,912,394,800	0	1,877,347,500	8,035,047,300

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。（単位：円）

科 目	当期末残高	（うち指定正味財 産からの充当額）	（うち一般正味財 産からの充当額）	（うち負債に対応 する額）
基本財産				
投資有価証券（指定）	7,190,400,000	7,190,400,000		—
投資有価証券（一般）	844,647,300	7,190,400,000	817,108,744	27,538,556
小 計	8,035,047,300	7,190,400,000	817,108,744	27,538,556
特定資産	—	—	—	—
小 計	—	—	—	—
合 計	8,035,047,300	7,190,400,000	817,108,744	27,538,556

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額および当期末残高

該当なし 重要性が希薄なため経費処理

6. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

7. 担保に供している資産

該当なし

8. 保証債務等の偶発債務

該当なし

9. 関連当事者との取引の内容

該当なし

10. 重要な後発事象

該当なし

財 産 目 録

平成28年3月31日 現在
(平成27年度)

(単位：円)

科 目	金 額	使 用 目 的 等
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金	14,867,201	
現金	428,360	運転資金
普通預金	14,438,841	
みずほ銀行銀座中央支店	14,438,841	運転資金
未収金	301,901	
流 動 資 産 合 計	15,169,102	
2 固定資産		
(1)基本財産		
投資有価証券 3,575,900株	8,035,047,300	共有財産であり
ヤマトホールディングス株式会社(株式)		うち70%を公益保有財産として運用
株数 取得価額		益を公益目的事業に使用し、30%
3,200,000株 5,568,000,000円	7,190,400,000	を管理業務のための財産として運用
375,200株 821,519,900円	843,074,400	益を法人会計に使用している。
700株 1,963,727円	1,572,900	
固 定 資 産 合 計	8,035,047,300	
資 産 合 計	8,050,216,402	
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金	7,089,312	3月経費等未払分
預り金	14,916	謝礼金に対する源泉所得税
短期借入金	35,000,000	みずほ銀行銀座中央支店
流 動 負 債 合 計	42,104,228	
負 債 合 計	42,104,228	
正 味 財 産	8,008,112,174	

附 属 明 細 書

1. 基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記に記載している。
2. 引当金の明細 該当なし

以 上

平成28年5月

公益財団法人 ヤマト福祉財団

平成27年度事業報告 附属明細書

平成27年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

以 上

平成28年5月

公益財団法人 ヤマト福祉財団

収 支 決 算 書

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(単位：円)

科 目	予算額			決算額	差額
	事業費会計	法人会計	総合計		
I 事業活動収支の部					
1. 事業活動収入					
(1) 基本財産運用収入	60,060,000	25,740,000	85,800,000	92,973,400	-7,173,400
①基本財産株式配当	60,060,000	25,740,000	85,800,000	92,973,400	-7,173,400
(2) 寄付金収入	50,000,000	—	50,000,000	56,977,856	-6,977,856
①運用財産	50,000,000	—	50,000,000	56,977,856	-6,977,856
②基本財産指定・(繰入増加)	0	—	0	0	0
(3) 賛助会費収入	97,000,000	—	97,000,000	99,515,000	-2,515,000
(4) 雑収入	0	0	0	153,000	215,157
事業活動収入計	207,060,000	25,740,000	232,800,000	249,619,256	-16,819,256
2. 事業活動支出					
事業費支出	316,100,000	—	316,100,000	270,458,468	45,641,532
(公1) 助成事業	155,000,000	—	155,000,000	152,175,830	2,824,170
①奨学金支給	24,000,000	—	24,000,000	24,150,000	-150,000
②助成金	126,000,000	—	126,000,000	122,635,293	3,364,707
i 福祉助成金	10,000,000	—	10,000,000	8,839,721	1,160,279
ii 給料増額支援助成金	115,000,000	—	115,000,000	113,795,572	1,204,428
iii 助成金説明会	1,000,000	—	1,000,000	0	1,000,000
③諸経費	5,000,000	—	5,000,000	5,390,537	-390,537
(公2) 研修・育成事業	92,600,000	—	92,600,000	56,935,359	35,664,641
①セミナー事業	13,000,000	—	13,000,000	14,644,640	-1,644,640
i 会場費	2,000,000	—	2,000,000	2,055,904	-55,904
ii 運営費	4,500,000	—	4,500,000	5,640,892	-1,140,892
iii ビデオ作成費	3,500,000	—	3,500,000	3,414,085	85,915
iv 諸経費	3,000,000	—	3,000,000	3,533,759	-533,759
②雇用促進事業	7,100,000	—	7,100,000	7,716,169	-616,169
i システム費	600,000	—	600,000	605,360	-5,360
ii 就労支援費	4,500,000	—	4,500,000	4,470,000	30,000
iii 諸経費	2,000,000	—	2,000,000	2,640,809	-640,809
③育成プロジェクト	72,500,000	—	72,500,000	34,574,550	37,925,450
i 会場費	5,000,000	—	5,000,000	3,877,704	1,122,296
ii 講師諸費	1,500,000	—	1,500,000	3,913,077	-2,413,077
iii 事業改革モデル化資金	40,000,000	—	40,000,000	0	40,000,000
iv 管理会計ソフト運用費	6,000,000	—	6,000,000	3,986,860	2,013,140
v 諸経費	10,000,000	—	10,000,000	12,607,967	-2,607,967
vi 水稲自然栽培検証プロジェクト	10,000,000	—	10,000,000	10,188,942	-188,942
(公3) 表彰事業	9,000,000	—	9,000,000	11,046,325	-2,046,325
①贈呈費	3,000,000	—	3,000,000	4,500,000	-1,500,000
②会場費	2,000,000	—	2,000,000	1,872,000	128,000
③経費	4,000,000	—	4,000,000	4,674,325	-674,325

科 目	予算額			決算額	差額
	事業費会計	法人会計	総合計		
(公4) 広報・啓発等事業	53,500,000	—	53,500,000	44,880,337	8,619,663
①広報事業	41,000,000	—	41,000,000	42,390,606	-1,390,606
i ホームページ運営費	2,000,000	—	2,000,000	1,177,200	822,800
ii 委託費	9,000,000	—	9,000,000	10,322,914	-1,322,914
iii 諸経費	30,000,000	—	30,000,000	30,890,492	-890,492
②事業モデル別実践事例サイト	4,500,000	—	4,500,000	0	4,500,000
i 構築・運用費	4,000,000	—	4,000,000	0	4,000,000
ii 諸経費	500,000	—	500,000	0	500,000
③啓発事業	2,500,000	—	2,500,000	789,299	1,710,701
i 会場費	1,000,000	—	1,000,000	0	1,000,000
ii 運営費	500,000	—	500,000	408,297	91,703
iii 共催・後援費	600,000	—	600,000	0	600,000
iv 諸経費	400,000	—	400,000	381,002	18,998
④その他事業	5,500,000	—	5,500,000	1,700,432	3,799,568
i 共催分担金	5,000,000	—	5,000,000	1,700,000	3,300,000
ii 諸経費	500,000	—	500,000	432	499,568
(公5) 復興・再生支援事業	0	—	0	0	0
①震災支援費	0	—	0	0	0
②諸経費	0	—	0	0	0
共通	6,000,000	—	6,000,000	5,420,617	579,383
①諸経費	6,000,000	—	6,000,000	5,420,617	579,383
管理費支出	—	13,700,000	13,700,000	14,347,948	-647,948
①人件費	—	1,600,000	1,600,000	2,275,669	-675,669
②福利厚生費	—	400,000	400,000	260,032	139,968
③旅費	—	1,300,000	1,300,000	1,276,551	23,449
④通信運搬費	—	3,000,000	3,000,000	2,158,047	841,953
⑤備品消耗品費	—	400,000	400,000	232,481	167,519
⑥図書印刷費	—	3,000,000	3,000,000	4,790,756	-1,790,756
⑦事務室維持費	—	1,300,000	1,300,000	1,194,032	105,968
⑧事務機器賃借料	—	700,000	700,000	435,082	264,918
⑨会議費	—	1,000,000	1,000,000	878,573	121,427
⑩賦課金	—	100,000	100,000	302,000	-202,000
⑪支払手数料	—	300,000	300,000	127,483	172,517
⑫支払利息	—	0	0	10,832	-10,832
⑬雑費	—	600,000	600,000	406,410	193,590
事業活動支出計	316,100,000	13,700,000	329,800,000	284,806,416	44,993,584
当期収支差額	-109,040,000	12,040,000	-97,000,000	-35,187,160	-61,812,840
Ⅱ基本財産評価損益等	0	0	0	-197,347,500	197,347,500
Ⅲ経常外損益	0	0	0	0	0
Ⅳ予備費支出	0	0	0	0	0
一般正味財産期首残高	—	—	1,050,246,834	1,050,246,834	0
一般正味財産期末残高	—	—	953,246,834	817,712,174	135,534,660

勘 定 明 細 表

平成28年3月31日現在

I 資産の部

1 流動資産

(単位：円)

科目	平成28年3月	平成27年3月	差 額	備考
現 金	428,360	315,377	112,983	手持現金
計	428,360	315,377	112,983	

科目	平成28年3月	平成27年3月	差 額	備考
普 通 預 金	14,438,841	26,843,077	-12,404,236	みずほ銀行銀座中央支店1
	0	3,565,380	-3,565,380	みずほ銀行銀座中央支店2
計	14,438,841	30,408,457	-15,969,616	

科目	平成28年3月	平成27年3月	差 額	備考
未 収 金	301,901	8,094	293,807	YHD
計	301,901	8,094	293,807	

科目	平成28年3月	平成27年3月	差 額	備考
前 払 費 用	0	452,088	-452,088	家賃他
計	0	452,088	-452,088	

2 固定資産

基本財産

科目	平成28年3月	平成27年3月	差 額	備考
投資有価証券(指定)	7,190,400,000	8,870,400,000	-1,680,000,000	YHD 株式 320 万株
投資有価証券(一般)	843,074,400	1,040,054,400	-196,980,000	YHD 株式 375,200 株
投資有価証券(一般)	1,572,900	1,940,400	-367,500	YHD 株式 700 株
小計	844,647,300	1,041,994,800	-197,347,500	
合計	8,035,047,300	9,912,394,800	-1,877,347,500	YHD 株式 3,575,900 株

Ⅱ 負債の部

1 流動負債

科目	平成28年3月	平成27年3月	差 額	備考
未 払 金	6,000,000	10,000,000	-4,000,000	楠元塾モデル化資金引当
	328,217	236,417	91,800	ヤマトシステム開発(株)
	219,250	0	219,250	市川レンコンの会
	143,420	0	143,420	佐伯康人
	120,880	0	120,880	松塚しのぶ
	101,934	549,667	-447,733	ヤマトホールディングス(株)
	47,000	50,760	-3,760	シナジーマーケティング(株)
	34,442	16,615	17,827	ニッポンレンタカーサービス(株)
	19,712	37,306	-17,594	ヤマト運輸(株)
	12,493	96,440	-83,947	(株)スワン
	10,267	234,675	-224,408	(株)クレディセゾン
	10,256	22,293	-12,037	リコー販売(株)
	9,720	9,720	0	日比谷花壇
	9,720	0	9,720	チャレンジャー
	8,861	0	8,861	(株)ワイ・ビー・シー
	8,640	0	8,640	ヤマトロジステイクス(株)
	4,500	0	4,500	(社福) 東京コロニー
	0	11,114,529	-11,114,529	事業改革モデル化資金
	0	262,098	-262,098	ヤマト自立センター
	0	226,800	-226,800	大阪国際会議場
	0	45,096	-45,096	長尾敦子
計	7,089,312	22,902,416	-15,813,104	

科目	平成28年3月	平成27年3月	差 額	備考
預 り 金	14,916	29,566	-14,650	源泉所得税
計	14,916	29,566	-14,650	

科目	平成28年3月	平成27年3月	差 額	備考
短 期 借 入 金	35,000,000	0	35,000,000	みずほ銀行銀座中央支店
計	35,000,000	0	35,000,000	

Ⅲ 正味財産の部

1 指定正味財産

科目	平成28年3月	平成27年3月	差 額	備考
投資有価証券(指定)	7,190,400,000	8,870,400,000	-1,680,000,000	ヤマトホールディングス株式
計	7,190,400,000	8,870,400,000	-1,680,000,000	

2 一般正味財産

科目	平成28年3月	平成27年3月	差 額	備考
投資有価証券(一般)	844,647,300	1,041,994,800	1,041,994,800	ヤマトホールディングス株式
流 動 資 産	15,169,102	31,184,016	-16,014,914	現金預金ほか
流 動 負 債	42,104,228	22,931,982	19,172,246	未払金ほか
計	817,712,174	1,050,246,834	-232,534,660	

監査報告書

公益財団法人 ヤマト福祉財団
理事長 瀬戸 薫 殿

平成 28 年 5 月 10 日

監事 神保 清一 

監事 新里 智弘 

私たち監事は、平成27年4月1日から平成28年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次の通り報告致します。

1 監査の方法及びその内容

理事及び使用人等と意思の疎通を図り、情報の収集に努めるとともに、理事会その他の重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその付属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- ・ 事業報告は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ・ 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

(2) 計算書類及びその付属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその付属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上

- 財団主催の諸会議
- 法人賛助会員名簿
- 平成27年度寄付者名簿
- 役員名簿

財団主催の諸会議

会 議 名	開 催 日	議 題
<u>理事会</u>		
第1回理事会	H27. 6. 2	(1) 平成27年度助成金選考委員会決定事項の件 (2) 平成26年度事業報告の承認について (3) 平成26年度収支決算書類承認について (4) 任期満了による理事・監事選任のための評議員会上程案承認の件
第2回理事会	H27. 6. 17	(1) 代表理事ならびに業務執行理事選任の件 (2) 小倉昌男賞および福祉助成金選考委員会の委員選任の件
第3回理事会	H27. 11. 19	(1) 代表理事及び常務理事業務執行報告 (2) 夢へのかけ橋プロジェクト実施状況報告 (3) 水稲自然栽培チャレンジ検証報告 (4) 第16回小倉昌男賞受賞者決定について (5) 平成28年度助成金募集について (6) 平成27年度予算執行状況について
第4回理事会	H28. 3. 2	(1) 事業進捗報告（平成27年11月20日～28年3月1日） (2) 短期運転資金借入の件 (3) 平成28年度事業計画承認の件 (4) 平成28年度収支計画承認の件
第5回理事会	H28. 3. 22	(1) 平成28年度助成事業の助成先決定の件
<u>評議員会</u>		
第1回評議員会	H27. 6. 17	(1) 平成26年度事業報告の件 (2) 平成26年度収支決算書類承認の件 (3) 理事・監事選任の件
<u>福祉助成金 選考委員会</u>	H27. 6. 4	平成27年度障がいのある大学生への奨学金選考の件
<u>第16回小倉昌男賞 選考委員会</u>	H27. 10. 14	第16回ヤマト福祉財団小倉昌男賞の選考について
<u>福祉助成金 選考委員会</u>	H28. 3. 8	平成28年度福祉助成金の選考について

寄附金寄贈者名簿

(敬称略：順不同)

寄付者名	寄付者名	寄付者名	寄付者名
町 田 武	鈴 木 一 義	原 田 芳 枝	野 村 信 弘
荻 原 幸 枝	(株)河 野 メ リ ク ロ ン	広 島 ケ ナ フ の 会	(株)ポ ピ ン ズ
ヤ マ ト 運 輸 (株)	ヤマトホールディングス(株)		

夏季カンパ

寄 付 者 名
ヤマトグループ企業労働組合連合会

賛助会員数一覧

(2016.3.31 現在)

	会員数		会員数
ヤマト運輸(株)	55,345	ヤマトホールディングス(株)	116
ヤマトシステム開発(株)	2,063	ヤマト・スタッフ・サプライ(株)	112
ヤマトオートワークス(株)	1,299	ヤマトクレジットファイナンス(株)	94
ヤマトホームコンビニエンス(株)	1,033	ヤマトリース(株)	87
ヤマトボックスチャーター(株)	1,004	ヤマト運輸労働組合	42
ヤマトグローバルエクスプレス(株)	730	神戸ヤマト運輸(株)	41
ヤマトロジステイクス(株)	645	ヤマト包装技術研究所(株)	22
ヤマトマルチチャーター(株)	379	ヤマトグループ健康保険組合	19
ヤマトフィナンシャル(株)	346	ボックスチャーター(株)	18
ヤマトグローバルロジスティクスジャパン(株)	335	ヤマトオートワークス北信越(株)	15
湖南工業(株)	320	ヤマトオートワークス岩手(株)	9
沖縄ヤマト運輸(株)	237	エクスプレスネットワーク(株)	5
ヤマトマルチメンテナンスソリューションズ(株)	133	ヤマトダイアログメディア(株)	5
ヤマトパッキングサービス(株)	127	(株)スワン	2
ヤマトマネージメントサービス(株)	122	ヤマトオートワークス沖縄(株)	1
ヤマトコンタクトサービス(株)	117	合 計	64,823

役員名簿

理事・監事

平成28年5月末現在

NO	役職名	氏 名	役 職
1	理事長	瀬戸 薫	ヤマトホールディングス株式会社 相談役
2	理事	渡辺 修	元環境事務次官
3	同	吉村 久夫	株式会社日経BP 参与
4	同	町田 武	元三郷市教育委員会 教育委員長
5	同	池田 輝彦	みずほ信託銀行株式会社 顧問
6	同	藤掛 稔子	
7	同	森下 明利	ヤマト運輸労働組合 中央執行委員長
8	同	早川 雅人	ヤマト福祉財団常務理事

NO		氏 名	役 職
1	監事	神保 清一	元ヤマト運輸株式会社代表取締役専務執行役員
2	同	新里 智弘	公認会計士

評議員

NO	役職名	氏 名	役 職
1	評議員	曄道 永一	鎌倉市開発建築紛争調停委員
2	同	今野 由梨	ダイヤル・サービス株式会社 代表取締役社長
3	同	藤井 克徳	きょうされん 専務理事
4	同	遠藤 英男	元ヤマト運輸株式会社 監査役
5	同	内田 五郎	元ヤマトシステム開発株式会社 代表取締役社長
6	同	吉井 毅	元新日本製鉄（現新日本住金）株式会社 代表取締役副社長
7	同	上杉 郷一	ヤマト運輸労働組合 副中央執行委員長
8	同	川田 博	元ヤマトホールディングス株式会社 監査役

福祉助成金選考委員

NO	役職名	氏 名	役 職
1	選考委員	朝 日 雅 也	埼玉県立大学 保健医療福祉学部 社会福祉学科 教授
2	同	上 杉 郷 一	ヤマト運輸労働組合 副中央執行委員長
3	同	柴 崎 憲 二	元ヤマト運輸株式会社 監査役
4	同	大 谷 友 樹	ヤマトホールディングス株式会社 上席執行役員
5	同	瀬 戸 薫	ヤマトホールディングス株式会社 相談役

ヤマト福祉財団小倉昌男賞選考委員

NO	役職名	氏 名	役 職
1	選考委員	瀬 戸 薫	ヤマトホールディングス株式会社 相談役
2	同	藤 井 克 徳	きょうされん 専務理事
3	同	今 野 由 梨	ダイヤル・サービス（株） 代表取締役社長
4	同	渡 辺 修	元環境事務次官
5	同	森 下 明 利	ヤマト運輸労働組合 中央執行委員長

平成28年度事業計画書、同収支予算書

平成28年度 事業計画書

(自・平成28年4月1日～至・平成29年3月31日)

はじめに

平成25年度から始まった「夢へのかけ橋プロジェクト」や水稲自然栽培検証プロジェクトなど、フォーラムや塾に小倉昌男賞受賞者の協力を得て、障がい者の働く場を幅広く応援していくしくみが広がってきています。今年度は、水稲自然栽培先行実証プロジェクトに参加した施設のほかに幅広く施設が参加できるよう、任意団体「自然栽培パーティ」の立ち上げを支援します。また、フォーラムの実施、実践塾の追加募集、塾の成果発表を行うセミナーの開催も行い、前年に引き続きより多くの人たちが行動を起すよう推進していきます。

また、奨学金など重度障害者に対する助成活動も引き続き行って、幅広く社会参加の可能性が得られるよう活動します。

(公1) 助成事業 (92,000千円)

- (1) 奨学金 (24,000千円)
- (2) 助成金 (65,000千円)
 - ① 障がい者福祉に関する助成（講演会・研修・文化・スポーツ等） (5,000千円)
 - ② 給料増額支援助成金（障がい者の給料増額につながる設備・備品購入） (60,000千円)
- (3) 諸経費（調査費・贈呈式他費用） (3,000千円)

(公2) 研修・育成事業 (56,600千円)

- (1) セミナー事業 (21,500千円)

「夢へのかけ橋プロジェクト」として実践塾と連動したフォーラムを盛岡、東京、大阪、福岡の4箇所で開催します。開催にあたり基調報告・小倉昌男賞受賞者による講演に加えて小倉昌男賞受賞者による塾の実施報告、助成金事業の成果報告やビデオ・シンポジウムで構成して実施します。

- (2) 雇用促進事業 (7,100千円)

メール便リニューアルへの対応やヤマト自立センターの活動支援により障がい者就労の拡大を図ります。

- (3) 育成プロジェクト (28,000千円)

「夢へのかけ橋プロジェクト」として、より高い工賃を達成することに特に強い意欲のある指導者を集め、小倉昌男賞受賞者による実践塾を開講します。現在開講している4つの塾のうち1塾が期間を終了しますので再度公募するほかに追加募集も行います。また、前年に引き続き、先行的・先駆的な取り組みを支援しモデル化するための資金を塾参加施設の申請に応じて提供します。また水稲自然栽培の検証を終了し、休耕田・耕作放棄地を利用した無農薬・無肥料による自然栽培を推進する団体の立ち上げと活動を支援します。

① 会場費	(3,000千円)
② 講師費用	(1,500千円)
③ 事業改革モデル化資金	(5,000千円)
④ 管理会計システム運用・改善費	(3,000千円)
⑤ 諸経費（交通費等）	(5,500千円)
⑥ 「自然栽培パーティー」プロジェクト	(8,000千円)
⑦ 水稲自然栽培ビデオ制作費	(2,000千円)

(公3) 表彰事業 (9,000千円)

(1) 小倉昌男賞の贈呈 (9,000千円)

障がい者就労施設や一般企業等にあつて、障がい者の就労支援、職業指導、処遇改善などの面で功労著しく、広く敬愛の的となっている個人を対象に本年も「ヤマト福祉財団 小倉昌男賞」を贈呈します。

(公4) 広報・啓発等事業 (40,100千円)

(1) 広報事業 (37,400千円)

財団ニュースを年4回発行し、ヤマトグループ賛助会員の家庭に直接送付することで活動の浸透を図ります。また、インターネット等を通じて広く一般に啓発広報を行ないます。

(2) 啓発事業 (700千円)

障がい者本人によるクロネコメール便配達報告会の開催や障がい者団体の主催する大会の共催・後援等によって、障がい者の能力の浸透啓発を図ります。

(3) その他事業（予備費） (2,000千円)

以上

平成28年度収支予算書

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(単位：千円)

科 目	事業費会計	法人会計	総合計	前年計画
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
(1) 基本財産運用収入	92,970	—	92,970	85,800
①基本財産株式配当	92,970	—	92,970	85,800
②基本財産債券利息	0	—	0	0
③基本財産定期預金利息	—	—	—	—
(2) 寄付金収入	56,000	—	56,000	50,000
①運用財産	56,000	—	56,000	50,000
②基本財産指定・(繰入増加)	0	—	0	0
(3) 賛助会費収入	98,000	—	98,000	97,000
(4) 雑収入	0	—	0	0
①受取利息	0	—	0	0
②雑収入	0	—	0	0
事業活動収入計	246,970	—	246,970	232,800
2. 事業活動支出				
事業費支出	202,700	—	202,700	316,100
(公1) 助成事業	92,000	—	92,000	155,000
①奨学金支給	24,000	—	24,000	24,000
②助成金	65,000	—	65,000	126,000
i 福祉助成金	5,000	—	5,000	10,000
ii 給料増額支援助成金	60,000	—	60,000	115,000
iii 助成金説明会	0	—	0	1,000
③諸経費	3,000	—	3,000	5,000
(公2) 研修・育成事業	56,600	—	56,600	92,600
①セミナー事業	21,500	—	21,500	13,000
i 会場費	4,000	—	4,000	2,000
ii 運営費	8,000	—	8,000	4,500
iii ビデオ作成費	3,500	—	3,500	3,500
iv 諸経費	6,000	—	6,000	3,000
②雇用促進事業	7,100	—	7,100	7,100
i システム費	600	—	600	600
ii 就労支援費	4,500	—	4,500	4,500
iii 諸経費	2,000	—	2,000	2,000
③育成プロジェクト	28,000	—	28,000	72,500
i 会場費	3,000	—	3,000	5,000
ii 講師諸費	1,500	—	1,500	1,500
iii 事業改革モデル化資金	5,000	—	5,000	40,000
iv 管理会計ソフト運用費・改善費	3,000	—	3,000	6,000
v 諸経費	5,500	—	5,500	10,000
vi 水稻自然栽培検証プロジェクト	8,000	—	8,000	10,000
vii 水稻自然栽培ビデオ制作費等	2,000	—	2,000	0
(公3) 表彰事業	9,000	—	9,000	9,000
①贈呈費	3,000	—	3,000	3,000
②会場費	2,000	—	2,000	2,000

科 目	事業費会計	法人会計	総合計	前年計画
③経費	4,000	—	4,000	4,000
(公4) 広報・啓発等事業	40,100	—	40,100	53,500
①広報事業	37,400	—	37,400	41,000
i ホームページ運営費	2,000	—	2,000	2,000
ii 委託費	10,000	—	10,000	9,000
iii 諸経費	25,400	—	25,400	30,000
②事業モデル別実践事例サイトの構築・運用	0	—	0	4,500
i 構築・運用費	0	—	0	4,000
ii 諸経費	0	—	0	500
③啓発事業	700	—	700	2,500
i 会場費	400	—	400	1,000
ii 運営費	100	—	100	500
iii 共催・講演費	0	—	0	600
iv 経費	200	—	200	400
④その他事業	2,000	—	2,000	5,500
i その他	2,000	—	2,000	5,000
ii 諸経費	0	—	0	500
(公5) 復興・再生支援事業	0	—	0	0
①震災支援費	0	—	0	0
②諸経費	0	—	0	0
共通	5,000	—	5,000	6,000
①諸経費	5,000	—	5,000	6,000
管理費支出	—	13,270	13,270	13,700
①人件費	—	2,000	2,000	1,600
②福利厚生費	—	250	250	400
③旅費	—	1,300	1,300	1,300
④通信運搬費	—	1,800	1,800	3,000
⑤備品消耗品費	—	300	300	400
⑥図書印刷費	—	4,000	4,000	3,000
⑦事務室維持費	—	1,200	1,200	1,300
⑧事務機器賃借料	—	470	470	700
⑨会議費	—	700	700	1,000
⑩賦課金	—	200	200	100
⑪支払手数料	—	150	150	300
⑫支払利息	—	500	500	0
⑬雑費	—	400	400	600
事業活動支出計	202,700	13,270	215,970	329,800
I 事業活動収支の部	44,270	-13,270	31,000	-97,000
II 投資活動収支の部	0	0	0	0
III 財務活動収支の部	0	-35,000	-35,000	0
IV 予備費支出	0	0	0	0
当期収支差額	44,270	-48,270	-4,000	-97,000

※やむを得ぬ場合は、理事長は科目間の流用を行うことができる。